

中心市街地みらいの灯プロジェクト

くらしき・きらめきのまち

150,000球のイルミネーションが輝く

10月29日(木)

18:00~23:00

中核市サミット2020in倉敷
歓迎イルミネーション点灯

2020年 **11月3日** (祝) ~ 2021年 **2月14日** (日)

倉敷みらい公園~JR倉敷駅北デッキ・南デッキ、花時計、三井アウトレットパーク 倉敷、アリオ倉敷

体験型イベント

イルミ×ミュージック

11/3 (火・祝)

11/28 (土)

2020年

2021年

12/19 (土) ~ 2/14 (日)

みらい公園の中に設置された3箇所のQRコードを読み込むと
イルミネーションのテーマに合わせた楽曲動画
(YouTubeリンク)をお楽しみいただけます!!
散策しながら楽しめる新しい体験型イベントです。
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

ワークショップイベント



竹あかり/ブルーシートコサージュ

参加費無料・お持ち帰り可

11/3 (火・祝) 10:00~17:00

会場:アリオ倉敷 屋外イベント広場

11/28 (土) 10:00~17:00

会場:アリオ倉敷 屋外イベント広場

12/19 (土) 10:00~17:00

会場:三井アウトレットパーク 倉敷
イベントステージ前



くらしき・きらめきのみち

●体験型イベント 「イルミ×ミュージック」

イルミネーションを見ながら、音楽も楽しもう！
各エリアに設置したQR看板からテーマに合わせた音楽動画を楽しめます！
新しい形のイルミネーションイベントを体験してみませんか？

11/3(火・祝)

11/28(土)

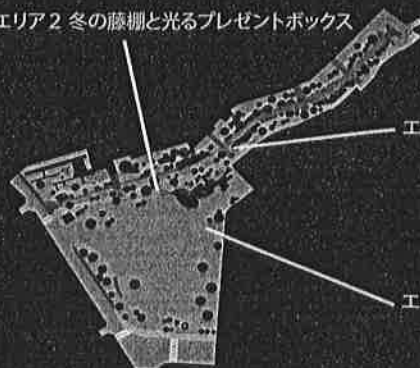
2020/12/19(土)～2021/2/14(日)



エリア2 冬の藤棚と光るプレゼントボックス

エリア3 水面に映るデニムの森

エリア1 きらめきのみち



エリア1 きらめきのみち

明るい未来へと続く「きらめきのみち」をイメージした
イルミネーションエリアです。

普段とは異なるみらい公園の並木道を
ゆったりと散歩ください。



エリア2 冬の藤棚と光るプレゼントボックス

倉敷の市花である「藤」を
約15,000球のイルミネーションで表現した藤棚や
プレゼントボックスに見立てた公園デッキが
楽しめるイルミネーションエリアです。



エリア3 水面に映る白壁とデニムの森

デニムを模した青い光が敷き詰められた
幻想的なイルミネーションエリアです。
光で表現した脈動する樹木や光る白壁なども
お楽しみいただけます。

●選べる2つのワークショップイベント

ものづくりの体験の場としてワークショップイベントを
開催します。無料で参加いただけ、
もちろんお持ち帰りいただけます！
小さいお子さんから大人の方まで
どなたでもお待ちしております！



竹あかりワークショップ

ドリルを使って、オリジナルの竹灯籠を作れます。
キャンドルもついてくるので、ご自宅ですぐに使えます。

タイムスケジュール

- (1回目) 10:00～10:35
- (2回目) 10:45～11:20
- (3回目) 11:30～12:05
- (4回目) 13:30～14:05
- (5回目) 14:15～14:50
- (6回目) 15:00～15:35
- (7回目) 15:45～16:20

※各回4名参加で最大28名参加可能
※小学生2年生以下は保護者同伴

ブルーシートコサージュワークショップ

ブルーシートを使ったものづくりを体験いただけます。
ポジティブに防災意識を高めるワークショップです。

タイムスケジュール

- (1回目) 10:00～10:50
- (2回目) 11:00～11:50
- (3回目) 13:20～14:10
- (4回目) 14:20～15:10
- (5回目) 15:20～16:10

※各回10名参加で最大50名参加可能

11/3(火・祝) 10:00～17:00

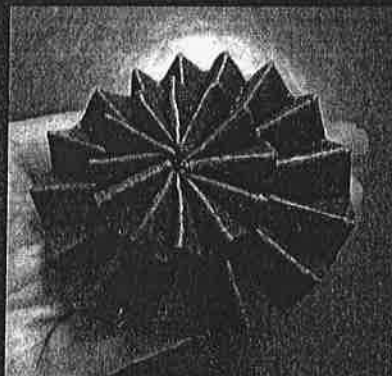
会場:アリオ倉敷 屋外イベント広場

11/28(土) 10:00～17:00

会場:アリオ倉敷 屋外イベント広場

12/19(土) 10:00～17:00

会場:三井アウトレットパーク倉敷 イベントステージ前



令和2年度

中核市

chuukakushi shichoukai

市長会

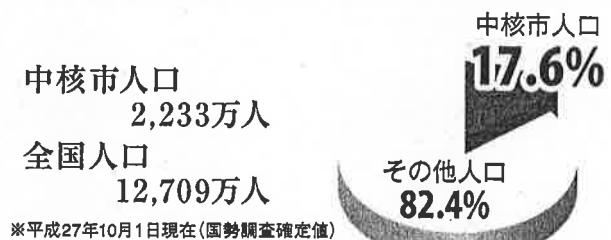
活力のある地域・暮らしやすい社会を目指して

中核市とは

「中核市」は、地方自治法により定められた、政令で指定する人口20万人以上の都市です。
都市の規模や能力に応じた事務配分を進めていく観点から、従来の市の事務権限を強化し、
できる限り住民の身近なところで行政を行うという地方自治の理念を実現するために創設されました。

中核市 60市

全国の人口のうち、
中核市の人口が占める割合



<http://www.chuukakushi.gr.jp/>

■中核市の人口及び各都道府県人口に占める中核市の人口割合

※平成27年10月1日現在
(国勢調査速報)

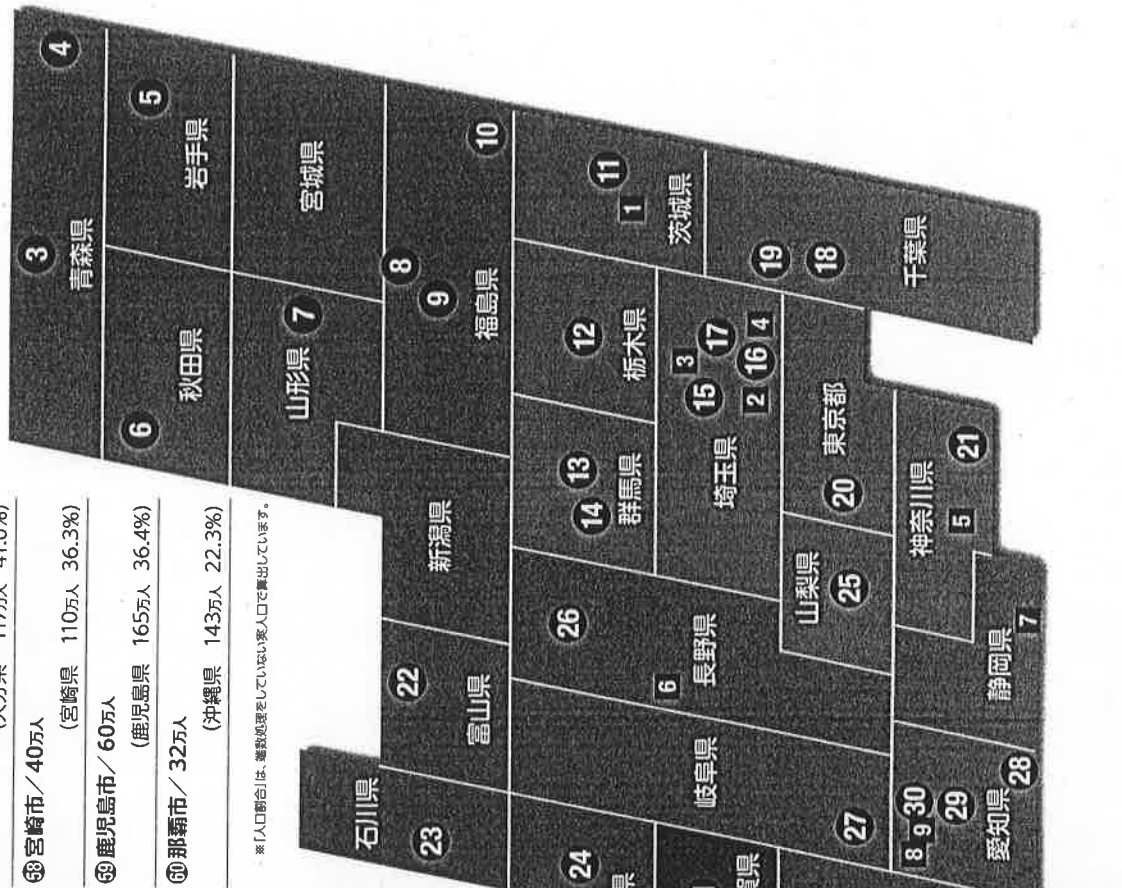
①函館市/27万人 (北海道 538万人 11.3%)	⑩船橋市/62万人 (千葉県 622万人 16.7%)	⑲高松市/42万人 (香川県 98万人 43.1%)
②旭川市/34万人 (北海道 538万人 11.3%)	⑳八王子市/58万人 (東京都 1,352万人 4.3%)	⑳松山市/51万人 (愛媛県 139万人 37.2%)
③青森市/29万人 (青森県 131万人 39.7%)	㉑横須賀市/41万人 (神奈川県 913万人 4.5%)	㉑高知市/34万人 (高知県 73万人 46.3%)
④八戸市/23万人 (青森県 131万人 39.7%)	㉒富山市/42万人 (富山県 107万人 39.3%)	㉒久留米市/30万人 (福岡県 510万人 6.0%)
⑤盛岡市/30万人 (岩手県 128万人 23.3%)	㉓金沢市/47万人 (石川県 115万人 40.4%)	㉓長崎市/43万人 (長崎県 138万人 49.7%)
⑥秋田市/32万人 (秋田県 102万人 30.9%)	㉔福井市/27万人 (福井県 79万人 33.8%)	㉔大分市/48万人 (大分県 117万人 41.0%)
⑦山形市/25万人 (山形県 112万人 22.6%)	㉕甲府市/19万人 (山梨県 83万人 23.1%)	㉕宮崎市/40万人 (宮崎県 110万人 36.3%)
⑧福島市/29万人 (福島県 191万人 51.2%)	㉖長野市/38万人 (長野県 210万人 18.0%)	㉖鹿児島市/60万人 (鹿児島県 165万人 36.4%)
⑨郡山市/34万人 (福島県 191万人 51.2%)	㉗岐阜市/41万人 (岐阜県 203万人 20.0%)	㉗那覇市/32万人 (沖縄県 143万人 22.3%)
⑪いわき市/35万人 (福島県 191万人 51.2%)	㉘豊橋市/37万人 (静岡県 748万人 15.7%)	
⑫宇都宮市/52万人 (栃木県 197万人 26.3%)	㉙岡崎市/38万人 (愛知県 748万人 15.7%)	
⑬前橋市/34万人 (茨城県 292万人 9.3%)	㉚大津市/34万人 (滋賀県 141万人 24.1%)	
⑭高崎市/37万人 (群馬県 197万人 35.8%)		
⑮川越市/35万人 (埼玉県 197万人 35.8%)		
⑯越谷市/34万人 (埼玉県 727万人 17.4%)		

※1人口割合は、単純計算をしていない(人口で割っています)。

■中核市候補市(中核市の要件を満たし、移行を検討している市) ※令和3年4月1日中核市移行に向けて準備中

1つは市、2所沢市、3春日部市、4草加市、5藤沢市、6松本市、7富士市、8一宮市、9春日井市、10津市、11四日市市、12佐賀市

①高松市/42万人 (香川県 98万人 43.1%)	②旭川市/34万人 (北海道 538万人 11.3%)	③青森市/29万人 (青森県 131万人 39.7%)	④八戸市/23万人 (青森県 131万人 39.7%)	⑤盛岡市/30万人 (岩手県 128万人 23.3%)	⑥秋田市/32万人 (秋田県 102万人 30.9%)	⑦山形市/25万人 (山形県 112万人 22.6%)	⑧福島市/29万人 (福島県 191万人 51.2%)	⑨郡山市/34万人 (福島県 191万人 51.2%)	⑩いわき市/35万人 (福島県 197万人 35.8%)	⑪川越市/35万人 (埼玉県 197万人 35.8%)	⑫越谷市/34万人 (埼玉県 727万人 17.4%)	⑬前橋市/34万人 (茨城県 292万人 9.3%)	⑭高崎市/37万人 (群馬県 197万人 35.8%)	⑮川越市/35万人 (埼玉県 197万人 35.8%)	⑯越谷市/34万人 (埼玉県 727万人 17.4%)	⑰高松市/42万人 (香川県 98万人 43.1%)	⑱松山市/51万人 (愛媛県 139万人 37.2%)	⑲高知市/34万人 (高知県 73万人 46.3%)	⑳久留米市/30万人 (福岡県 510万人 6.0%)	㉑長崎市/43万人 (長崎県 138万人 49.7%)	㉒大分市/48万人 (大分県 117万人 41.0%)	㉓宮崎市/40万人 (宮崎県 110万人 36.3%)	㉔鹿児島市/60万人 (鹿児島県 165万人 36.4%)	㉕那覇市/32万人 (沖縄県 143万人 22.3%)	①石川県	②富山県	③新潟県	④山梨県	⑤長野県	⑥岐阜県	⑦福井県	⑧京都府	⑨滋賀県	⑩兵庫県	⑪鳥取県	⑫島根県	⑬岡山県	⑭山口県	⑮徳島県	⑯香川県	⑰愛媛県	⑱高知県	⑲和歌山県	⑳三重県	㉑奈良県	㉒大阪府	㉓奈良市	㉔三重市	㉕和歌山市	㉖徳島市	㉗高知市	㉘高松市	㉙松山市	㉚高知市	㉛久留米市	㉜長崎市	㉝大分市	㉞宮崎市	㉟鹿児島市	㊱那覇市	①石川県	②富山県	③新潟県	④山梨県	⑤長野県	⑥岐阜県	⑦福井県	⑧京都府	⑨滋賀県	⑩兵庫県	⑪鳥取県	⑫島根県	⑬岡山県	⑭山口県	⑮徳島県	⑯香川県	⑰愛媛県	⑱高知県	⑲和歌山県	⑳三重県	㉑奈良県	㉒大阪府	㉓奈良市	㉔三重市	㉕和歌山市	㉖徳島市	㉗高知市	㉘高松市	㉙松山市	㉚高知市	㉛久留米市	㉜長崎市	㉝大分市	㉞宮崎市	㉟鹿児島市	㊱那覇市
-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------



安心で活力ある社会の実現を目指して

■中核市市長会の概要

中核市市長会は、中核市の市長で組織する団体であり、全中核市の60市が加入しています。
(令和2年4月1日現在)

設 立

平成17年11月10日（中核市制度化から10年目を機に「中核市連絡会」から組織改編）

目 的

中核市相互の緊密な連携のもとに、中核市行財政の円滑な運営及び進展を図り、
●て地方分権の推進に資することを目的としています。

事 業

- 中核市行財政の共同調査、研究及び協議等に関する事
- 国等に対する政策提案・意見表明に関する事
- その他、会の目的達成に必要な事業

◇中核市市長会の組織（令和2年度）



■今まで取り組んだプロジェクト

研究分野	プロジェクト名（年度）	
権限・都市制度	<ul style="list-style-type: none"> 権限移譲・都市制度検討プロジェクト(H25～26) 権限移譲検討プロジェクト(H23～24、27～28) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域自律に向けた都市制度再編プロジェクト(H23～24) 中核市制度研究プロジェクト(H18～22)
	財 源	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保検討プロジェクト(H25～28) 中核市財政基盤確立検討プロジェクト(H18～22)
地域活性化・広域連携	<ul style="list-style-type: none"> 圏域発展の連携手法検討プロジェクト(R1) スポーツを核としたまちづくりプロジェクト(H30) 地方創生検討プロジェクト(H27～28) 行政の広域化検討プロジェクト(H22) 地域活性化施策検討プロジェクト(H21) 	<ul style="list-style-type: none"> 地方への人材還流プロジェクト(H30) 地方創生第二プロジェクト(地方の人材確保)(H29) 都市間連携検討プロジェクト(H25～26) 地域公共交通(生活バス交通)活性化検討プロジェクト(H21)
	行政改革	<ul style="list-style-type: none"> デジタルガバメント実現に向けた検討プロジェクト(R1) 児童虐待防止検討プロジェクト(R1) 地方分権検討プロジェクト(児童相談所に関する財源措置状況等)(H29) 地方創生第一プロジェクト(少子化対策)(H29) 子育て支援検討プロジェクト(H19)
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生第一プロジェクト(少子化対策)(H29) 子育て支援検討プロジェクト(H19) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療制度検討プロジェクト(H20) 生活保護適正化プロジェクト(H18)
教 育	<ul style="list-style-type: none"> 教育活性化プロジェクト(H19) 	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育制度プロジェクト(H18)
防 災	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応・防災力の強化プロジェクト(R1) 	

■令和元年度の提言・要請

- 国の施策及び予算に関する提言
- 風しんに関する追加的対策の実施に係る財政措置等を求める緊急要望
- TEC-FORCE(緊急災害対策派遣)を構成する国土交通省地方整備局等の職員定数の充実に
関する緊急要請
- 圏域発展の連携手法に関する提言
- 災害対応・防災力の強化に関する提言
- 児童虐待防止対策の強化に関する要望
- 令和2年度税制改正に関する要請
- 人口減少社会を克服する活力ある地域社会の実現に向けた共同提言
(指定都市市長会、全国施行時特別市市長会との共同提言)

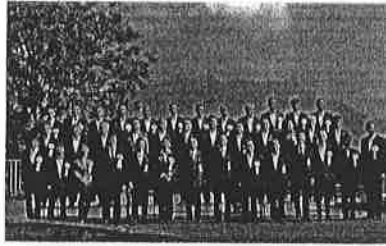
■中核市市長会の活動

◇中核市市長間の調査研究・協議



●市長会議

年3回、中核市市長会の運営方針や国等に対する提言・要請案を協議し、決定します。



●中核市サミット

地方分権の推進と中核市制度の充実強化を目指すため、開催市に中核市市長が集まって、都市共通の課題について議論を深め、その内容を全国に発信します。(写真は2017年)



●プロジェクト会議

中核市共通の課題について、政策提案等を行うための調査研究活動を実施します。



●研究会

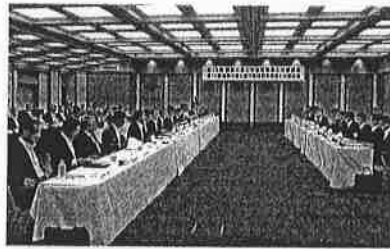
今後中核市として取り組むべき事項等について、随時調査研究を行います。

◇国等に対する政策提案・意見表明



●提言活動

地方分権の推進を図るため、国の施策や予算等に関して、省庁・政党へ提言活動を行っています。



●総務大臣との懇談会

地方自治制度を所掌する総務大臣と、中核市の課題や更なる地方分権に向けて意見交換を行っています。

◇関係団体との連携



●指定都市市長会との連携

都市共通の課題解決に向けて、二市長会で連携して活動を行っています。



●中核市とともに地方分権を推進する国会議員の会

会員議員を対象とした勉強会を開催し、中核市市長会の活動、課題についてご理解とご助言をいただいています。

■中核市相互の協力による取組

◇災害相互応援協定

災害により被害を受けた都市が独自では十分な応急措置が実施できない場合に、被害を受けていない都市が友愛的精神に基づき、相互に応援協力することを目的に、中核市災害相互応援協定を締結しています。

【ブロック】中核市各市を4つのブロックに分割し、協定の円滑な運用を図ります。

【応援チーム】被害がブロック内の全体に及び、ブロック内の応援体制が機能しないような広域災害時に対応するため、6つの応援チームを整備しています。

中核市における災害相互応援(ブロック及び応援チーム体制)

チーム ブロック	応援 チーム ①	応援 チーム ②	応援 チーム ③	応援 チーム ④	応援 チーム ⑤	応援 チーム ⑥
北海道・東北・ 関東ブロック	函館市 郡山市 宇都宮市	いわき市 高崎市 柏市 八王子市	青森市 山形市 越谷市 横須賀市	旭川市 福島市 前橋市	秋田市 川口市 船橋市	八戸市 盛岡市 水戸市 川越市
中部ブロック	甲府市 岡崎市	長野市	岐阜市 豊橋市	福井市 豊田市	金沢市	富山市
近畿・中国 ブロック	枚方市 奈良市 鳥取市	大津市 寝屋川市 明石市 福山市	八尾市 尼崎市 倉敷市	高槻市 姫路市 呉市	吹田市 西宮市 和歌山市 下関市	豊中市 東大阪市 松江市
四国・九州 ブロック	松山市 長崎市	大分市	那覇市	高知市 鹿児島市	佐世保市 宮崎市	高松市 久留米市

◇中核市相互の人事交流

中核市に対する新たな権限移譲事務をはじめとした業務のノウハウ獲得によって、市政運営の強化や職員の育成を図ることを目的として、平成26年度から人事交流事業を実施しています。

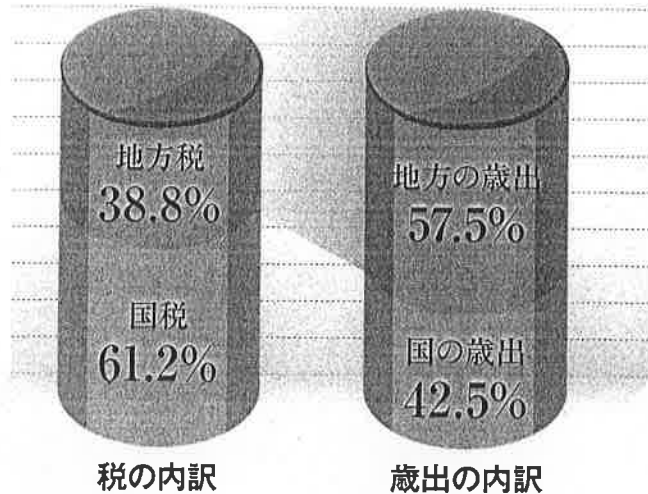
令和2年度の人事交流

富山市(観光に関する業務・事務職) ↔ 岐阜市(同左)

岐阜市(協働に関する業務・事務職) ↔ 豊橋市(複合型施設運営に関する業務・事務職)

岐阜市(広報・シティプロモーションに関する業務・事務職) ↔ 豊中市(同左)

国と地方の役割にあった財源の配分

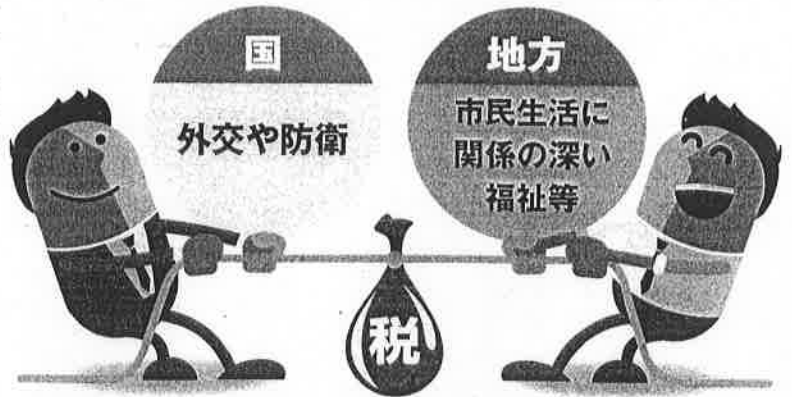


【平成30年度】

※地方交付税、地方譲与税及び地方特例交付金が国から地方へ交付された後の租税の実質的な配分割合は国42.7%、地方57.3%となっている。

(参考資料:令和2年度版地方財政白書)

国と地方の役割分担を抜本的に見直し、その新たな役割分担に応じた税の配分には正する必要があります。



現在、地方公共団体は、施策を実施するために必要な財源の多くを国庫補助負担金などの国からの財源に依存しています。しかし、国庫補助負担金は自由に使えないことから、地方公共団体が地域の実情に応じた運営を行うための、十分な財源とは言えません。

このため、自由に使える財源を拡充し、地方が自立した運営を行っていくことができるように、国に対する積極的な提案を行っていきます。

地方分権に向けた動き

新たな地方分権のための取組

「提案募集方式」

地方分権改革を推進する手法として、個々の地方公共団体自らの発意と創意工夫により課題解決を図る基盤の構築のために「提案募集方式」が採用されています。この「提案募集方式」は、「地方公共団体への事務・権限の移譲」「地方に対する規制緩和」を対象として、全国的な制度改正の提案を募集するものです。

制度導入初年の平成26年以降、毎年新たな提案募集が行われており、地方分権、地方創生の実現に向けた動きは今後もさらに大きく前進することが期待されます。

制度導入初年の平成26年以降、毎年新たな提案募集が行われており、地方分権、地方創生の実現に向けた動きは今後もさらに大きく前進することが期待されます。

「新たな広域連携制度の創設」

～地域の核となるための仕組みづくり～

人口減少、少子高齢化が深刻な問題となっているなか、地域を活性化して経済を持続させ、住民が快適な暮らしを営んでいくために、相当の規模と中核性を備える都市が近隣の市町村と連携して、「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」「生活関連機能サービスの向上」を行っていくことが求められています。

そのような目的のもと、地方圏において地方公共団体の広域連携を促進する「連携中枢都市圏構想」が平成26年からスタートしています。

■連携中枢都市宣言を行った中核市

令和2年4月1日現在

中核市名	連携中枢都市宣言	連携市町村	圏域人口
青森市	令和元年 11月 18日	3町1村	310,640人
八戸市	平成 29年 1月 4日	6町1村	323,447人
盛岡市	平成 27年 10月 30日	2市5町	476,758人
山形市	令和元年 6月 27日	5市6町	527,214人
郡山市	平成 30年 9月 4日	4市7町4村	652,178人
富山市	平成 29年 9月 5日	1市2町1村	501,670人
金沢市	平成 27年 12月 4日	3市2町	728,259人
福井市	平成 30年 11月 27日	6市4町	646,813人
長野市	平成 28年 2月 17日	2市4町2村	543,424人
岐阜市	平成 29年 6月 30日	3市3町	587,739人
姫路市	平成 27年 2月 13日	7市8町	1,307,003人
鳥取市	平成 29年 12月 5日	6町	265,499人
倉敷市	平成 27年 2月 17日	6市3町	770,183人
呉市	平成 29年 9月 4日	3市4町	545,385人
福山市	平成 27年 2月 24日	5市2町	857,212人
下関市	平成 27年 9月 30日	合併1市圏域	268,517人
高松市	平成 27年 9月 4日	2市5町	585,348人
松山市	平成 28年 7月 8日	2市3町	646,055人
高知市	平成 29年 9月 7日	6市10町4村	596,998人
久留米市	平成 27年 11月 2日	3市2町	456,196人
長崎市	平成 28年 6月 10日	2町	501,860人
佐世保市	平成 30年 9月 3日	4市7町	487,905人
大分市	平成 27年 12月 22日	6市1町	778,237人
宮崎市	平成 26年 12月 1日	2町	428,089人
鹿児島市	平成 28年 10月 31日	3市	753,518人

■中核市制度の経緯

平成元年(1989) 7月 17日	全国市長会が、人口30万人以上の都市及び都市機能の集積度や圏域における拠点性が高い都市に対し、政令指定都市に準じた事務配分を行うべきと提言
平成元年(1989)12月20日	第2次臨時行政改革推進審議会が、地域に中核都市として人口規模その他一定条件を満たす市に対して、地域行政に関わる事務を中心に都道府県の事務権限を移譲すべきと提言
平成元年(1989)12月29日	第2次臨時行政改革推進審議会の提言趣旨に沿い、地域中核都市の具体化を図ることを閣議決定
平成3年(1991) 7月 4日	第3次臨時行政改革推進審議会が、内閣総理大臣に対し、地方制度調査会での積極的取組を期待する旨を答申
平成5年(1993) 4月19日	第23次地方制度調査会が内閣総理大臣に対し、中核市制度創設を答申
平成6年(1994) 6月22日	地方自治法の一部を改正する法律案等成立(中核市制度法制化)
平成6年(1994) 6月29日	地方自治法の一部を改正する法律等公布
平成6年(1994)12月21日	中核市制度関係政令公布
平成7年(1995) 4月 1日	地方自治法の一部を改正する法律等施行(中核市制度発足)
平成11年(1999) 7月 8日	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律成立(同年7月16日公布、平成12年(2000)4月1日施行。人口30万人以上50万人未満の市に対する昼夜間人口比率要件廃止)
平成14年(2002) 3月28日	地方自治法等の一部を改正する法律成立(同年3月30日公布、同年4月1日施行。人口50万人以上の市の面積要件を廃止)
平成18年(2006) 6月 7日	地方自治法の一部を改正する法律成立(同日公布、施行。面積要件を廃止)
平成26年(2014) 5月23日	地方自治法の一部を改正する法律成立(同年5月30日公布。平成27年(2015)4月1日施行。特例市制度を廃止し、中核市の指定要件を「人口20万人以上の市」に変更)

■中核市への移行

平成8年(1996) 4月 1日	宇都宮市、新潟市、富山市、金沢市、岐阜市、静岡市、浜松市、堺市、姫路市、岡山市、熊本市、鹿児島市(12市移行)
平成9年(1997) 4月 1日	秋田市、郡山市、和歌山市、長崎市、大分市(5市移行)
平成10年(1998) 4月 1日	豊田市、福山市、高知市、宮崎市(4市移行)
平成11年(1999) 4月 1日	いわき市、長野市、豊橋市、高松市(4市移行)
平成12年(2000) 4月 1日	旭川市、松山市(2市移行)
平成13年(2001) 4月 1日	横須賀市(1市移行)
平成14年(2002) 4月 1日	奈良市、倉敷市(2市移行)
平成15年(2003) 4月 1日	川越市、船橋市、相模原市、岡崎市、高槻市(5市移行)
平成17年(2005) 4月 1日	東大阪市(1市移行※静岡市は政令指定都市へ移行)
平成17年(2005)10月 1日	函館市、下関市(2市移行)
平成18年(2006) 4月 1日	(※堺市は政令指定都市へ移行)
平成18年(2006)10月 1日	青森市(1市移行)
平成19年(2007) 4月 1日	(※新潟市、浜松市は政令指定都市へ移行)
平成20年(2008) 4月 1日	盛岡市、柏市、西宮市、久留米市(4市移行)
平成21年(2009) 4月 1日	前橋市、大津市、尼崎市(3市移行※岡山市は政令指定都市へ移行)
平成22年(2010) 4月 1日	(※相模原市は政令指定都市へ移行)
平成23年(2011) 4月 1日	高崎市(1市移行)
平成24年(2012) 4月 1日	豊中市 (1市移行※熊本市は政令指定都市へ移行)
平成25年(2013) 4月 1日	那覇市(1市移行)
平成26年(2014) 4月 1日	枚方市(1市移行)
平成27年(2015) 4月 1日	越谷市、八王子市(2市移行)
平成28年(2016) 4月 1日	呉市、佐世保市(2市移行)
平成29年(2017) 1月 1日	八戸市(1市移行)
平成30年(2018) 4月 1日	福島市、川口市、八尾市、明石市、鳥取市、松江市(6市移行)
平成31年(2019) 4月 1日	山形市、福井市、甲府市、寝屋川市(4市移行)
令和2年(2020) 4月 1日	水戸市、吹田市(2市移行)



【発行者】 **中核市市長会**

【企画制作】 **中核市市長会 東京事務所**

〒102-0093 千代田区平河町二丁目4-2

全国都市会館7F

TEL. 03-6268-9317 FAX. 03-3234-5945

E-mail:shityoukai@chuukakushi.gr.jp

地域の実情にあわせたまちづくり

国や都道府県からの権限移譲

市立の小中学校なのに、
どうして先生は
都道府県の職員
なのかしら？

似たような手続きなのに、
どうして都道府県事務所まで
行かないといけないのかしら？



私たちのまちの
土地利用の計画なのに、
どうして国や都道府県の
許可や同意がいるのかしら？

～くらしのいろんな場面でハテナ～

私たちの住むまちのことは私たち自身で決めることで、
活力あふれる暮らしやすいまちにしたい。

中核市市長会では、市で判断して決定できる権限を拡大し、それぞれの地域の実情に応じたまちづくりができるよう、今後もさらに、国や都道府県からの権限移譲を求めています。

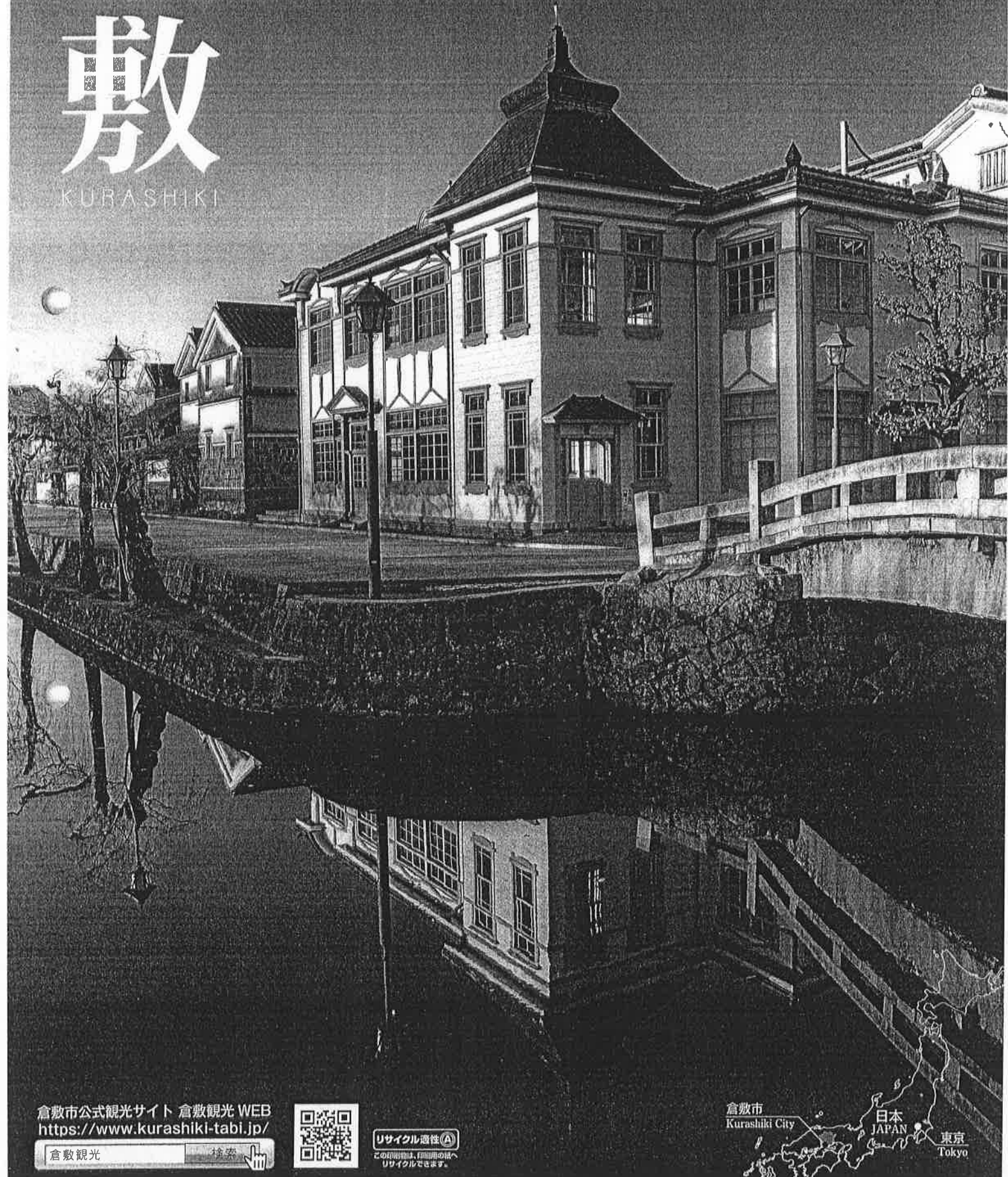
都道府県・指定都市・中核市の主な事務・権限

事務・権限	都道府県	指定都市	中核市
保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 麻薬取扱者(一部)の免許 精神科病院の設置 臨時の予防接種の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の入院措置 動物取扱業の登録 病院の開設許可 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所の設置 薬局の開設許可 飲食店営業等の許可 温泉の利用許可 旅館業・公衆浴場の経営許可
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 保育士、介護支援専門員の登録 身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所、養護老人ホームの設置の認可・監督 介護保険及び障害者福祉サービス事業者の指定 身体障害者手帳の交付 認定こども園の認定等
教育	<ul style="list-style-type: none"> 私立学校の設置認可 高等学校の設置管理 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県費負担教職員の任免、給与の決定 小中学校学級編制基準、都道府県費負担教職員定数の決定 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県費負担教職員の研修
環境	<ul style="list-style-type: none"> 第一種フロン類回収業者の登録 公害健康被害の補償給付 	<ul style="list-style-type: none"> 建築物用地下水の採取の許可 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理施設、産業廃棄物処理施設の設置の許可 ばい煙発生施設の設置の届出受理
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域の指定 市街地再開発事業の認可 指定区間の1級河川、2級河川の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に関する都市計画 市街地再開発事業の認可(一部) 区域区分に関する都市計画決定 指定区間外の国道、県道の管理 指定区間の1級河川(一部)、2級河川(一部)の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外広告物の条例による設置制限 サービス付き高齢者向け住宅事業の登録

|倉|敷|市|観|光|総|合|パ|ン|フ|レ|ット|

倉敷

KURASHIKI



倉敷市公式観光サイト 倉敷観光 WEB
<https://www.kurashiki-tabl.jp/>

倉敷観光

検索



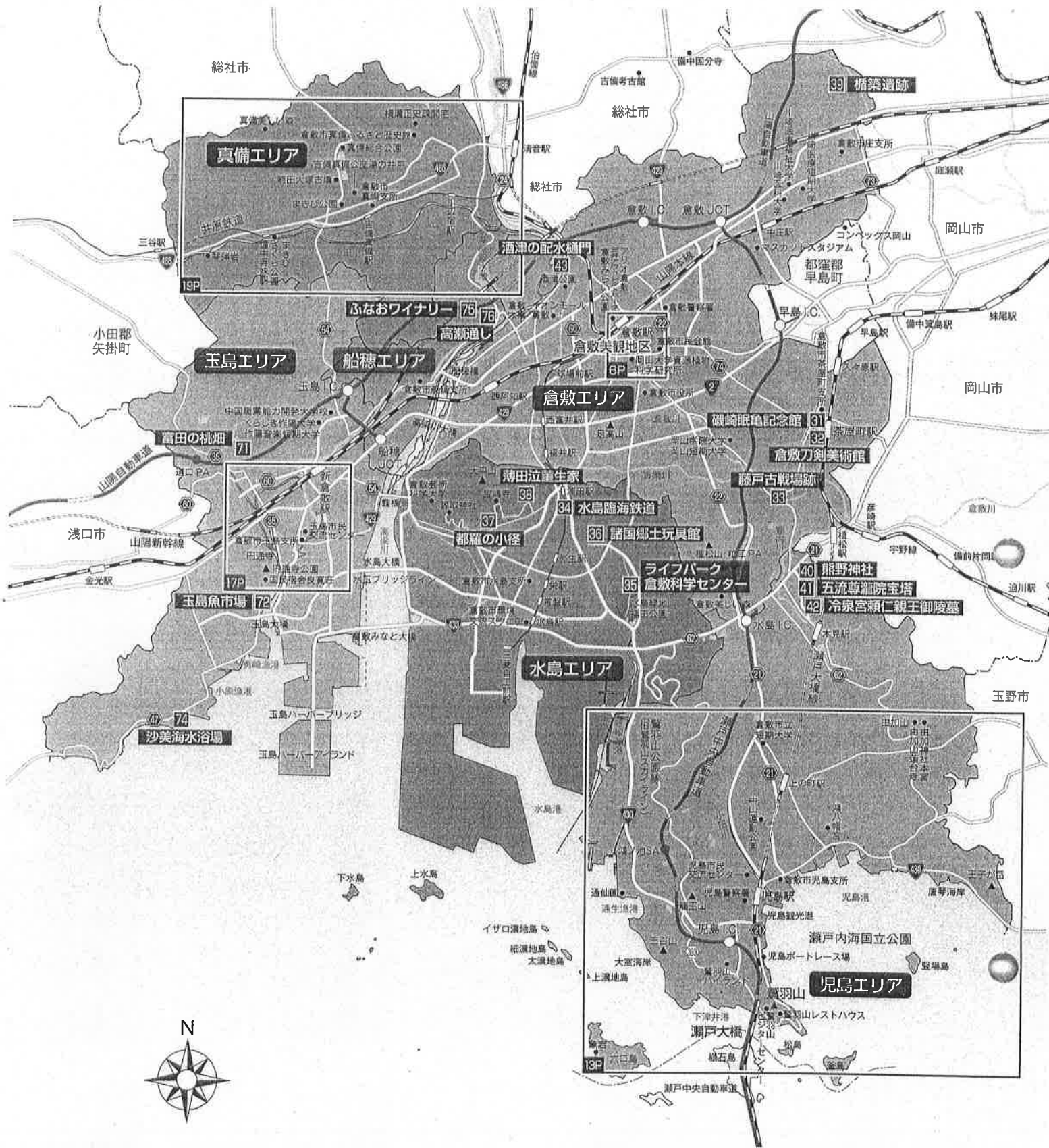
リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

倉敷市
Kurashiki City

日本
JAPAN

東京
Tokyo





倉敷市

倉敷市は、瀬戸内海に面する人口約48万人の都市です。江戸時代には商人の町、明治時代には繊維産業の町、近年は工業都市、そして文化観光都市として発展してきました。瀬戸内の穏やかな気候と高梁川がもたらした豊かな大地に恵まれ、農業や漁業も盛んです。

白壁の建物や柳並木が美しい倉敷美観地区のある「倉敷エリア」をはじめ、日本有数の工業地帯である「水島エリア」、瀬戸内海国立公園の美しい内海風景が広がる「児島エリア」や港町として栄えたノスタルジックな町並みを残す「玉島エリア」、マスカットやスイートピーの一大生産地である「船穂エリア」、静かで美しい竹林の町「真備エリア」など、倉敷市は地域によって異なる雰囲気を持っています。「文化観光都市くらしき」の個性豊かな魅力を心ゆくまでお楽しみください。



日本遺産
倉敷市

日本遺産のまち 倉敷市

一輪の綿花から始まる倉敷物語～和と洋が織りなす繊維のまち～

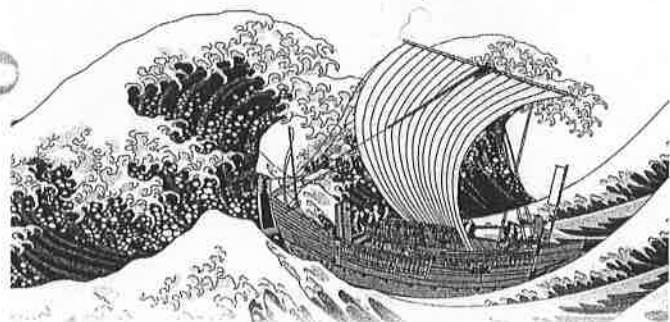
〈平成29年4月28日認定〉

認定されたストーリーの概要

400年前まで倉敷周辺は一面の海でした。近世からの干拓は人々の暮らしの場を広げ、そこで栽培された綿^{たび}やイ草^{かえん}は足袋や花菱などの織物生産を支えました。明治以降、西欧の技術を取り入れて開花した繊維産業は「和」の伝統と「洋」の技術を融合させながら発展を続け、現在、倉敷は年間出荷額日本一の「繊維のまち」となっています。倉敷では広大な干拓地の富を背景に生まれた江戸期の白壁商家群の中に、近代以降、紡績により町を牽引した人々が建てた洋風建築が発展のシンボルとして風景にアクセントを加え、訪れる人々を魅了しています。

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

〈平成30年5月24日認定〉

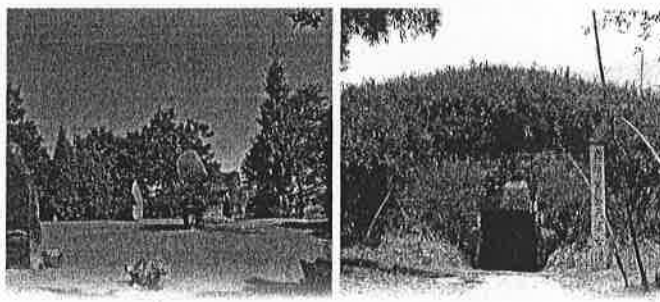


認定されたストーリーの概要

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹き付けてやみません。

「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

〈平成30年5月24日認定〉



認定されたストーリーの概要

いにしえに吉備と呼ばれた岡山。この地には鬼ノ城と呼ばれる古代山城や巨大墓に立ち並ぶ巨石などの遺跡が現存します。これら遺跡の特徴から吉備津彦命が温羅と呼ばれた鬼を退治する伝説の舞台となりました。絶壁にそびえる古代山城は、その名の通り温羅の居城とされ、巨石は命の橋となりました。勝利した命は巨大神殿に祀られ、敗れた温羅の首はその側に埋められました。鬼退治伝説は、古代吉備の繁栄と屈服の歴史を背景とし、桃太郎伝説の原型になったとされ、吉備の多様な遺産は今も訪れる人々を神秘的な物語へと誘ってくれます。

〈日本遺産とは〉地域の歴史的魅力や特色を通じて、わが国の文化や伝統を語る「ストーリー」を、文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形のさまざまな文化財群を、地域が総合的に整備・活用し、国内外へ発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

倉敷市の日本遺産に関する情報はここから
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kura-story/>

日本遺産 倉敷

検索



倉敷 倉敷美観地区を巡る

温暖な気候と高梁川のもたらす豊かな恵みに育まれた町、倉敷。古来より交通の要衝であった高梁川の支流・倉敷川は運河として利用され、やがて備中地方の物資が集積する商業の中心となりました。江戸時代には幕府直轄地「天領」とされ、大規模な新田開発でさらに発展しました。明治時代以降に水運業が衰退した後も、大原家をはじめとする倉敷商人の活躍で経済は回復し、町は整備されていきました。

往時をしのばせるのが「倉敷美観地区」「本町・東町」。白壁土蔵のなまこ壁に、軒を連ねる格子窓の町家、柳並木が連なる倉敷川沿いなど情緒豊かな日本の伝統的で美しい町並みが続いています。この周辺一帯は、1979(昭和54)年に国から「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。

この町並みは、2010(平成22)年に「平成22年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」、2012(平成24)年に「2012年アジア都市景観賞「大賞」」を受賞しています。



1 倉敷館 [観光案内所] 市指定重要文化財

1917(大正6)年に倉敷町役場として建てられたこの洋風木造建築。平成30年1月より行われていたの長寿命化やバリアフリー化等、利便性向上のための改修工事が完了し、令和2年2月より観光ガイド紹介を行う観光案内所、コインロッカー、トイレを備えた無料休憩所としても利用できます。

【営業時間】9:00~18:00(※年末年始には変更の可能性があります。)【定休日】年中無休【料金】無料
中央1丁目4-8 ☎086-422-0542



5 倉敷民芸館

江戸時代後期の米倉を改装し、日本で2番目の民芸館として開館しました。世界各国の暮らしの中で使われる丈夫で美しい品々15,000点を所蔵しています。

【営業時間】(3月~11月)9:00~17:00
(12月~2月)9:00~16:15

※入館締切は閉館15分前

【定休日】月曜日(※祝日開館)、12/29~1/1

【料金】◎大人1,000円

◎学生(大・高)400円・(中・小)300円

中央1丁目4-11 ☎086-422-1637



6 日本郷土玩具館

江戸時代の蔵を改装し、江戸から現代にかけて日本各地でつくられた郷土玩具を展示しています。中庭を囲むようにギャラリーやショップ、カフェも併設されています。

【営業時間】ショップ/9:30~18:30

展示館/9:30~17:00

※季節によって時間が異なります。

【定休日】1/1

【料金】◎大人400円

◎学生(高・中)300円・(小)200円

中央1丁目4-16 ☎086-422-8058



7 有隣荘

大原孫三郎が家族で住むために建てた大原家の旧別邸です。独特の製法で焼かれた瓦は、見る角度によって緑色に光ることから、地元では「緑御殿」とも呼ばれています。

※特別公開以外は外観のみ見学可能

中央1丁目3-18 ☎086-422-0005(大原美術館)



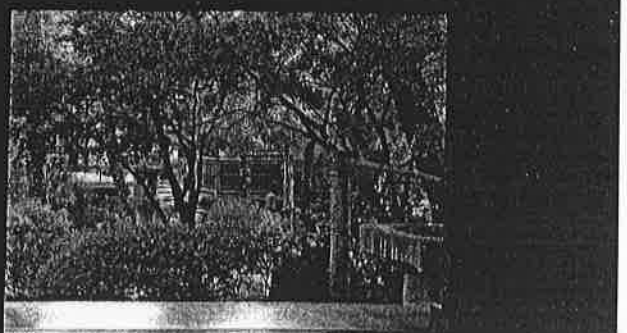
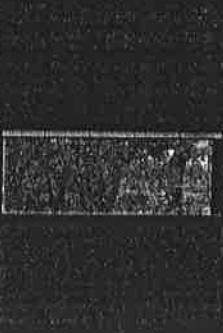
11 新溪園(敬儉堂・游心亭)

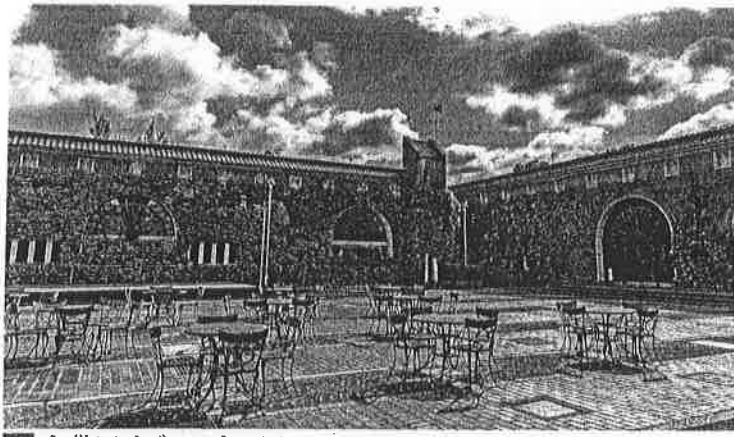
明治26年に大原家の別荘として建てられた和風建築物です。現在、園内の庭園は観光客や市民の憩いの場となっています。

【営業時間】9:00~17:00【定休日】12/29~1/3

【料金】無料(※貸館は有料)

中央1丁目1-20 ☎086-422-0338





2 倉敷アイビースクエア 近代化産業遺産

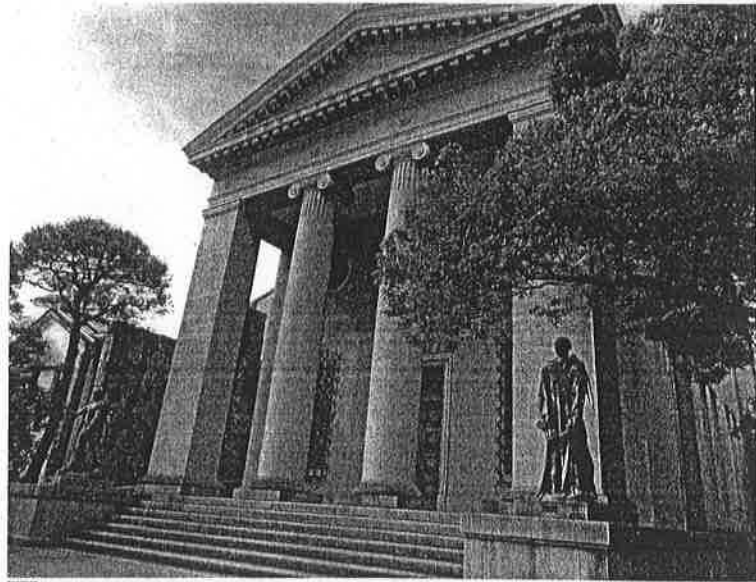
クラボウ旧倉敷本社工場を改修した複合文化施設です。ツタ(=アイビー)のからまる赤いレンガが目をひく敷地内には、倉紡記念館や陶芸を体験できる工房、ホテルなどがあります。

3 倉紡記念館

国登録有形文化財・近代化産業遺産

倉敷アイビースクエア敷地内にあり、クラボウ創業時の工場だった建物は、貴重な歴史的建造物です。

[営業時間]9:00~17:00(※入館締切は16:45)
 [定休日]不定休(1月末~2月初)
 [料金]◎大人300円 ◎学生(大~小)250円
 ☎7-2 ☎086-422-0011(代)



4 大原美術館

1930(昭和5)年設立の、日本で最初の私立西洋美術館です。エル・グレコの「受胎告知」やクロード・モネの「睡蓮」をはじめとする西洋の名画や、日本の近・現代美術、民芸運動に関わった作家の作品、オリエントや東洋の古美術など広範な作品を展示・収蔵しています。

[営業時間]9:00~17:00(※入館締切は16:30)
 [定休日]月曜日(祝日、夏休み期間、10月は除く)、12/28~12/31 ※1/1は本館のみ閉館
 [料金]◎大原美術館(本館、分館、工芸、工芸、東洋館)
 ◎大人1,500円 ◎学生(高・中・小)500円
 中央1丁目1-15 ☎086-422-0005

昔日の繁栄がしのばれる天領の町 倉敷エリア



8 語らい座 大原本邸 (旧大原家住宅)

国指定重要文化財

倉敷発展の礎を築いた大原家の代々が暮らした家。邸内では大原家の所蔵品や現代的な展示で大原家の歴史を紹介しています。
 石畳に連なる倉群、静寂の日本庭園等、外からは想像できる景をお楽しみいただけます。

[営業時間]9:00~17:00
 [定休日]月曜日(祝日は除く)※その他貸切等の場合あり
 [料金]◎大人500円 ◎学生(高・中・小)400円

中央1丁目2-1 ☎086-434-6277(有隣会)



9 大橋家住宅 国指定重要文化財

江戸時代に新田開発などで大きな財を成した大橋家が1796(寛政8)年に建てた建物です。倉敷の代表的な町家のひとつに数えられ、長屋門や倉敷窓・倉敷格子などを備えた往時の商家の姿を現在に残す重厚な建物です。

[営業時間]9:00~17:00
 (4月~9月の土曜日は18:00まで)
 [定休日]12月~2月の金曜日(※祝日開館)、12/28~1/3
 [料金]◎大人550円
 ◎学生(中・小)・65歳以上350円

阿知3丁目21-31 ☎086-422-0007



10 倉敷物語館

江戸から昭和初期にかけての建造物が残っていた古民家、東大橋家住宅の母屋と4つの土蔵、中庭を全面改修した観光・文化施設で、多目的ホールなどを備えています。

[営業時間](4月~11月)9:00~21:00
 (12月~3月)9:00~19:00
 ※貸館受付は9:00~17:45
 [定休日]12/29~1/3
 [料金]入館無料(※貸館は有料)

阿知2丁目23-18 ☎086-435-1277

12 倉敷考古館

江戸時代の土蔵造り米倉を改装し、1950(昭和25)年に開館しました。岡山県を中心とした古備地方の、優れた文化を示す遺跡からの出土品(備前焼など)を、旧石器時代から中世にいたるまで展示しています。

[営業時間]9:00~17:00(※入館締切は16:30)
 [定休日]月・火曜日(※祝日・振替休日は開館)・年末年始
 [料金]◎大人500円 ◎学生(大・高)400円(中・小)300円
 ※特別展覧会により料金の変動あり

中央1丁目3-13 ☎086-422-1542



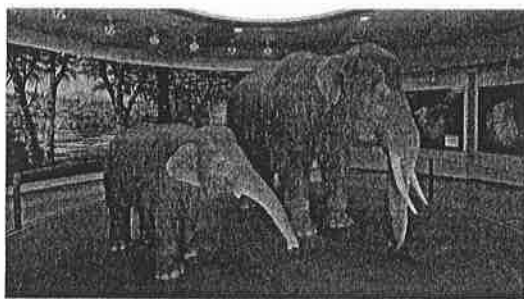


13 倉敷市立美術館

建築家・丹下健三の設計により1960（昭和35）年に倉敷市庁舎として建てられ、その後、新市庁舎建設に伴い美術館に改装、1983（昭和58）年に開館しました。文化勲章受章者である倉敷ゆかりの日本画家・池田逸柳（ようせん）のコレクションを中心に、洋画家の満谷国四郎や坂田一男ら郷土作家の作品を収蔵しています。

【営業時間】9:00～17:15（※入館締切は16:45）
 【定休日】月曜日（※祝日・振替休日の場合は翌日）、12/28～1/4
 【料金】◎大人210円 ◎学生（大・高）100円・（中・小）50円
 ※特別展料金は別途設定

中央2丁目6-1 ☎086-425-6034



14 倉敷市立自然史博物館

化石や岩石、昆虫、植物、動物の標本を展示し、岡山県の自然をわかりやすく紹介しています。ナウマンゾウの動く模型が迎えてくれます。

【営業時間】9:00～17:15（※入館締切は16:45）
 【定休日】月曜日（※祝日・振替休日の場合は翌日）、12/28～1/4
 【料金】◎大人150円 ◎大学生50円 ◎高校生以下無料

中央2丁目6-1 ☎086-425-6037

Kurashiki Renovation Spot

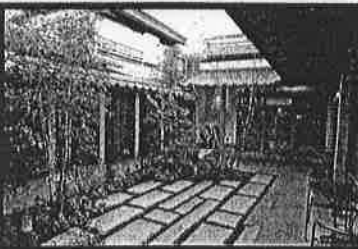
倉敷リノベーションスポット



15 くらしき宵待ち GARDEN

岡山県の食材を活用したイタリアンレストラン、白桃やマスカットのアイスが自慢のバーラー、一般開放されている広大な竹林庭園、野外ステージではライブイベントも定期的で開催されている路地奥のスポットです。

中央1丁目4-22



16 クラシキ庭苑

築約100年の町家を再生活用した個性溢れる複合商業施設です。自家焙煎の珈琲専門店に倉敷の特産品が売りのカフェ、手作り帽子店、一番奥には隠れ家的なショットバーがあり、中庭や多目的スペースでは地域連携イベントが定期的に開催されます。

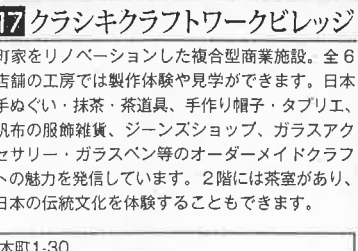
本町5-27



18 奈良萬の小路

江戶期から親しまれた老舗旅館と旧街道沿いの古民家を再生活用し、高梁川流域の食材を使った「倉敷の新しい食文化」発信拠点として、また、芸術や音楽とコラボした「新しい町家空間」として賑わっています。

阿知2丁目22-3、阿知2丁目21-10



17 クラシキクラフトワークプレッジ

町家をリノベーションした複合型商業施設。全6店舗の工房では製作体験や見学ができます。日本手ぬぐい・抹茶・茶道具、手作り帽子・タブリエ、帆布の服飾雑貨、ジーンズショップ、ガラスアクセサリー・ガラスペン等のオーダーメイドクラフトの魅力を発信しています。2階には茶室があり、日本の伝統文化を体験することもできます。

本町1-30



19 林源十郎商店

倉敷帆布、マスキングテープ、デニム生地仕立てのスーツ等、倉敷発の高質な日用品を取り揃えた複合商業施設です。また、カフェや倉敷のまちづくりに大きく貢献した林家の記念室もあり、3階バルコニーからは倉敷美観地区の町並みが一望できます。

【定休日】月曜日（※祝日の場合は翌日）
 阿知2丁目23-10



くらしき川舟流し

●チケット売場 / 倉敷館観光案内所

倉敷川から眺める白壁の町並み

かつて物資を積んだ川舟の往来でにぎわった倉敷川では、その風情を味わえる観光川舟が運航されています。ゆったりと進む舟に腰を下ろして眺める白壁の町並みは、川舟流しならではの表情を見せてくれます。

休日	3月～11月：第2月曜日（祝日の場合は営業） 12月～2月：土・日・祝のみの運航（年末年始は運休）
出発時刻	9:30～17:00 ※30分おきに出発（天候の状況により運休あり）
定員	1艘6名（1～2艘で運航）
料金	◎大人500円 ◎小人250円（5歳～小学生以下）
お問い合わせ先	【倉敷館観光案内所】☎086-422-0542

ボランティア観光ガイド

倉敷地区（美観地区周辺）の観光ガイド

観光ガイド	お問い合わせ先
倉敷地区ウェルカム観光ガイド連絡会	☎086-436-7734
有料観光ガイド 倉敷案内人グループ	☎090-9068-9585
倉敷善通訳会	☎086-465-5618

車椅子貸出

貸出場所	◎倉敷駅 ◎天満屋 倉敷店 ◎くらしきTMO事務所 ◎倉敷国際ホテル ◎倉敷市観光休憩所	◎倉敷駅前観光案内所 ◎橘香堂 美観地区店 ◎大原美術館 ◎倉敷物産館 ◎倉敷アイビースクエア
お問い合わせ先	くらしきTMO事務所 ☎086-424-0261	

レンタサイクル貸出所 ◎倉敷市観光休憩所（バス駐車場奥）
 【料金】300円（1日1回）【時間】9:00～16:30 【お問い合わせ先】☎086-425-6039

Wi-Fi が無料で使えます！
 ((倉敷フリー Wi-Fi))



このマークが目印!

利用可能エリアはこちらで
 ご確認ください。

高梁川流域
 フリー Wi-Fi の
 ホームページ



https://www.kurashiki-tabii.jp/ryuiki/wifi/

ちょっと便利な倉敷のまち



20 倉敷昆虫館

岡山県産の昆虫を中心に標本約 4,000 種 15,000 点を展示しています。

[営業時間]9:30~13:00
14:00~17:00
(※入館締切は16:30)
[定休日]月曜日(※祝日の場合翌日)、
12/29~1/3
[料 金]無料
幸町2-30(しげい病院1階) ☎086-422-8207

21 愛美工房

陶芸をはじめ手づくりが楽しめる工房で、磁器の絵付・粘土の手塗り・備前焼体験ができます。

[営業時間]9:00~17:30
[定休日]不定休(1月末~2月初)
[料 金]手塗り(2,500円)要予約
備前焼(3,500円)要予約
絵付(1,100円~)10名以上は要予約
掻き落とし(1,500円)10名以上は要予約
本町7-2 ☎086-424-0517

22 星野仙一記念館

倉敷市出身の元プロ野球選手、星野仙一氏のユニフォーム、野球用具、表彰カップ、写真など350点余りを展示しています。

[営業時間]10:00~17:00
[定休日]無休(臨時休館あり)
[料 金]◎大人500円◎幼児無料
◎子供(小学生)200円
◎団体400円(10名以上)
中央1丁目10-11(ヒルトップビルC棟2階)
☎086-426-1001

23 いがらしゆみこ美術館

漫画界の巨匠、いがらしゆみこの作品を展示している美術館です。お姫さまドレスを着てお茶や食事ができる「カフェプリンセス」が美術館にオープンしました。

[営業時間]10:00~17:00
[定休日]無休
[料 金]◎大人600円
◎学生(高・中)400円
◎小人300円
本町9-30 ☎086-426-1919

24 桃太郎のからくり博物館

桃太郎の浮世絵、紙芝居、玩具、古書等の歴史資料を展示しています。目の錯覚を利用した仕掛けも随所にあります。

[営業時間]10:00~17:00
[定休日]無休
[料 金]◎大人600円
◎学生(高・中・小)400円
◎幼児(5歳以上)100円
本町5-11 ☎086-423-2008

25 原澄治・本田實記念館

日本最初の公開民間天文台で、天文台内の5m観測ドームを記念館にしています。

[営業時間]13:00~17:00
[定休日]お盆、年末年始、
月・水・金曜日のみ開館
(※祝日は除く)
※見学は予約制
[料 金]無料
中央2丁目19-10 ☎086-422-0001(呼)

26 大山名人記念館

倉敷市出身、大山康晴十五世名人の足跡を知ることができ、名人ゆかりの将棋盤などを展示しています。

[営業時間]9:00~17:15
[定休日]水曜日(※祝日の場合翌日)、
12/29~1/3
[料 金]無料
中央1丁目18-1 ☎086-434-0003

**27 倉敷おもちゃ博物館・倉敷貯金箱博物館
倉敷Dog資料館・倉敷山陽堂アンティークモール**

江戸から昭和の終わりにかけての日本の可愛いおもちゃが数千点展示されています。犬の資料館や倉敷貯金箱博物館も併設しています。

[営業時間]10:30~17:00 [定休日]木曜日、12/30~1/2
[料 金]◎高校生以上300円 ◎学生(中・小)200円
船倉町1224 ☎086-425-4577

※営業時間、定休日、料金(表記以外、施設によって団体、高齢者割引料金等も異なります。)等変動する場合がございます。詳しくは各施設までお問い合わせください。

鶴形山の南麓を東西に抜ける道は、かつて倉敷から東へと抜ける街道筋として商人が行き交い、職人たちが軒を連ね、倉敷川沿いよりも早くから町が形成され賑わった場所です。この本町・東町界隈には、倉敷川畔とは違った趣があります。

今も昔の町家さながらの格子窓を持った店舗や住居が並び、そこには住む人の暮らしが息づいており、静かで郷愁あふれるその佇まいにきっと惹かれるはず。2014年には、電線類地中化事業も完了し、倉敷美観地区内の電線や電柱が無くなり、すっきりとした町並みになりました。また、近年は、土蔵や町家を改装したカフェやギャラリー、雑貨屋、居酒屋などがオープンし、この界隈に新たな魅力が加わっています。

本町・東町

ほんまち
ひがしまち



本町周辺

静かな時間の流れとともに暮らしが息づく町



28 楠戸家住宅

市指定重要文化財
国登録有形文化財

表屋造の主屋に虫籠窓など、明治期の代表的な町家の姿を残しつつ、現在も呉服店として営業しています。

東町1-20



29 井上家住宅

国指定重要文化財

美観地区では現存最古の町家です。井上家住宅の倉敷窓には、ここにしか見られない防火用の片開き漆喰仕上げの土戸が付いています。現在、保存・修理工事を行っており、完成後は一般公開を行う予定です。

本町1-40



30 阿智神社

倉敷美観地区を見下ろす絶好のビューポイントである鶴形山の山頂に鎮座し、境内には能舞台や蓬莱思想に基づいた古代庭園を構えています。「阿知の藤」も見応え十分です。

本町12-1 ☎086-425-4898



阿知の藤(4月下旬~5月上旬)
推定樹齢300~500年の県指定天然記念物



倉敷美観地区 夜間景観照明

【日時】4月～9月（日没～22時）
10月～3月（日没～21時）
【場所】倉敷川周辺、倉敷アイビスクエア一帯

夕陽が西の空に沈む頃、倉敷美観地区全体が景観照明のやさしい光に包まれ始めます。世界的な照明デザイナー石井幹子氏がプロデュースしたこの景観照明は、倉敷市と周辺住民の協力で始まりました。昼間とは違った表情を見せる夜の倉敷美観地区の幻想的な美しさは、見る人の心を癒します。



訪れる人の心を癒す幻想的なあかりが灯る町



新溪園

大原美術館

倉敷考古館周辺

茶屋町
ちややまち

錦莚 (きんかんえん) 市指定重要文化財

31 磯崎眠亀記念館
いそざきみんききねんかん

国登録有形文化財
錦莚 (きんかんえん) を生みだし織物産業界で活躍した磯崎眠亀を記念し、住宅兼作業場を改装して資料を展示しています。

【営業時間】9:00～16:30 【料金】無料
【定休日】月曜日(※祝日の場合翌日)
年末年始、その他

茶屋町195 ☎086-428-8515

※1P地図上に位置記載

32 倉敷刀剣美術館

日本刀の展示、刀刻の素晴らしさを伝える刀剣講座や研究会を開催しています。さらに、日本刀の無料査定、鑑定、買取業務など日本刀に関するサポート体制を整備しています。

【営業時間】10:00～18:00
(入館締切17:30)
【定休日】月曜日(※祝日の場合は翌日)
【料金】有料(当館専用バス1,000円)

茶屋町173 ☎086-420-0066

※1P地図上に位置記載

レンタサイクル貸出所

◎おみやげ街道茶屋町店

営業時間	9:00～17:00
料金	300円(1日1回)・500円(2日)
お問い合わせ先	☎086-428-5883

藤戸町藤戸
ふじとちようふじと

33 源平合戦 藤戸古戦場跡

先陣の功をあげた佐々木盛綱が修復した藤戸寺など、源平合戦にまつわる古跡が数多く残されています。また、藤戸寺には鎌倉時代中期の石造五重塔があるほか、初夏の頃には「平家物語」で有名な沙羅双樹の花が咲くことでも知られています。

※1P地図上に位置記載

藤戸寺

佐々木盛綱像

浮洲岩跡

浮洲岩跡

水島 世界に誇る最高水準の技術力と生産力



みずしま

水島コンビナートの夜景

霧羽山公園内(旧霧羽山スカイライン)から見るコンビナートの夜景は、「日本経済遺産」及び「夜景100選」にも選ばれ、人々を魅了します。

日本有数のコンビナートを擁する町

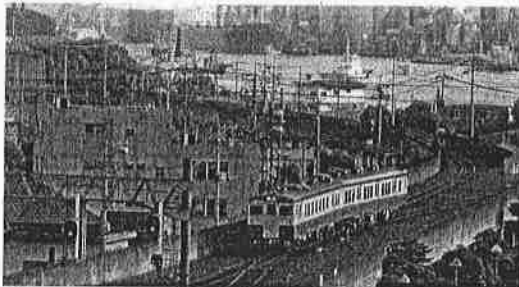
かつて高梁川は東西2本の流れがあり、東高梁川は大正時代に陸地化されました。その跡地を中心に発展したのが水島地域です。戦後、本格的に埋め立てられ、日本有数の工業地帯に発展しました。

工場見学

水島コンビナートの敷地面積は2,546ha(東京ドーム545個分)、中四国最大の取扱貨物量を誇る水島港を中心として、鉄鋼、石油化学、石油精製、自動車、食品など約230社が集積、従業員数は約2万4千人、岡山県工業製品出荷額のはば50%を生産しています。工場見学を受け入れてくれる企業もありますので、事前に企業へお問い合わせください。



写真は JFE スチール厚板工場



34 水島臨海鉄道

※1P地図上に位置記載

地元では「ピーポー」の愛称で親しまれている水島臨海鉄道。JR倉敷駅に隣接する倉敷市駅から三菱自工前駅の10.4kmを約25分で結び、1日34往復の旅客輸送があります。貨車列車や国鉄時代のディーゼルカーも、鉄道ファンの注目を集めています。

【お問い合わせ先】 ☎086-446-0931

ピーポー車窓ガイド

水島臨海鉄道の上り・下り全線にわたり、車窓から見える施設や歴史などを地元高校生の音声で案内します。ピーポーに乗りしたら、ぜひスマホで「車窓ガイド」をご利用ください。



36 諸国郷土玩具館

日本全国の風や土人形、また世界の玩具など約6,000点を展示。入口では、迫力ある「弘前の願ねぶた」が出迎えてくれます。

※1P地図上に位置記載

【営業時間】10:00~16:00

【定休日】不定休

【料金】◎大人300円 ◎学生(中・小)150円

福田町福田2418-2 ☎086-455-7873

37 都羅の小径

※1P地図上に位置記載

かつて海運で栄えた運馬の繁栄を偲ばせる「都羅の小径」と呼ばれる街道には、由緒ある寺社や史跡が点在します。



籠取神社(へらとりじんじゅ)

二百以上の石段や長い廻廊など見どころがあり、桜の季節は特に美しい景色が楽しめます。



宝島寺(ほうとうじ)

室町時代創建の仁王門を持ち、江戸時代には書の名僧・寂庵が住職を務めたことでも有名。



38 薄田泣菫生家

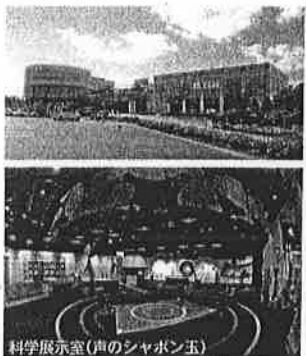
※1P地図上に位置記載

薄田泣菫は明治時代を代表する詩人の一人。その後、随筆の分野でも活躍しました。生家には、詩集の他、彼を慕っていた芥川龍之介や交流のあった長尾野弥子などの資料も展示しています。

【営業時間】9:00~16:30 (定休日)月曜日/2/29~1/3 (料金)無料

水島町水島1284 ☎086-446-4830

薄田泣菫(54歳当時)



科学展示室(虫のシャボン玉)



プラネタリウム投映風景

35 ライフパーク倉敷科学センター

※1P地図上に位置記載

直径21mのドームでは、満天の星空を映し出すプラネタリウムと全天周映画が楽しめます。また、科学展示室では科学のおもしろさやずばらしさを体験できる約100点の展示物を設置しており、子どもから大人まで科学の楽しさを肌で感じることができる空間です。

【営業時間】9:00~17:15 (※入館締切は16:45)

【定休日】月曜日(※祝日の場合は翌日)、年末年始

【料金】科学展示室/◎大人410円 ◎学生(高・中・小)100円

※プラネタリウムと全天周映画は別途料金必要

福田町古新田940 ☎086-454-0300

39 楯築遺跡 国指定史跡

庄新町の丘陵上、王墓山古墳の北側に位置する弥生時代後期に築造された日本で最大級の墳丘を持つ弥生墳丘墓です。円丘部の頂上には5個の巨石が立てられ、墳丘の各所から多くの土器片も出土しています。

※1P地図上に位置記載



熊野神社 国・県指定重要文化財

熊野神社は、修験道の始祖である役行者の弟子たちが開いたと言われる神社で、社殿が6棟建ち並び、その壮麗さに圧倒されます。第二殿が国の重要文化財に、そのほかの殿が県の重要文化財に指定されています。

※1P地図上に位置記載



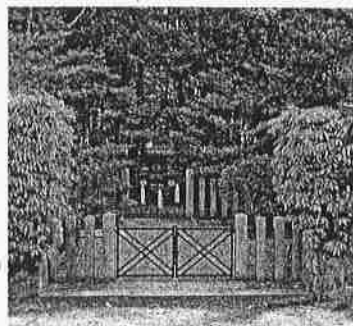
ごりゅうそんりゅういんほうどう

41 五流尊瀧院宝塔

国指定重要文化財

嵯井宮覚仁親王と冷泉宮頼仁親王が、隠岐で亡くなった父君である後鳥羽上皇の一周忌供養のために、1240（仁治元）年に建立したものと伝えられています。

※1P地図上に位置記載

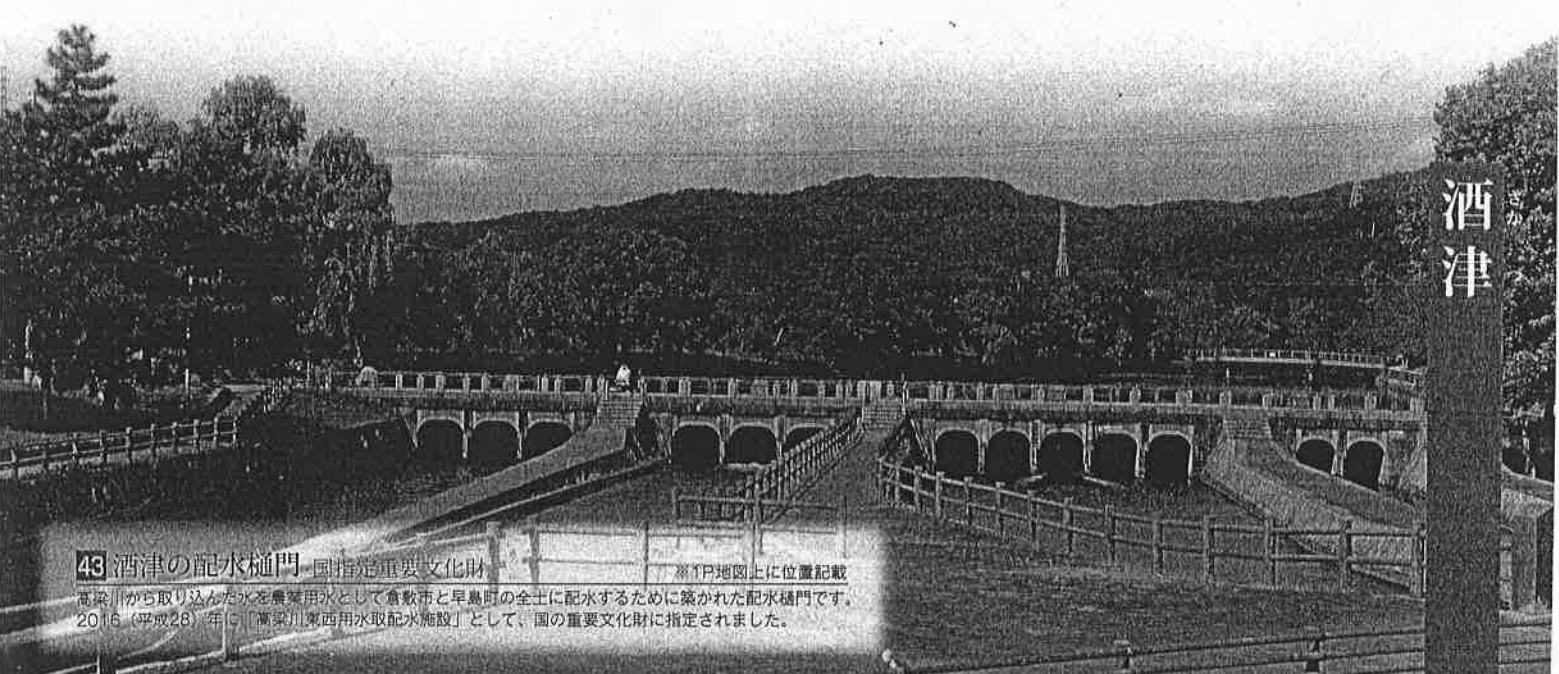


れいぜいのみやよりひとしのうごりょうぼ

42 冷泉宮頼仁親王御陵墓

頼仁親王は、1221（承久3）年に都で起きた戦乱で敗れ、都からこの地に流刑となった皇子です。一般立入は不可ですが、御陵墓は綺麗に整備され、静かに奉られています。

※1P地図上に位置記載

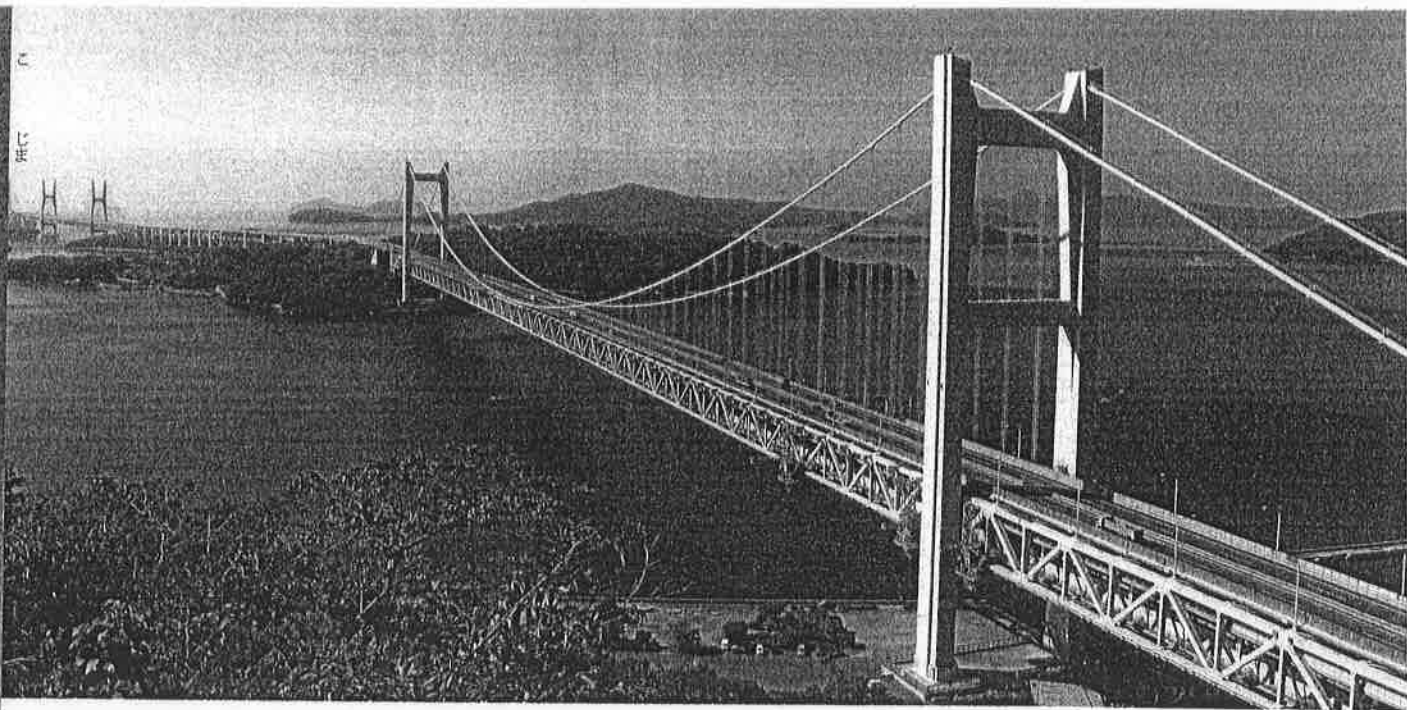


43 酒津の配水樋門 国指定重要文化財

高梁川から取り込んだ水を農業用水として倉敷市と早島町の全土に配水するために築かれた配水樋門です。2016（平成28）年に「高梁川東西用水取水配水施設」として、国の重要文化財に指定されました。

※1P地図上に位置記載

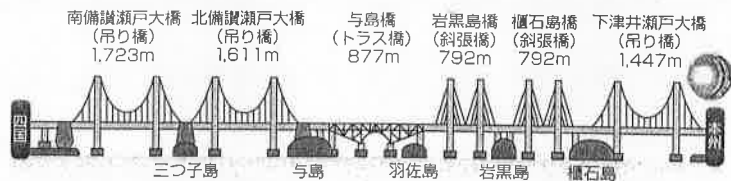
児島 雄大な景色に癒されて



44 瀬戸大橋

本州と四国を結ぶ世界最大級の橋

1988（昭和63）年に開通した岡山県と香川県を結ぶ本州四国連絡橋の一つ。橋梁部9,368m、高架部を含めると13.1kmの道路と鉄道を渡す上下二層、世界最大級の橋梁群です。海峡部に架かる吊り橋、斜張橋、トラス橋など6種類の橋梁が連なる景観は圧巻です。日没から橋がライトアップされ、優雅でロマンチックな雰囲気を楽しめます。南備讃瀬戸大橋と北備讃瀬戸大橋は「日本の20世紀遺産」に選ばれました。



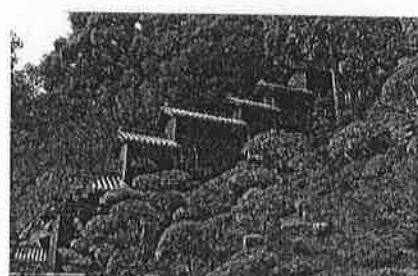
45 鷺羽山(下津井鷺羽山) 国指定名勝

瀬戸内海国立公園の代表的な景勝地で、鷺が翼を広げて雄飛する姿に似ていることから「鷺羽山」と名付けられました。標高133mの山頂「鍾秀峰（しょうしゅうほう）」からは、波静かな海上に点在する大小50余りの多島美と雄大な瀬戸大橋、そして対岸の四国までも見渡すことができます。



46 通仙園

瀬戸内海の多島美はもちろん、自然景観と水島の工場群という人工的な景観の両方が楽しめます。遊歩道も整備された散策に適したスポットで、ツツジの名所としても有名です。ほとんど人の手が加わっていない自生のもので、桜の満開から1週間ほど経ったころに見頃を迎え、毎年約3,000本のツツジが咲き誇ります。



47 由加山

標高274m。奈良時代に行基がこの山に阿弥陀如来と薬師如来の二尊を「瑜伽大権現」として祀り、寺社を建てました。かつては四国にある「こんびらさん」との両参りの風習があり、現在も厄除けの総本山として多くの参拝客が訪れます。

瀬戸大橋と国産ジーンズ発祥の町

本州と四国を結ぶ瀬戸大橋のもとに位置し、鷺羽山、王子が岳、由加山など、景勝地の多い児島。

産業では江戸時代後期に野崎武左衛門が製塩業で塩田王国を築きました。また、「繊維の町」と呼ばれるとおり、繊維産業が盛んです。その歴史は長く、江戸時代の真田紐に始まり、江戸時代中期から大正時代には足袋、昭和には学生服と生産の中心が変遷していくなか、1960年代、国内で初めてジーンズの本格的な製造をスタート。現在は、素材・染め・織り・縫製・仕上げ・加工まで、高い技術を駆使したジーンズの産地として国内外より大きな注目を集めています。

瀬戸大橋のもとには、瀬戸内海有数の漁港である下津井があり、新鮮な水産物にも恵まれています。自然と景観に育まれた豊かな土壌で、伝統と新しい感性を大切に、発展と進化を続けている町です。





48 鷺羽山ビジターセンター

鷺羽山山頂の真下にあり、鷺羽山のいろいろな情報を提供しています。瀬戸大橋を間近に感じることができ、テラスからは鷺羽山随一の素晴らしい眺めを楽しめます。

【営業時間】(4月～9月)9:00～17:00
(10月～3月)9:00～16:30
【定休日】12/29～1/3

下津井田之浦1丁目2 ☎086-479-8660



49 鷺羽山レストハウス

眼下に海を臨みながら瀬戸内の味覚が味わえるレストランや、土産物販売コーナー・休憩コーナーなどがあります。また、瀬戸内海の美しい島々と四国へとのびる瀬戸大橋の眺めをゆっくりと楽しむこともできます。

【営業時間】
(売店・レストコーナー)9:00～17:30
(レストラン)11:00～14:30(L.O.14:00)
※土・日・祝は15:30まで(L.O.15:00)
【定休日】無休

下津井田之浦1丁目1 ☎086-479-9164

50 王子が岳

標高234mの小高い山で、花崗岩の巨岩・奇岩群の造形美が連なる景勝地です。山腹に沿って頂上まで続く遊歩道が整備され、春は桜やツツジなどが咲き誇り、手頃なハイキングコースとして親しまれています。スカイスポーツなども盛んで、頂上付近からは瀬戸大橋や四国連山まで見渡すことができ、休憩・展望施設も整備されています。



瀬戸内海 国立公園

瀬戸内海国立公園は、1934(昭和9)年3月16日に雲仙や霧島とともに日本で最初の国立公園として指定されました。指定当初は児島地区にある鷺羽山等の備讃瀬戸一帯でしたが、その後、追加の指定を受けて現在の規模になりました。陸域面積は66.934haであり、海域を含めると日本一広大な規模を誇ります。瀬戸内海に広がる大小1,000余りの島々で形成される内海多島海景観が最大の特徴です。その中でも児島地区一帯には、優れた自然景観を保持しているとして、国が指定した特別地域が広がり、四季を通じて楽しめる見どころがたくさんあります。



52 六口島 象岩

国指定天然記念物

花崗岩が長い年月をかけて波の浸食や風化などによって削られ、丸みをもつ胴体に頭・鼻が伸び、大きな耳を持った巨象のような姿をしている奇岩。1932(昭和7)年に国の天然記念物と指定されました。

鷺羽山夕景鑑賞バス

瀬戸内海屈指の景勝地・鷺羽山から見える瀬戸大橋と瀬戸内海を染めていく美しい夕景が楽しめます。

【運行日】
通年(金・土・祝前日) ※運行日が変更になる場合がありますのでご確認ください
【運行ルート】
JR 児島駅前から乗車 (季節により運行時間の変更あり)
【料 金】
520円(大人・子ども)
お問い合わせ先
下津井電鉄(株) ☎086-472-8311

53 三百山

鷺羽山連峰の三百山。夕陽やツツジの名所であり、野鳥の観察もできます。うす紫や赤色のツツジが咲き誇り、4月中下旬には山の斜面がツツジで真っ赤に染まります。約20分の遊歩道は、ツツジ越しに瀬戸内海の風景を望める絶景ルートで、山頂からは瀬戸内海に浮かぶ島々を眺めることができます。



Wi-Fi が無料で使えます!

(((倉敷フリー Wi-Fi)))



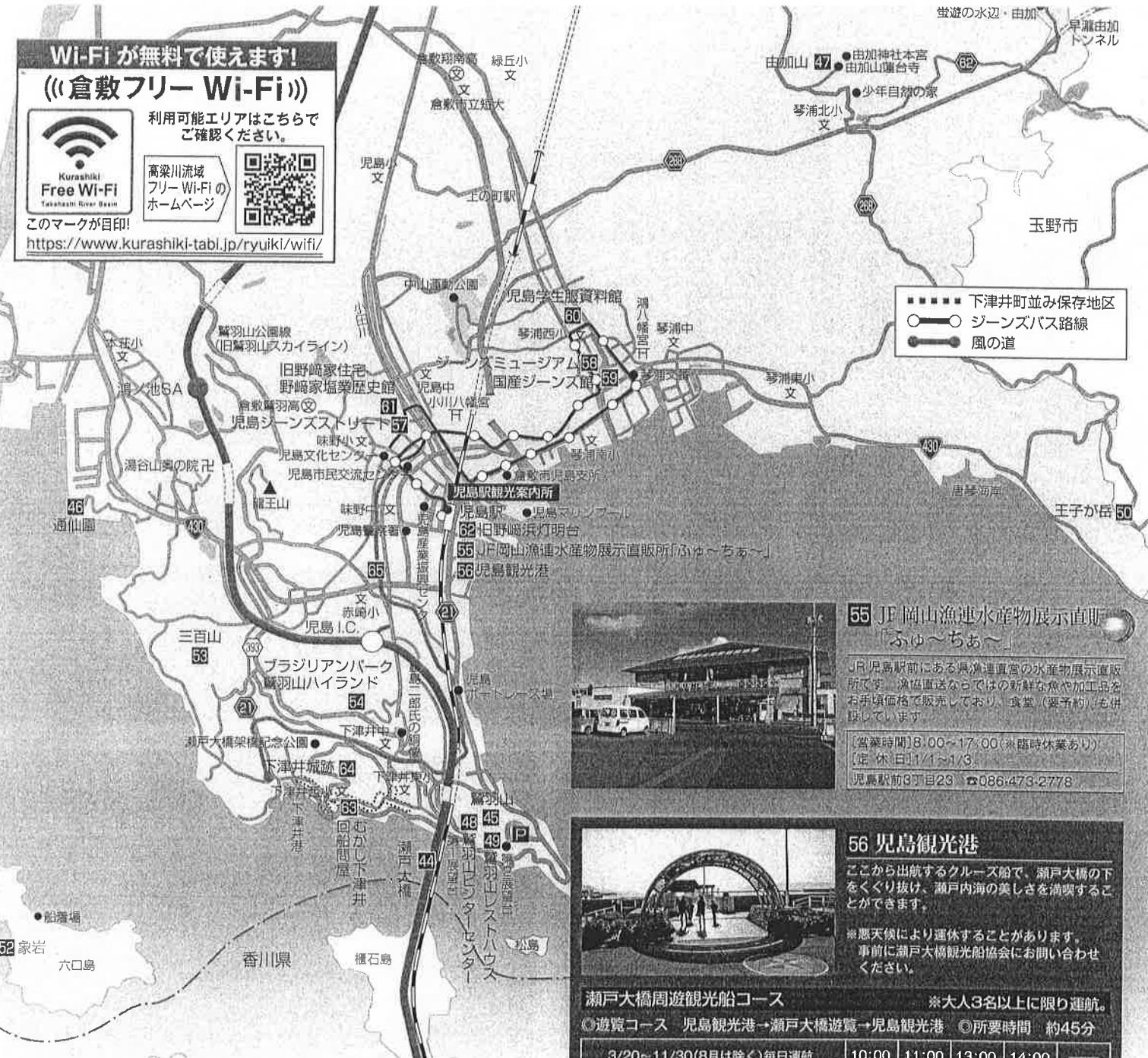
Kurashiki Free Wi-Fi Takahashi River Basin

このマークが目印!

https://www.kurashiki-tabl.jp/ryuik/wifi/

利用可能エリアはこちらでご確認ください。

高梁川流域フリー Wi-Fi のホームページ



下津井町並み保存地区
ジーンズバス路線
風の道



55 JR 岡山漁連水産物展示直販
「ふゆ〜ちあ〜」
JR 児島駅前にある漁連直営の水産物展示直販所です。浜値直送ならではの新鮮な魚や加工品をお手頃価格で販売しており、食卓（要予約）も併設しています。
[営業時間] 8:00~17:00 (※臨時休業あり)
[定休日] 1/1~1/3
児島駅前3丁目23 ☎086-473-2778

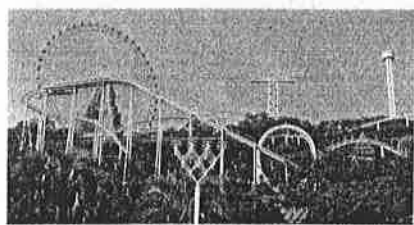


56 児島観光港
ここから出航するクルーズ船で、瀬戸大橋の下をくぐり抜け、瀬戸内海のみらぶを満喫することができます。
※悪天候により運休することがあります。事前に瀬戸大橋観光船協会にお問い合わせください。

瀬戸大橋周遊観光船コース ※大人3名以上に限り運航。
◎遊覧コース 児島観光港→瀬戸大橋遊覧→児島観光港 ◎所要時間 約45分

3/20~11/30(8月は除く)毎日運航	10:00	11:00	13:00	14:00	—
8/1~8/31	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00
12/1~3/19は土・日・祝のみ、1/1~1/3	10:00	11:00	13:00	14:00	—
大人	小人(小学生のみ)	団体			
1,550円	780円	15名以上より 大人1,400円 小人700円			

瀬戸大橋観光船協会
お問い合わせ先 ☎086-473-6777 [児島駅前3丁目23] ※JR児島駅から徒歩5分



54 ブラジリアンパーク 鷺羽山ハイランド
瀬戸内海を一望できる遊園地で、アトラクションのほか、スライダープールやインラインスケートも楽しめる施設。名物サンパショーは毎日開催しています。

[営業時間] 10:00~17:00 (※季節により延長あり) [定休日] 無休
[料金] フリーパスポート(入園すると乗物無料)
◎大人(中学生以上) 3,800円 ◎小人(小学生) 3,200円
◎幼児(3才~) 2,500円 ◎シニア(50才~) 2,500円
下津井吹上303-1 ☎086-473-5111

ちょっと便利な児島めぐり

下津井循環バス「とこはい号」
JR 児島駅を起点に、懐かしさあふれる下津井の町並みや瀬戸大橋を一望する鷺羽山展望台を巡ります。
[運行日] 通年 [運行ルート] JR 児島駅前から乗車
[料金] 1日乗車券◎大人 520円 ◎子ども 260円
お問い合わせ先 | 下津井電鉄(株) ☎086-472-2811

レンタサイクル貸出所 ※身長 139cm 未満の方はご利用できません。
◎児島駅観光案内所 ◎倉敷市児島産業振興センター
[料金] 300円(1日1回) ※電動は500円 [料金] 500円:電動(1日1回)
[時間] 9:00~16:30(12:00~13:00受付不可) [時間] 9:00~17:00(火曜・年末年始休館)
お問い合わせ先 | ☎086-472-1289 お問い合わせ先 | ☎086-441-5123

ボランティア観光ガイド
児島地区の観光ガイド 予約が必要となりますので、下記までお問い合わせ下さい。
児島観光ガイド協会 ☎086-474-4004 (電話受付時間/10:00~15:00)
FAX:086-474-8551 (24時間対応)

ジーンズバス ~児島をめぐる旅~
ジーンズショップや染め工場、ミュージアムなどのジーンズ関連スポットはもちろん、周辺の名所旧野崎家住宅やグルメ、お土産スポットなど、児島の魅力を思う存分満喫できるバスです。
[運行日] 金、土、日、祝日(年末年始は除く)
[料金(1回)] ◎大人 170円 ◎子ども 90円
[1日乗車券] ◎大人 620円 ◎子ども 310円
[お問い合わせ先] 下津井電鉄(株) ☎086-472-2811
※運行日が変更になる場合がありますのでご確認ください。
※1日乗車券を使うと、ジーンズバス以外にもジーンズバス運行エリアの下電バス「どこはい号」、「ふれあい号」、「王子ヶ岳線(下の町停留所まで)」が自由に乗り降りできます。



国産ジーンズ発祥の地 児島の「ジャパンデニム」

江戸後期から繊維産業が発達した児島地区。1960年代には国産ジーンズの製造がスタートしました。素材、染め、織り、縫製、仕上げ、加工まで、高い技術を駆使した高品質なジーンズで知られ、国産ジーンズの聖地として多くの観光客が訪れています。



南側の入り口は、
大きなGパンの
看板が目印。

「ポケットにもなっている
ポケットパークのトイレとベンチ」



57 児島ジーンズストリート

旧野崎家住宅から南へ広がる商店街に、地元ジーンズメーカーのショップが連なり、オリジナリティーあふれる品々が揃います。ストリート周辺にはジーンズ以外にも魅力的なショップがいっぱい。ジーンズ好きのためのショッピングスポットとして注目を集めています。

お問い合わせ先
児島ジーンズストリート協同組合事務局 ☎086-441-9127

ジーンズミュージアム&ヴィレッジへようこそ！

ジーンズの資料館「ジーンズミュージアム」、ジーンズ作りが実際に体験できる「体験工場」、「アウトレットショップ」からなるジーンズミュージアム&ヴィレッジは、ジーンズをまるごと体感できる注目のスポット。他にも、ストラップ作りや擦り体験なども行えます。少し足を延ばせば、児島ならではの藍染め製品のショップなどもあります。



58 ジーンズミュージアム

国内初のジーンズ資料館です。ジーンズの歴史や生産工程の紹介に始まり、年代物ジーンズや古い縫製用ミシンの展示など、ジーンズ好きにはたまらない施設です。オリジナルジーンズのオーダー（要予約）も受け付けてくれます。

【営業時間】9:00～18:00 【定休日】年末年始を除き年中無休 【料金】無料
児島下の町5丁目2-70 ☎086-473-4460



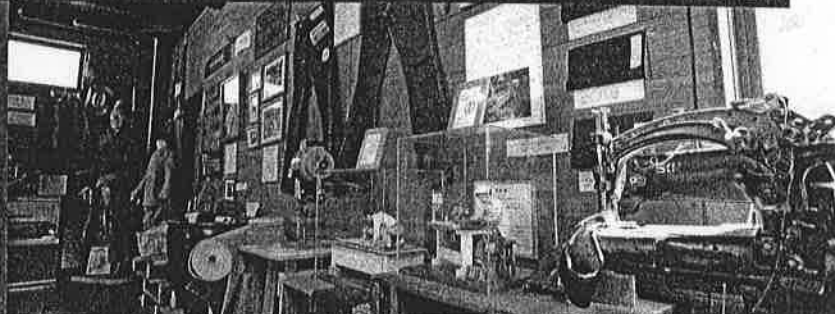
体験工場

リベット打ち、釦付け、デニムの加工体験ができる工房です。世界にひとつだけのジーンズを作ることができます。
※内容に応じて体験費用が必要になります。



ストラップ作り

素材とリベット、キーホルダーがストラップを選んで、お手軽に作ることができます。



59 国産ジーンズ館

1970年代に稼働していた洗い工場の跡地を利用した国産ジーンズの歴史と技術を伝える資料館です。児島で生まれた貴重なジーンズの数々、広告ポスターや販促物、アメリカ製やドイツ製のミシン、ジーンズを軽石と一緒に洗ってストーンウォッシュ加工をする機械など充実した展示となっています。

【営業時間】9:00～18:00 【料金】無料
【定休日】年末年始を除き年中無休
児島下の町5丁目2-70 ☎086-473-4460



60 児島学生服資料館

全国の学生服の90%を生産していた学生服のまち・児島。昭和初期から現在までの学生服の歴史や、販売促進用の看板などを展示した学生服の資料館です。2階には学生服の試着コーナーがあり、記念撮影なども楽しめます。

【営業時間】10:00～17:00 【料金】無料
【定休日】不定休(年末年始休み)
児島下の町5丁目5-3 ☎086-473-2111



61 旧野崎家住宅・野崎家塩業歴史館

国指定重要文化財・県指定史跡
江戸時代後期に大規模な塩田を開き、「塩田王国」を築いた野崎武左衛門の屋敷。約3,000坪の敷地には、約1,000坪にわたる主屋群を中心に6棟の土蔵、庭内に3層の茶室が点在するなど、当時の勢いをうかがわせます。塩田に関する資料や歴史なども閲覧可能です。

【営業時間】9:00~17:00(※入館締切は16:30) 【料金】●大人500円 ●学生(中・小)300円
【定休日】月曜日(※祝日の場合は翌日)12/25~1/1
児島味野1丁目11-19 ☎086-472-2001

塩づくりを体験してみませんか?

塩づくり体験館

参加費	無料(ただし、入館料要)
場所	旧野崎家住宅「塩づくり体験館」
開始時間	(午前の部)10:00~ (午後の部)14:00~
対象	小学生以上
定員	60名
休館日	月曜日(※祝日の場合は翌日) 12/25~1/1

お申し込みは ☎086-472-2001
※1週間前までに電話でご予約をお願いします。



62 旧野崎浜灯明台

市指定重要文化財
塩釜神社への献灯と、船の灯台の役割を果たす灯明台として野崎武左衛門によって建立されました。屋根が宝形造りになっており、均整のとれたこの美しい灯明台は、1974(昭和49)年に倉敷市の重要文化財に指定されました。



下津井 風待ち、潮待ちの風情ある港町

古き良き風情が残る下津井

児島半島の南端にあり、「風待ち、潮待ち」の良港として知られる下津井。江戸中期から明治にかけて北前船の寄港地として発展しました。漆喰壁に本瓦葺きの町家など、港町独特の風景は県の町並み保存地区に指定されています。また、下津井沖の急潮で育ったタコなど、新鮮な海の幸が味わえるのも魅力です。

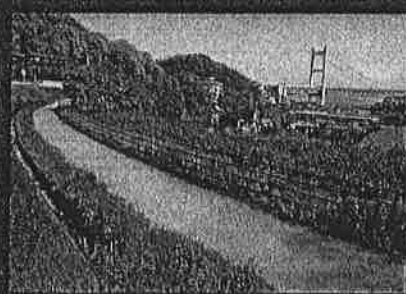
下津井漁港

下津井沖は潮流がはやいため、身が締まっておいしい魚やマダコが水揚げされます。晩秋から初冬には、足を広げてつるされた大きなマダコが、瀬戸大橋を背に潮風にゆらゆらと揺れている風景を見ることができます。



64 下津井城跡(瀬戸大橋架橋記念公園内)

県指定史跡
下津井港の背後にある標高89メートルの城山跡です。春には約300本のソメイヨシノやヤマザクラが目を楽しませてくれます。



65 風の道

全国から選ばれた倉敷の百選：遊歩百選
廃線となった下津井電鉄の軌道跡地(旧児島駅~旧下津井駅)を市が整備し、現在は約6.3kmの歩行者・自転車専用道となっています。

下津井町並み保存地区



下津井は瀬戸内海に面する港町で、江戸時代には、北前船による綿花、ニシン粕の中継取引港として、また、海を隔てた讃岐金毘羅参りをする人々の宿場として大いに繁栄しました。今でも当時の商家やニシン蔵などが残され、港町の雰囲気がよく残っています。



63 むかし下津井 回船問屋

明治時代の回船問屋の建物を復元した資料館です。母屋など当時の商家の様子が見えるほか、下津井にまつわる資料の展示や、地元特産物の販売、食事処もあります。

【営業時間】9:00~17:00(※入館締切は16:30)
【定休日】火曜日(※祝日の場合は翌日)12/29~1/3
下津井1丁目7-23 ☎086-479-7890



風のルート紹介【児島味野~下津井】

旧児島駅を出発すると、四季の花々とともに、現存する下津井線のホームや架線柱などが見られます。途中、旧琴海駅では眼下に児島ポートレース場が広がり、旧鷺羽山駅付近では瀬戸内海の雄大なパノラマを楽しめるなど、終点旧下津井駅まで見所満載です。

玉島 — お茶文化が根付き、綿の出荷で栄えた港町

古き良き風情を今にとどめ 進化を続ける港町

備中地方の拠点として栄えた港町「玉島」の歴史は、江戸時代、備中松山藩主の水谷公が新田開発を行い、港を開いたことから始まります。当時の面影を色濃く残す白壁の建物が並ぶ町並み保存地区や、良寛和尚の修行した円通寺、かつて高瀬舟の発着場としてにぎわいを見せた玉島港など、どこか懐かしくノスタルジックな風景に心癒されます。

66 円通寺(円通寺公園) 県指定名勝

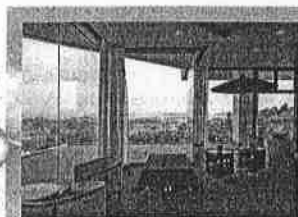
白華山にある円通寺は、奈良時代に行基によって開創されたと伝えられる曹洞宗の古刹で、良寛など多数の高僧が住山、修行した寺院として知られています。この寺を中心とする円通寺公園では四季折々の花々を楽しむことができ、白華山の山頂周辺からは瀬戸内海の多島美を望むことができます。

円通寺	玉島柏島451 ☎086-522-2444
円通寺公園展望休憩所	玉島柏島440-1 ☎086-525-1991



玉島の茶文化

玉島は、江戸時代より北前船や高瀬舟の水運のもとで繁栄した備中の国随一の商業港であり、商人たちの交流の場としても茶室が利用されていました。そのため、古くからお茶の文化が根付いており、今でも茶室やその名残が見られます。毎年春には、1949(昭和24)年から円通寺で、岡山四大茶会の一つ「良寛茶会」が開催されています。



作法を知らない方でも大丈夫！
 さらなる普段会でも大丈夫！
 江戸時代からお茶文化が根付く玉島の思い出に
 良寛荘で本格的なお茶席体験をしてください。

良寛荘でお茶席体験



67 国民宿舎 良寛荘

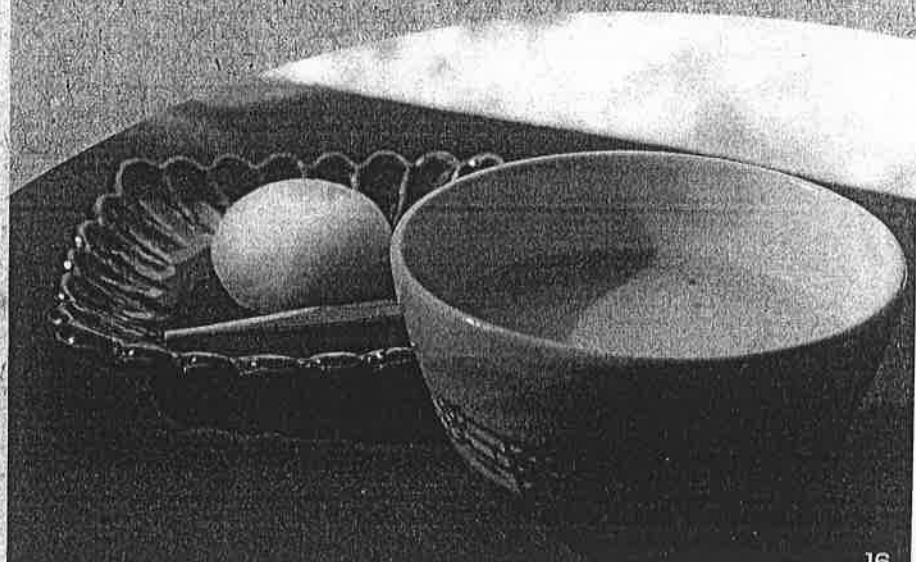
円通寺に隣接し、源平合戦の舞台となった玉島湾や瀬戸内海の島々を見ながら、ゆっくりとした時間を過ごせる宿。毎月第1日曜日には、「お抹茶点て方体験」(13:00~14:00)の席が設けられ、お茶席の主人役となる貴重な体験ができます。

[営業時間] 24時間(フロント対応) 7:00~21:00 (レストラン) 11:30~(L.O.14:00)
[定休日] 良寛荘 無休 レストラン/月曜日(祝日は営業) ※火~木は、前日までに要予約
玉島柏島478 ☎086-522-5291

良寛荘でお茶席体験

日程	毎月第1日曜日(13:00~14:00)
参加費	500円(税込) ※要予約
お問合せ	☎086-522-5291(国民宿舎 良寛荘)

※日程や料金は変更となる場合がございますので、良寛荘フロントへお問い合わせください。



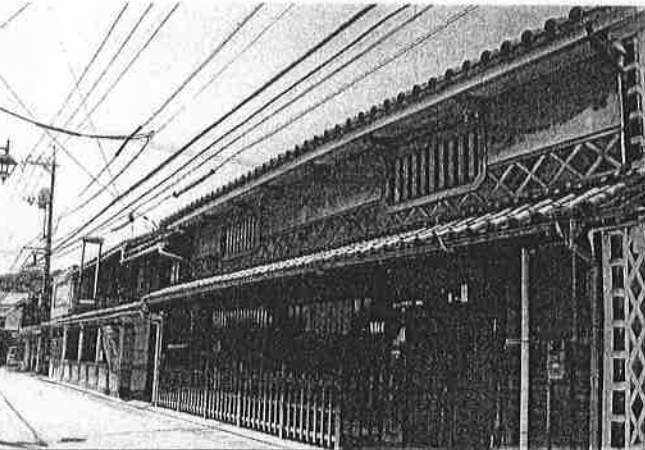


68 旧柚木家住宅(西爽亭)

国登録有形文化財 戊辰史跡
備中松山藩主に請役として仕えた柚木家の旧宅。江戸中期の建築といわれ、藩主お成りの屋敷でもあった風格ある造りや構えには格別の趣が見られます。また幕末に朝敵となった藩の全責任を負い、藩老熊田恰(くまたあかか)が自刃した屋敷でもあります。

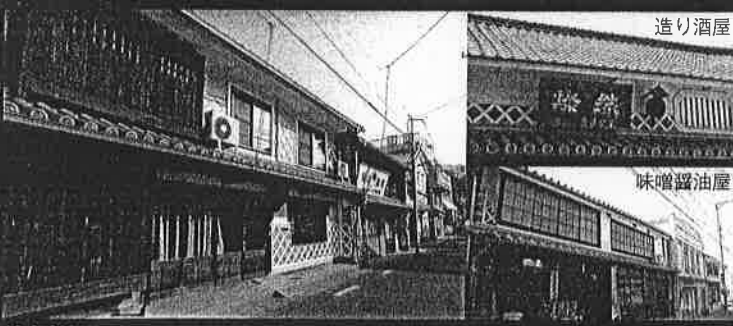
[営業時間] 9:00~17:00
[定休日] 月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始
[料金] 無料
玉島3丁目8-25 ☎086-522-0151

昔なつかしい景色が今も残る玉島



玉島町並み保存地区

新町
かつて問屋街として栄えた新町。潮止堤防の上に築かれたこの町は、現在、町並み保存地区になっており、当時の面影を残す白壁・格子窓の土蔵や商家が点在しています。また、新町通りには漢学者の川田鑑江の生家があります。



仲買町
備中松山藩主水谷公が玉島港を開いた際、仲買人たちが店を構えたのがはじまりといわれる仲買町。風情あるレトロな造り酒屋、紙屋、味噌醤油屋などが軒を連ねるこの町では、江戸時代から今も続く、ものづくりや商いの風景を体感できます。

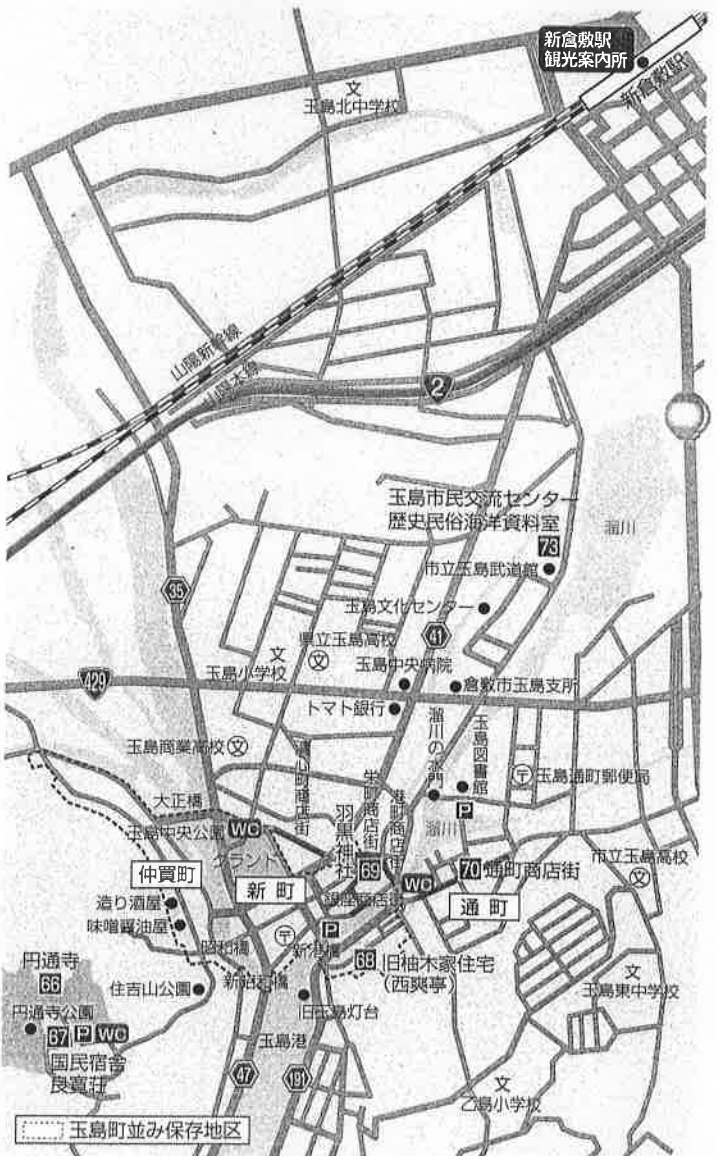


69 羽黒神社
1658(万治元)、備中松山藩主水谷公が玉島港を開く際、干拓工事の成功を祈って出羽の羽黒神社を勧請した神社です。屋根の上には烏天狗の鬼瓦があり、町おこしのシンボルとなっています。

Wi-Fi が無料で使えます!

(((倉敷フリー Wi-Fi)))

利用可能エリアはこちらでご確認ください。
高梁川流域フリー Wi-Fi のホームページ
<https://www.kurashiki-tabiji.jp/ryuiki/wifi/>





70 通町商店街

玉島で最も歴史のある商店街で、創業 100 年を超えるお店もあり、昭和初期のレトロな雰囲気味わえます。また、当商店街及び羽黒神社周辺の商店街では、原則、毎月第 2 日曜日に、その月のテーマに沿った趣向を凝らした朝市が開催されています。



玉島魚市場

島内海で獲れる新鮮な魚を中心に取り扱い、卸売りだけでなく「朝市」として一般にも開放しています。早朝のセリ風景も見学可能(要予約)です。魚のさばき方を教わることもできます。

※1P地図上に位置記載

[定休日]日曜日・水曜日、祝日

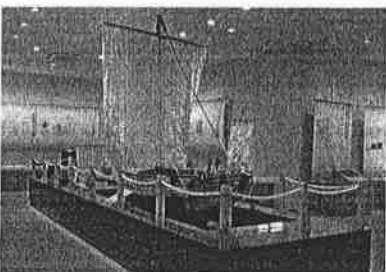
玉島柏島916-2 ☎086-526-7800



71 富田の桃畑

桃の産地として有名な玉島では、北部の丘陵地に桃畑が広がり「吉備丘陵の白桃」として、環境省の「かおり風景 100 選」にも選ばれています。4 月中旬頃の開花時期には甘い香りが漂い、高台から眺める景色は、見るものを楽しませてくれます。

※1P地図上に位置記載



73 玉島市民交流センター 歴史民俗海洋資料室

海とともに暮らし発展してきた玉島の町の歴史や民俗に関する資料・情報を集めた展示室です。郷土の歴史や民俗を知る上で欠かせない貴重な資料の数々が並んでいます。

[営業時間]9:00~22:00

[定休日]年末年始(2・5・8・11月の第4日曜日
(※祝日の場合は翌日)

玉島阿賀崎1丁目10-1 ☎086-526-1400



74 沙美海水浴場

日本最古といわれる海水浴場で、「日本の渚百選」に選ばれた美しい砂浜には、毎年多くの海水浴客が訪れます。1983(昭和58)年から6年間をかけ、日本最初の人工養浜工事が行われ、1989(平成元)年に「人工海浜」となった西浜も見所の一つで、毎年、沙美ビーチフェスティバルやビーチバレー大会などのイベントが開催されています。

※1P地図上に位置記載

ちょっと便利な玉島めぐり

ボランティア観光ガイド

玉島地区の観光ガイド <http://npogide1195.tonosama.jp/> 予約が必要となりますので、一週間前までに、電話かショートメールで、下記までお問い合わせ下さい。

NPO法人備中玉島観光ガイド協会 ☎090-7500-3574 (月~土/9:00~17:00)

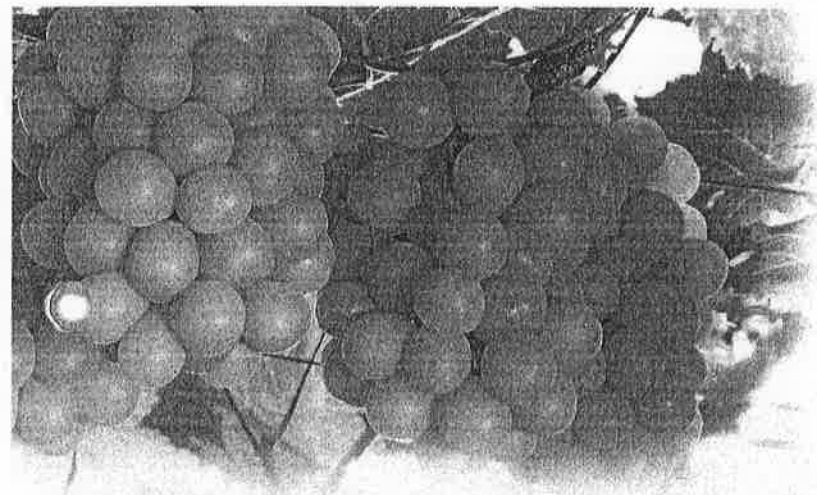
レンタサイクル貸出所

◎新倉駅観光案内所

[料金]300円(1日1回) ※電動は500円 ※2日バス/500円(普通自転車のみ可)

[時間]9:00~16:30(12:00~13:00受付不可)

[お問い合わせ先] ☎086-526-8446



ふなおマスカットワイン

マスカットの香りが上品で、フルーティーな味わい。高い品質を誇る倉敷市船穂町産のマスカットで作られる贅沢なワインです。



75 ふなおワイナリー

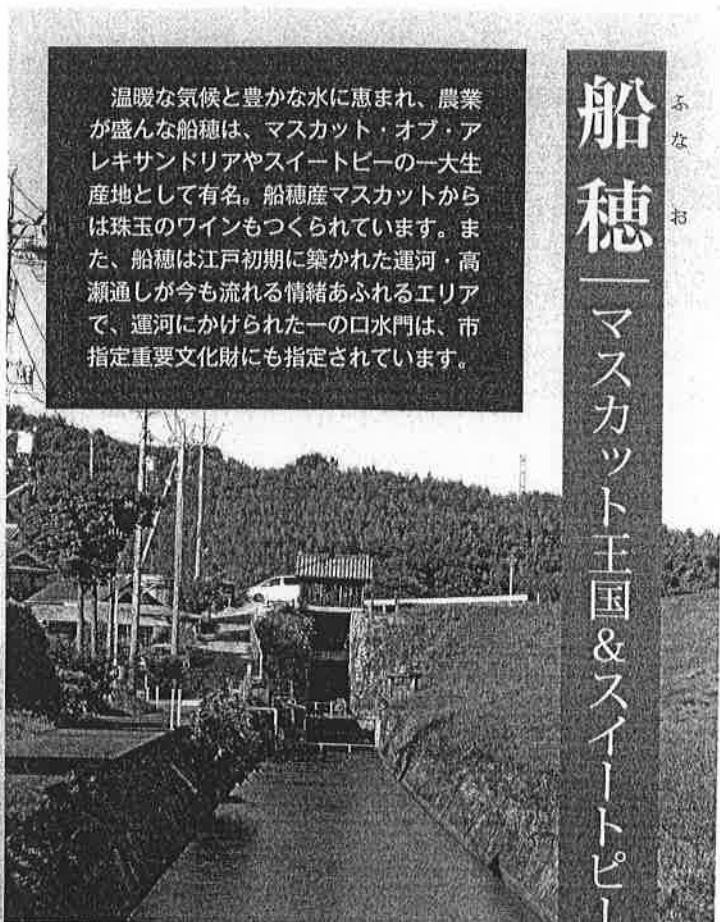
小高い山の中ほどにあるワイナリーでは、マスカット栽培の歴史などの掲示のほか、甘口・辛口・辛口などのふなおマスカットワインの試飲・購入、マスカットを贅沢にトッピングした、ふなおワイナリー限定ソフトクリームが味わえます。また、倉敷市内産マスカット葡萄を100%使用したジャム等の販売もしています。

※1P地図上に位置記載

[営業時間]9:00~17:00

[定休日]年末年始(12/28~1/3)

船穂町水江611-2 ☎086-552-9789
<http://www.funaowinery.com>



温暖な気候と豊かな水に恵まれ、農業が盛んな船穂は、マスカット・オプ・アレキサンドリアやスイートピーの一大生産地として有名。船穂産マスカットからは珠玉のワインもつくられています。また、船穂は江戸初期に築かれた運河・高瀬通しが今も流れる情緒あふれるエリアで、運河にかけられた一の口水門は、市指定重要文化財にも指定されています。

76 高瀬通し(一の口水門)市指定史跡

高瀬通しと呼ばれる運河が築かれたのは江戸時代初期で、往時は約10kmの水路に物を運ぶ高瀬舟が行き来していました。今でも江戸の風情漂う水門が残されています。

※1P地図上に位置記載

ふ
な
お

船
穂

—
マ
ス
カ
ツ
ト
王
国
&
ス
イ
ー
ト
ピ
ー
の
里

真備 — 奈良時代の賢人と、あの名探偵を生んだ竹の町



77 まきび公園

中国西安府に吉備真備公の記念碑が建立されたのを記念してつくられた古代中国風の公園です。中国にいるような雰囲気を楽しみながらの散策ができます。「たけのこ茶屋」では食事やお茶を楽しめるほか、地元農産物、工芸品の販売なども行われています。

真備の歴史を知る

倉敷市北西部に位置し、静かで美しい竹林の町・真備。地名からもわかるように、真備は奈良時代を代表する才人吉備真備公ゆかりの町で、遣唐使として中国に学び、帰国後は奈良時代の朝廷で、その知識をもとに政治・文化に広く貢献した真備公ゆかりの場所があちこちにあります。また、名探偵・金田一耕助が初登場した小説を、横溝正史が執筆したことで知られています。



78 吉備真備公の像

奈良時代に遣唐留学生、遣唐副使として二度中国に渡り、その知識を政治や文化に反映させました。囲碁を日本に伝え、カタカナを發明した人物と言われています。
※真備支所駐車場内、真備総合公園内にあります。



79 まきび記念館・たけのこ茶屋 [真備町箭田3652-1]

まきび公園内にあり、朱塗りの柱が中国情緒を醸し出しています。中には、吉備真備公に関する複製資料を数多く展示しています。

[開館時間] 10:00~16:00
[定休日] 月曜日(※祝日の場合は翌日) 12/28~1/4, その他
[料 金] 無料
まきび記念館 ☎086-698-7612

[開館時間] 10:00~16:00
[定休日] 月曜日(※祝日の場合は翌日) 年末年始、お盆
※詳しくは、下記問い合わせ先へ
たけのこ茶屋 ☎086-698-1514



80 真備ふるさと歴史館

江戸時代、真備の地を治めた岡田藩の文書をはじめ、当時の村人の暮らしや村の支配、産業の工夫などの資料を公開しています。また、横溝正史の遺品などを展示した横溝正史コーナーもあります。

[開館時間] 10:00~16:00 [料金] 無料
[定休日] 月・木・金曜日、12/28~1/4
真備町岡田610 ☎086-698-8433



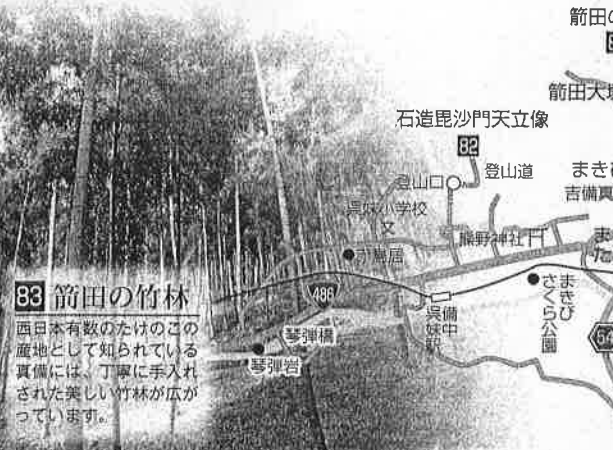
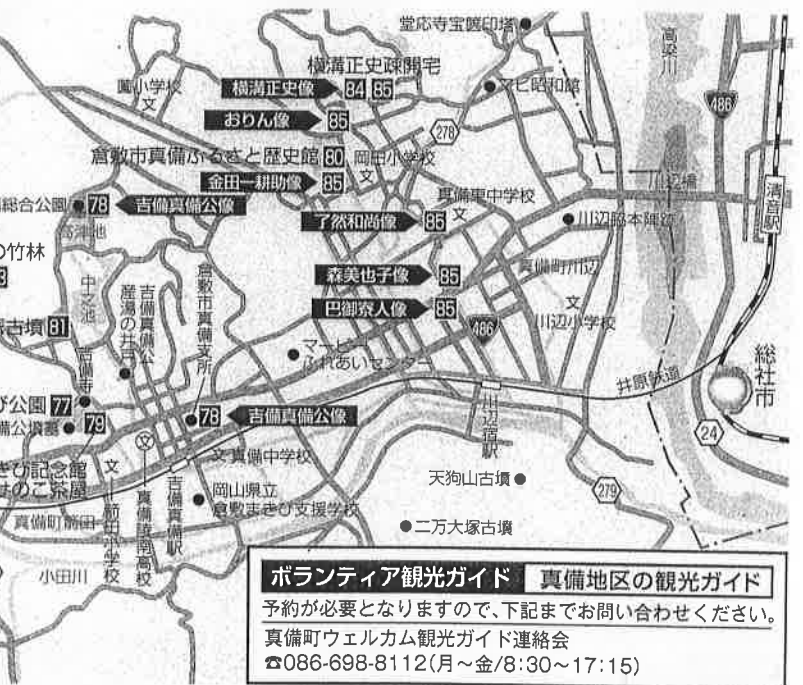
81 箭田大塚古墳

国指定史跡
県下三大巨石古墳の一つで、内部にある石室は、巨大なくつもの石を精密に組み合わせた横穴式の大空間で、入口の羨道とその奥の玄室に分かれています。6世紀後半の築造と考えられており、直径54m、高さ7mの円墳です。



82 石造毘沙門天立像

市指定重要文化財
標高130mの石鏡山の山頂の巨石に浮彫りされた像高1.8mの磨崖仏で、作者、年代の詳細は不明ですが、室町時代末期の作と言われています。



83 箭田の竹林

西日本有数のたけのこの産地として知られている真備には、丁寧に手入れされた美しい竹林が広がっています。

ボランティア観光ガイド 真備地区の観光ガイド
予約が必要となりますので、下記までお問い合わせください。
真備町ウェルカム観光ガイド連絡会
☎086-698-8112(月~金/8:30~17:15)

金田一耕助 生誕の町

『黒門島』『八つ墓村』などでも有名な推理小説の巨人・横溝正史(1902~1981年)は、終戦前後の約3年間、真備町の岡田地区に疎開していました。真備町に暮らす横溝は、戦後すぐに『本陣殺人事件』を月刊誌で発表しました。この密室殺人を扱ったミステリー小説は疎開先一帯を舞台にしたもので、この作品で初めて日本の名探偵の代名詞・金田一耕助が世に出たのです。

84 横溝正史疎開宅

横溝正史が70年以上前の疎開中に家族とともに暮らした家が、当時のたたずまいのまま保存されています。また、疎開宅から井原鉄道川辺宿駅まで、小説にまつわる見どころがあちこちに点在する。名探偵金田一耕助ミステリー遊歩道が整備されています。

[営業時間] 10:00~16:00 [料金] 無料
[定休日] 月・木・金曜日、12/29~1/3
真備町岡田1546 ☎086-698-8558

85 金田一耕助キャラクター像

横溝正史の作品には、真備町やその周辺の実在地が数多く登場します。ミステリーガイドブック(有料)には、うんちくが満載されており、これを片手に歩けば作品の世界観を実感することができます。また、初登場の服装にこだわった金田一耕助像など計6体の横溝正史作品キャラクター像がコース上に設置されています。

市内のミステリーガイドブック販売所
真備町及びその周辺 ○倉敷市真備ふるさと歴史館/バン屋UNE(清音駅前)
○大熊商店(清音駅前)
その他 ○倉敷駅観光案内所/倉敷観光案内所(倉敷美観地区)



金田一耕助像

倉敷で見つけたちょっと自慢の特産品



倉敷ガラス

一つ一つを丁寧に口吹きで制作する倉敷ガラスは、それぞれが違う表情と味わいを持っており、ほどよい厚みと重さが温もりを感じさせます。



むらすゞめ

上質のつぶあんを、卵と小麦粉で和製クレープのように焼いた皮でやさしく包んだ倉敷の銘菓です。1877（明治10）年に誕生しました。



藤戸まんぢゅう

源平合戦の古戦場・藤戸で、1184（寿永3）年を起源とする岡山県最古の老舗が作る、こしあんを薄皮で包んだ酒饅頭です。



マスクングテープ

市内に工場を構える企業が、工業用テープだったマスクングテープをカラフルなデザインの雑貨として開発したことで、女性を中心に人気を集めています。



倉敷手まり

現在でも糸の染色も含めて一つ一つ手作業で作られている倉敷手まりは、癒しを感じさせる飾り気のない素朴さが魅力です。



酒津焼

酒津焼の歴史は古く、1869（明治2）年にさかのぼります。軸葉をしっかりとかけて厚手に仕上げた重厚な作りと、光沢ある素朴な風合いが特長です。



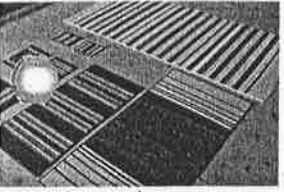
ジーンズ

高い技術を持つ職人達の手仕事により、1本1本丁寧に作られています。経年による表情の変化まで計算し、生地風合いやエイジング加工など細部までこだわりの作りが魅力です。



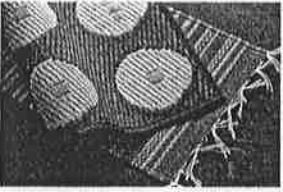
帆布（はんぷ）

帆布とは撚り合わせた綿糸を織った平織りの地厚織物のことです。倉敷市は日本一の生産量を誇っており、これを加工した生活グッズが人気を集めています。



織通（だんつう）

イ草と和紙と綿糸で作られた手織りの敷物で、和・洋どちらのインテリアにも合うデザインは、使い込んでも飽きが来ません。



い草製品

花ござ発祥の地と言われる倉敷市。茶屋町・西阿知などを中心に、敷物や雑貨など香りや手触りの良さを活かした魅力的な製品が作られています。



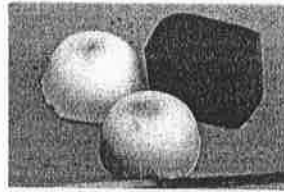
倉敷ノッティング

羊毛の糸160本を1束にして、それを縦糸に手で結んでいくという手法で織られた正方形の厚みのある椅子敷です。素朴で日常に溶け込み、かつ丈夫で使い勝手が良いという民衆の精神を体現しています。



畳縁（たたみべり）

畳縁とは畳の縁に付けられる帯状のもので、全国シェア80%を誇ります。最近では、バッグの素材としても人気が高まっています。



塩まんじゅう・塩羊羹

製菓業で知られる児島ならではの銘菓で、塩はもちろんだ地元「野崎の塩」を使用しており、甘みと塩味が絶妙に調和したお菓子です。



キャンドル

倉敷のキャンドルは、プライダルなどイベント用キャンドルの全国生産で高いシェアを占めています。倉敷の特産品である桃やマスカットなどの香りを配合したキャンドルも人気です。手作り体験もできます。



県指定郷土伝統的工芸品

倉敷はりこ

倉敷の人形師によって1869（明治2）年に生み出され、その技術と伝統は5代にわたって受け継がれています。ユニークな動きと愛嬌たっぷりの作品は、一貫してすべて昔ながらの手作業で作られています。

豊かな風土に育まれた
倉敷の特産品

倉敷市の特産品について、
こちらをご覧ください。
くらしき地域資源ミュージアム
<https://www.kurashiki-shiigen.jp/>

水島で見つけたちょっと自慢の特産品



連島ごぼう

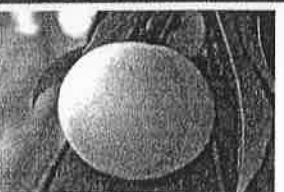
高梁川流域の水はけの良い土壌で栽培され、肌が白く、アクが少ないことが特徴です。
※連島ごぼうは、国の地理的表示 (GI) 保護制度登録産品です。



連島れんこん

粘土質の土壌と高梁川の水に育まれた連島れんこんは、色白でシャキシャキ感があるだけでなく、肉質が軟らかく甘みがあるのが特長です。

玉島で見つけたちょっと自慢の特産品



桃（白桃）

「果物王国」岡山を代表する果実です。倉敷の桃の一番の特長はその上品なまでの白さで、甘い香りと清涼感、そして、やわらかな食感を楽しむことができます。



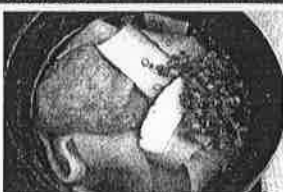
調味料

伝統の仕込みと素材にこだわった味噌や醤油、ソースは古くから地元で愛されている味です。



良寛ゆかりの和菓子

文人墨客の往来が盛んであった玉島には、茶の作法と共に和菓子も発達しました。人物・地名などにあやかった和菓子が創作されています。



しのうどん

江戸時代後期に良寛和尚が円通寺での修行時に食べていたといわれるうどんで、幅2cm、長さ1m以上の麺が特徴です。玉島の名物として人気が高まっています。



玉島だるま

戦後、「玉島の郷土玩具になるのでは」との思いから、玉島地区でだるまが作られるようになり西日本有数の産地となっています。

真備で見つけたちょっと自慢の特産品



竹製品

たけのこの産地真備町では、竹製小物細工や竹家具、雑貨など多種多様な竹製品が作られています。



たけのこ

たけのこの栽培に最適な粘土質の赤土に生える真備のたけのこは、色白で柔らかく、ほのかな甘みとアクの少なさが特長です。



ニューピヨーネ

大粒で糖度が高く、果汁がたっぷりで、その酸味と甘みは一度食べるとクセになる味わいです。しかも食べやすい種なしのぶどうです。

船穂で見つけたちょっと自慢の特産品



マスカット・オブ・アレキサンドリア

上品な香りと甘み、鮮やかなエメラルドグリーンが特長で、「果物の女王」と呼ばれています。船穂地区は、加温マスカットの生産が日本一で、全国生産の50%以上を占めています。



スイートピー

船穂産のスイートピーは50種類を超える多彩な花の色を持ち、花もちが良く、全国第2位の出荷量を誇ります。「い〜ふなほ」の語呂合わせで、1月27日を「船穂スイートピー記念日」と制定し、PRも行っています。

古さと新しさが同居する倉敷ならではのイベントは、季節を問わず行われています。昔の行事を今に復活させたイベントや情熱あふれる祭り…。イベントのある日は、日頃は静かな倉敷の町が熱気に包まれます。せっかく訪れた倉敷だから、季節を彩るエキサイティングなイベントで楽しい一日をお過ごしください。

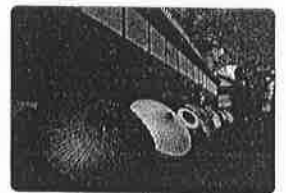
2・3月 倉敷雛めぐり
[倉敷市内一円]

江戸時代の人形や現代風のポップなお雛様、そして豪華な雛壇飾りが、旧家や商店街、文化施設など市内のいたる所を彩ります。



2・3月 倉敷春宵あかり
[倉敷美観地区一帯]

倉敷に春の訪れを告げるイベント。倉敷美観地区一帯をやさしくあたたかな「あかり」で彩り、訪れた人々をやさしく包みこみます。新たな春を見つげにぜひお越しください。



3月 瀬戸内倉敷ツーデーマーチ
[倉敷市内一円]

瀬戸大橋のかかる倉敷と吉備路を舞台にした、ウォーキングイベント。自然と歴史が調和した瀬戸の道を、心ゆくまで堪能してください。



3月 倉敷音楽祭
[倉敷市内一円]

1987(昭和62)年から続く倉敷に春の訪れを告げる音楽の祭典。「地域間文化交流」をコンセプトに、日本各地の特色ある芸能文化が鑑賞・体験できます。



4月 せんいのまち児島フェスティバル
[JR 児島駅周辺ほか]

「児島駅前エリア」「三白市エリア」「ジーンズストリートエリア」の3つのエリアごとに、さまざまなイベントが盛りだくさん。「メイドイン児島」にこだわった販売テントも出店します。



4・5月 ハートランド倉敷
[倉敷市中心部]

倉敷の春を代表するイベントのひとつ。倉敷市花の藤をテーマに川舟流し、コンサート、パレードなど多彩なイベントで皆さまをおもてなしします。



7月 水島港まつり
[倉敷市水島]

商店街に彩られた「七夕かざり」のもと、「水島よさこい」をはじめとした市民総踊りなどのパレードが繰り広げられます。



7月 倉敷天領夏祭り
[倉敷市中心部]

「代官ばやし踊り」など、倉敷中央通りをメイン会場に繰り広げられる夏の一大イベント。その他、パレードや天領太鼓などが盛大に披露されます。



7月 真備・船穂総おどり
[倉敷市真備]

住民総出で踊る「真備と船穂でひと踊り」では、各グループが多彩なパフォーマンスを披露し、会場が盛り上がります。



8月 玉島まつり
[倉敷市玉島]

玉島地区の産学官が連携し、地域の活性化を目的とする市民参加型の夏まつり。伝統ある「市民総踊り」など踊りや音楽を中心としたイベントが盛りだくさんです。



9月 サンセットフェスタinこじま
[倉敷市児島]

瀬戸内海に美しく沈んでいく夕陽を鑑賞しながら、和楽器の演奏やバンド演奏、オーケストラなどを楽しむイベントです。



9月 倉敷国際トライアスロン大会
[倉敷市児島]

児島ポートレース場をスタートし、大パノラマの鷲羽山の絶景からジーンズストリートを駆け抜けるコースに全国各地からトライアスリートが集結します。



10月 倉敷屏風祭
[倉敷美観地区一帯]

往時の町並みを色濃く残す本町から東町にかけての町家で、屏風や各家の家宝の品が飾られます。風情ある秋の花を活けて、訪れる皆さまをおもてなしします。



10月 鴻八幡宮祭りばやし(しゃぎり)
[倉敷市児島]

県指定重要無形民俗文化財

地元では「しゃぎり」と呼ばれる鴻八幡宮に伝えられる祭り囃子で、秋の祭礼日に各町内から出されるだんじりで演奏されます。



10月 乙島祭り(戸島神社秋季例大祭)
[倉敷市玉島]

市指定重要無形民俗文化財

乙島祭りは、玉島乙島の鎮守である戸島神社で、10月の最終土・日曜日に行われる秋祭りです。



10月 せんい児島瀬戸大橋まつり
[児島ポートレース場]

格安ジーンズや学生服など、繊維製品等の即売イベントが200以上も出店する繊維の町・児島ならではの一大イベント。飲み食い横丁も大人気。



11月 茶屋町の鬼まつり
[倉敷市茶屋町]

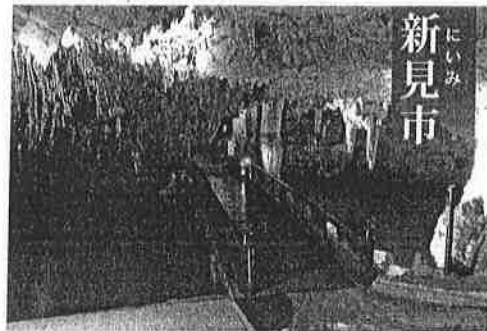
茶屋町駅前「鬼の広場」で行われる茶屋町の鬼まつりには、100人以上の鬼が集結し、終日ステージが繰り広げられます。「茶屋町の鬼」は200年以上前に起こった民族文化で、地元神社の秋祭りなどにも大勢出ています。



素隠居(すいんきょ)
[倉敷市中心部]

倉敷で300年以上続く民俗芸能。じじ、ばばのお面をかぶったユーモラスな素隠居が、頭をうちわで叩いて回ります。叩かれると、ご利益あり!? 5月と10月の阿智神社の祭りになどに登場します。





新見市

豊かな自然と歴史と文化に育まれた新見市

鍾乳洞や渓谷、湿原など、自然の息吹を感じられる風景が広がる新見市。千屋牛やピオーネなどのA級グルメをはじめ、様々な特産品があります。また、京都東寺の狂團「新見庄」で盛んに行われていた「たたら製鉄」や、300年以上の歴史を持つ「土下座まつり」など数々の伝統が今に語り継がれています。



高梁市

備中松山藩の城下町高梁

江戸時代、備中松山藩5万石の城下町として発展した高梁市。現存天守を持つ唯一の山城「備中松山城」をはじめ、武家文化を感じさせる旧跡が数多く残っています。また、かつて銅とベンガラで栄えた吹屋ふるさと村。赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



総社市

古代吉備の歴史あふれるまち 総社

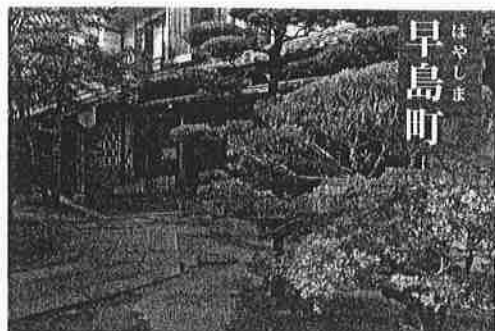
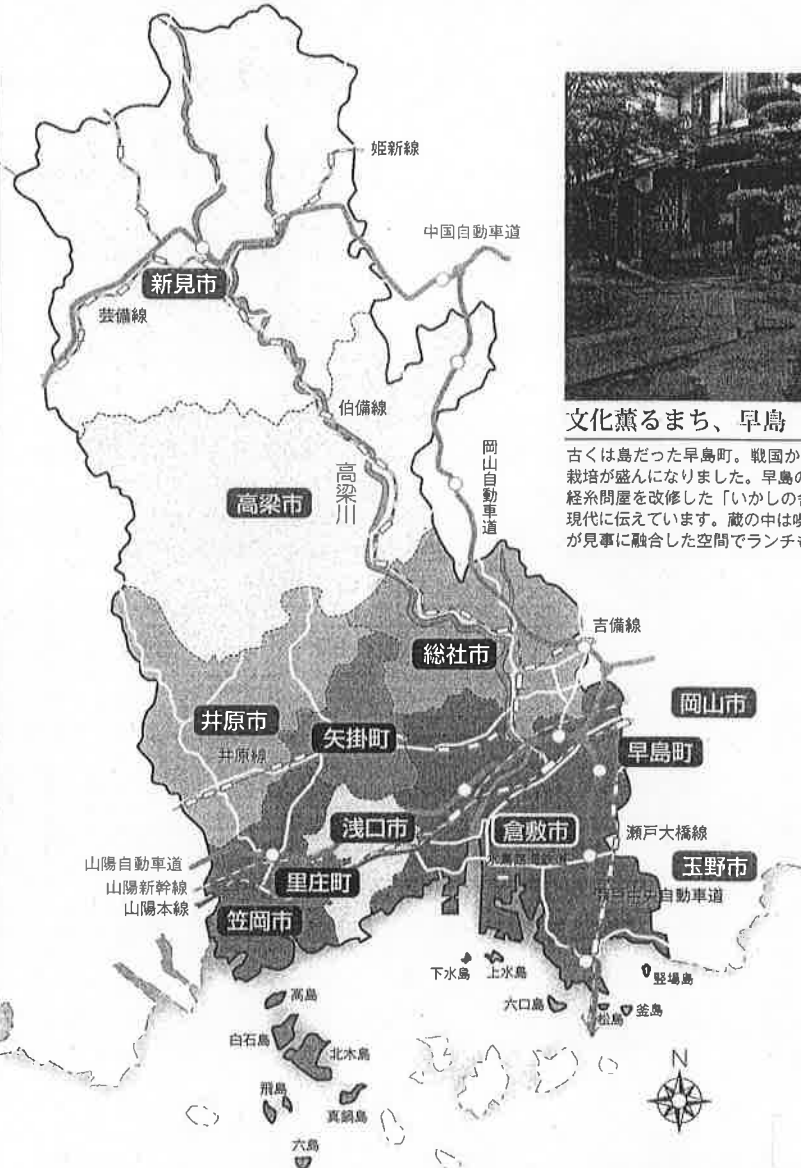
田園風景が広がる総社市は、かつての古代吉備の中心地とされています。日本遺産にも認定された桃太郎伝説で有名な鬼ノ城などの史跡群は歴史ロマンの宝庫です。また、吉備路自転車道をサイクリングすると、作山古墳や、五重塔のある備中国分寺などの歴史遺産に出会えます。



井原市

美しい自然と都市機能が調和したまち・いばら

豊かな自然が広がる文化都市、井原市。北条早雲など名高い武将のゆかりの地として多くの史跡があるほか、近代木彫界の巨匠、平橋田中の作品を展示した田中美術館もあり、芸術・文化を身近に感じられます。井原市北部の美星町は、その名のとおり美しい星空が広がるまちで、国内屈指の公開天文台、美星天文台では最高の星空を最高の条件で見ることができます。



早島町

文化薫るまち、早島

古くは島だった早島町。戦国から江戸にかけて平拓が進み、イ草栽培が盛んになりました。早島の壺表は全国で有名になり、壺表・経糸間屋を改修した「いかしの舎(や)」は、当時の栄えた様子を現代に伝えています。蔵の中は喫茶室になっており、和洋の雰囲気が見事に融合した空間でランチも楽しめます。



矢掛町

～歴史かおる文化の町～ 宿場町矢掛

旧山陽道第18番目の宿場町として栄え、歴史的町並みが今も残っており、本陣と脇本陣がともに国の重要文化財に指定されているのは全国でも唯一矢掛町だけと言えます。また、古民家再生事業によって誕生した「やかけ町家交流館」、「矢掛屋」を中心に活気づく町並みでは、毎年11月第2日曜日に「矢掛の宿場まつり大行列」が開催され、歴史を体験することができます。

高梁川で結ばれる7市3町
高梁川を共有する7市3町で力を合わせ（高梁川流域連携）、高梁川流域全体の発展を目指す様々な取り組みを行っています。



笠岡市

風光明媚な笠岡諸島～日本遺産～

笠岡市は、岡山県の南西部に位置し、大小31余りの島々からなる笠岡諸島を有しています。7つの有人島では、美しい景色や新鮮な魚介など離島ならではの空気感を感じることができます。また、日本有数の広さを誇る笠岡港干拓地にある道の駅「笠岡ベイファーム」と、隣接する広大な花畑が有名であり、早春の菜の花に始まり、ポピー、ひまわり、コスモスと四季折々の花々を楽しむことができます。



里庄町

おだやかな気候が育む草花に彩られた住みやすい町

瀬戸内海に近い温暖な気候から、豊かな自然や四季の草花に恵まれた町です。緑に囲まれた高台にある「つばきの丘運動公園」は町内が一望できるロケーションの良さが人気です。また、近年は中華料理で高級食材とされる「まこもたけ」の栽培が進み、秋には町内各所の飲食店でおいしい「里庄まこもたけ」が味わえます。



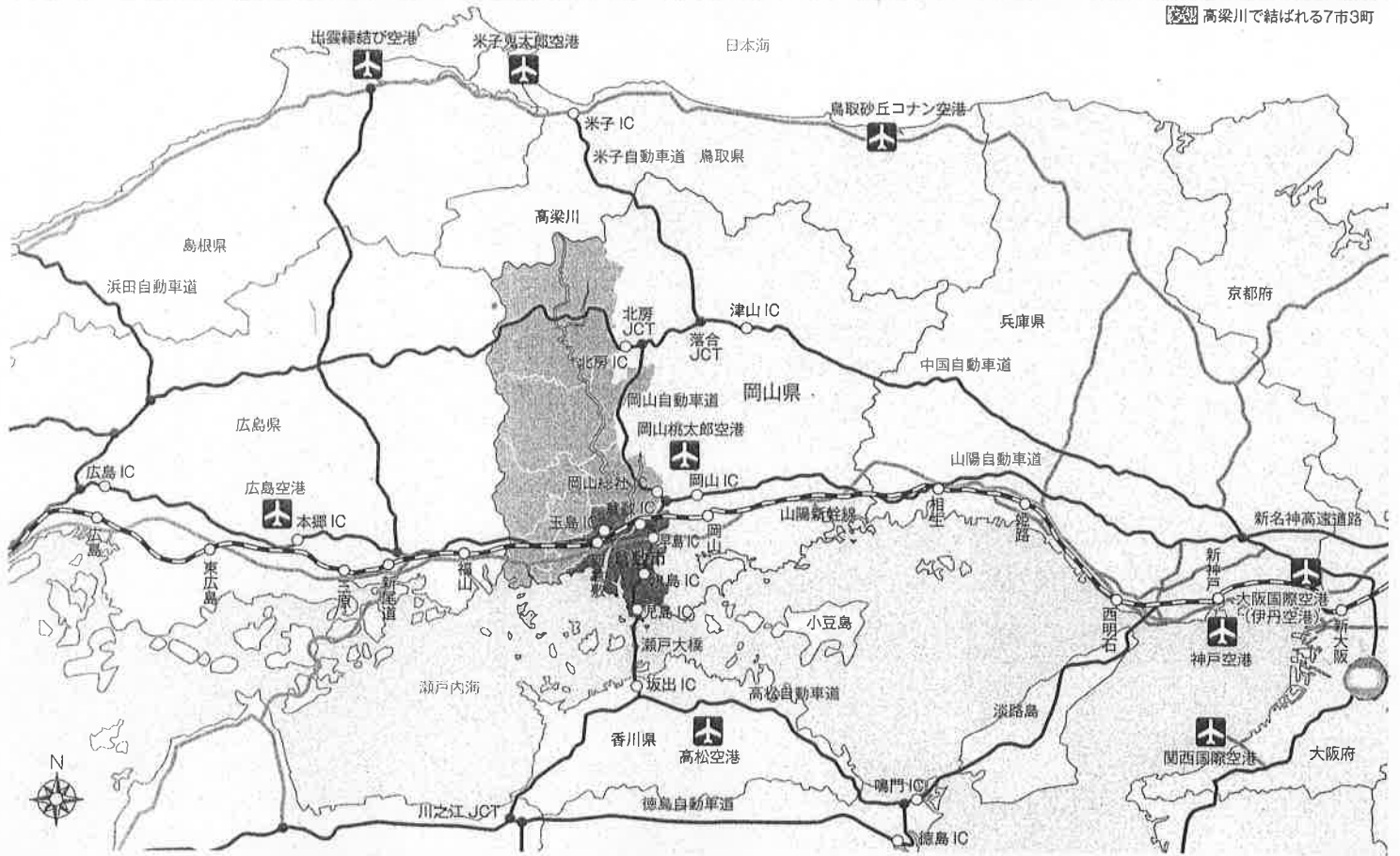
浅口市

天文のまち あさくち

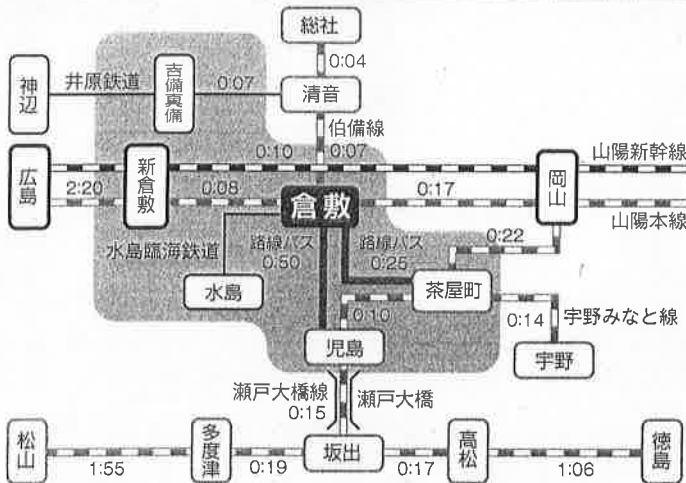
国内最大級の口径188cm反射望遠鏡を備える国立天文台ハワイ観測所岡山分室は、観測開始から50年以上経った現在でも国内最先端の天文学研究が行われています。また、2019年から観測を開始した京都大学岡山天文台口径3.8m光学赤外線せいめい望遠鏡は東アジアの大きさとなり、世界の天文観測ネットワークの中でも重要な役割を担うこととなります。

[広域観光を結ぶ交通ネット]

高梁川で結ばれる7市3町



おおよその所要時間



飛行機(岡山桃太郎空港着)	
東京(羽田)	約1時間20分
札幌(新千歳)	約2時間10分
沖縄(那覇)	約1時間50分
ソウル(仁川)	約1時間30分
上海(浦東)	約2時間5分
香港	約3時間30分
台北(桃園)	約2時間25分

新幹線(岡山駅着)	
東京	約3時間15分
名古屋	約1時間40分
新大阪	約50分
広島	約35分
博多	約1時間40分
鹿児島中央	約3時間

高速バス(倉敷駅着)	
神戸	約3時間
大阪	約4時間30分
京都	約4時間10分
名古屋	昼行 約6時間
	夜行 約7時間45分
東京	昼行 約6時間
	夜行 約10時間
徳島	※倉敷インター着 約2時間
松山	※鷺羽山北着 約2時間20分
高知	※鷺羽山北着 約1時間50分
福岡	昼行 約8時間
	夜行 約8時間15分

※岡山駅から倉敷駅まではJR在来線で約17分かかります。

倉敷市内 移動時間の目安

倉敷駅から児島まで	約16km
■車(県道22号線・県道21号線経由) 約30分	■JR児島駅行 路線バスで約50分
JR山陽本線で岡山駅まで約17分、JR瀬戸大橋線に乗り換えて児島駅まで快速で約25分	
倉敷駅から玉島まで	約9km
■車(国道429号線・国道2号線経由) 約20分	■新倉敷駅までJR山陽本線で約8分
倉敷駅から真備まで	約10km
■車(県道24号線・国道486号線経由) 約25分	JR伯備線で清音駅まで約7分、井原線に乗り換えて真備駅まで約7分
倉敷駅から茶屋町まで	約6km
■車(県道74号線経由) 約15分	■茶屋町駅行 路線バスで約25分

手軽で、おトクなタクシー観光

駅から観光タクシー岡山

2時間 5,500円
小型タクシー1台1回あたり

駅前からスグ乗れる! 予約不要

岡山・倉敷の人気観光スポットを巡る。ご利用開始時間/9:00~15:00

倉敷駅出発プラン 児島駅出発プラン 新倉敷駅出発プラン

ご希望のコースを決めたら、タクシー出発駅周辺の「JR西日本の主な駅の『みどりの窓口』」でタクシー券を購入して出発!

倉敷観光のお問い合わせは			
倉敷館観光案内所 倉敷市中央1丁目4-8 ☎086-422-0542 [営業時間] 9:00~18:00 [休 日] ※年中無休	倉敷市観光休憩所 倉敷市中央2丁目6-1 ☎086-425-6039 [営業時間] 9:00~17:30 [休 日] 12/29~31	倉敷駅前観光案内所 倉敷市阿知1-7-2くらしきシティプラザ2階 ☎086-424-1220 [営業時間] 9:00~18:00 [休 日] 12/29~31	児島駅観光案内所 倉敷市児島駅前1丁目107 ☎086-472-1289 [営業時間] 9:00~17:30 [休 日] 12/29~1/3
新倉敷駅観光案内所 倉敷市玉島瓜崎390-4 ☎086-526-8446 [営業時間] 9:00~17:30 [休 日] 12/29~1/3	倉敷観光コンベンションビューロー 倉敷市中央2丁目6-1 ☎086-421-0224 [営業時間] 8:30~17:15 [休 日] 土、日、祝、12/29~1/3	倉敷市観光課 倉敷市西中野640 ☎086-426-3411 [営業時間] 8:30~17:15 [休 日] 土、日、祝、12/29~1/3	

新型コロナウイルス感染症に「打ち勝ち」倉敷市の観光施策

観光関連事業者の事業継続支援策として〔ぼっけえお得な「倉敷みらい旅」〕を実施するとともに、「ふんばる補助金」により中小企業・小規模事業者を、「あんしん補助金」により宿泊事業者を支援し、「安全・安心水準の高さ」で選んでいただける観光地づくりを推進

●ぼっけえお得な「倉敷みらい旅」(第1弾 R2.5~7月) (第2弾 R2.11月~R3.2月)

販売価格の40%以上の付加価値〔市内観光関連事業者と連携〕がついた前売宿泊プランを販売してもらい、販売価格の40%を補助することで事業継続を支援 **令和4年3月末まで宿泊可能**

＜補助額＞ 1宿泊施設 上限200万円

第1弾実績：販売人数3,115人 販売額4,179万円 補助額1,673万円

※R2.11.1から、倉敷みらい旅第2弾を販売中 (宿泊可能日：R3.2.1~R4.3.31)

●倉敷市ふんばる事業者応援事業費補助金(R2.6~11月)

感染防止との両立を図りつつ、事業者の強みを生かして取り組む新たなビジネス展開を応援 **＜補助額＞ 上限20万円** **＜補助率＞ 5分の4**

- ・テイクアウト・宅配等の「業態転換」
- ・換気対策や3密対策等の「環境整備」
- ・マスク開発、オンライン化の「商品・サービス開発」
- ・通信販売、オンライン面接等の「販路開拓・人材確保」

実績：6月~10月 事前相談件数872件 申請件数254件

交付件数170件 事前相談件数2,807万円 (10月26日現在)

●安心して過ごさせる観光地づくり推進事業費補助金(R2.10~12月)

宿泊事業者が実施する「新しい生活様式」に対応した取り組み等を支援 **＜補助額＞ 上限200万円** **＜補助率＞ 5分の4**

- ・サーモグラフィ、混雑状況の可視化等の「観光客受入環境の充実」
- ・部屋食化、セルフチェックイン等の「感染防止に資するサービス開発」
- ・掲示物制作やPR動画制作等の「衛生対策の見える化・PR」

実績：申請中件数2件 予定件数18件 (10月26日現在)

【プラン例】



特産品購入付
プラン



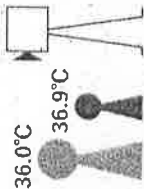
ものづくり体験付
プラン



こだわりのお食事
プラン



サーモグラフィ



混雑状況の可視化



PR動画制作



倉敷市内事業者のみなさま

この表示が目印です！



倉敷市で、
新型コロナウイルス対策に
取り組んでいる事業者へ
取組宣言シートを
発行します。

この宣言は、お客様が安心して利用できる環境が一目で見分けることができる目印となります。

実情にあった予防対策に取り組み、
見えないウイルスのリスクを回避し、
事業者の皆様、店舗等の利用者への

安心の提供と感染症拡大を防止するために
全市を挙げて宣言しましょう。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「新しい生活様式」が求められる中、
感染予防対策を図りながら営業を行うことが重要となっています。

倉敷市内事業者の営業活動を支援するため、市内統一の「チェックシート」の作成により
事業者が自主的に取り組む感染予防対策の検討を補完し、取り組みを宣言した事業所には、
分かりやすく表示できるツール「取組宣言シート」を提供することにより、
感染予防対策の「見える化(可視化)」をバックアップします。

● **対象：新型コロナウイルス感染予防対策に取り組む市内事業者**

※「飲食店」「小売店」「宿泊施設」「共通」の4種のチェックシートがあり、全業種対応

● **申込期限：令和3年3月19日(金)〈必着〉** **申込無料**

● **宣言事業所は、特設ホームページ等で公表も行います。**

● **申込先は所在地ごとに5つのエリアに分かれ、
「WEB」または「郵送」で申込できます。**

詳細は裏面をご確認ください

申込の流れ

WEBで申込

特設ホームページへアクセス

ホームページはこちらから

倉敷 取組宣言

検索



書面で申込

チェックシートデータをダウンロード
またはチェックシート(書面)を
市内最寄の商工会議所・商工会にて入手

ダウンロードはこちらから

倉敷 取組宣言

検索



「チェックリスト(申込フォーム)」へ
必要事項を直接入力・申込

チェックシートへ必要事項を直接
入力(または記入)・印刷
市内最寄の商工会議所・商工会へ郵送

管轄の商工会議所(倉敷・児島・玉島)・商工会(つくば・真備船穂)にて受付
〈受付期限:令和3年3月19日(金)必着〉

発行された取組宣言シートに
独自の取り組みと事業所名を
記入し、事業所へ掲示



お客様に感染予防対策を分かりやすく伝えることができます
特設ホームページで広報・情報提供(宣言事業所を公表)

※詳しくは特設ホームページをご確認いただくか、管轄の商工会議所または商工会へお問い合わせください。

※本事業は、事業者ごとの自主的な対策を「見える化」し、安心して利用できる環境づくりによる
経済活動の活性化を目的としています。倉敷市や各商工団体が各事業者の感染予防対策を認証等する制度ではありません。

お
問
合
せ

倉敷市 事業継続支援室
倉敷商工会議所
児島商工会議所
玉島商工会議所
つくば商工会
真備船穂商工会

〒710-0833
〒710-8585
〒711-0921
〒713-8122
〒710-1101
〒710-1301

倉敷市西中新田640
倉敷市白楽町249-5
倉敷市児島駅前1-37
倉敷市玉島中央町2-3-12
倉敷市茶屋町2087
倉敷市真備町箭田1180-3

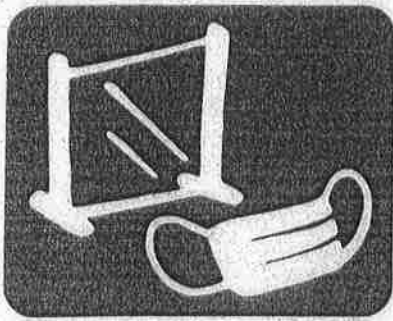
☎(086)426-3050
☎(086)424-2111
☎(086)472-4450
☎(086)526-0131
☎(086)428-0256
☎(086)698-0265

新型コロナウイルス対策

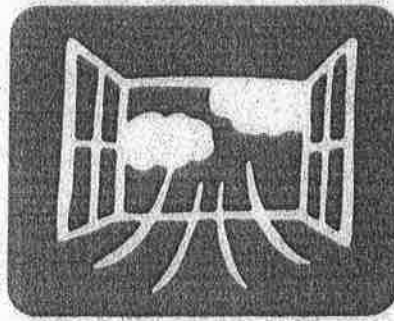
取組宣言

私たちは、次の感染予防対策に取り組んでいます。

飛沫防止策



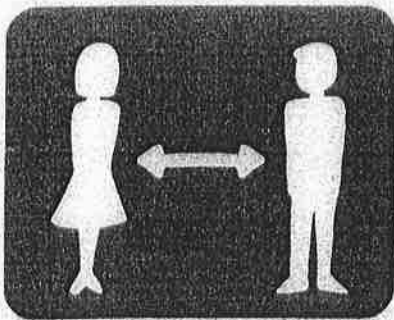
施設の換気



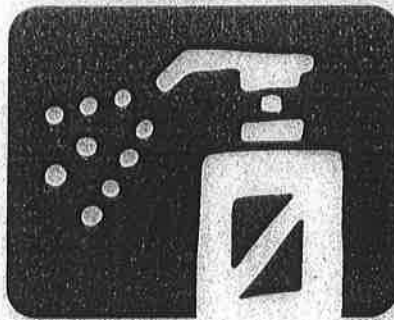
施設の消毒



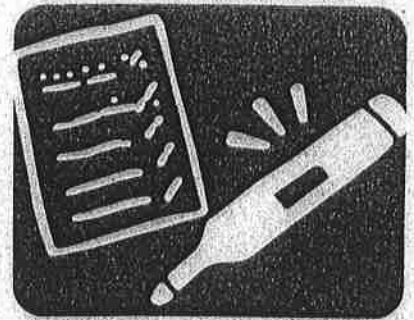
対人距離の確保



手指消毒設備の設置



従業員の体調管理



独自の取組

宣言
事業所名

感染症対策へのご理解・ご協力をお願いします。

倉敷市 倉敷商工会議所 児島商工会議所 玉島商工会議所 つくば商工会 真備船穂商工会



宣言事業所
一覧は
こちらから

ぼっけえお得な

倉敷みらい旅

みらい旅だけの
お得な
限定プラン

みらい旅
とは?

販売価格の40%以上のぼっけえ(すこ)お得な、
「今」買って「未来」に泊まれる宿泊プランの前売キャンペーンです。

未来に泊まれる宿泊プランを購入して「今」倉敷を応援してください!
新型コロナウイルス収束後の「未来」にぜひ倉敷へお越してください!

ぼっけえ
お得!

今だけ!お得なプラン付!

(例)倉敷の地酒セット、地元飲食店の食事券など!!

いつでも泊まれる! 令和4年3月31日(木)まで

※施設・プランによっては除外日があります。

販売価格の

40%
以上

購入方法

STEP 1 ぼっけえお得な倉敷みらい旅
特設ページより販売施設の一覧を
ご確認ください。

STEP 2 ご希望の各宿泊施設の
サイト等で購入してください。

※倉敷市民も購入が可能です。



こちらから
特設ページに
アクセスできます

販売期間

令和2年7月31日(金)まで

ぼっけえお得な倉敷みらい旅特設ページ

倉敷みらい旅

検索

(公社)倉敷観光コンベンションビューロー・倉敷市
お問い合わせ先/TEL.086-421-0224

倉敷観光コンベンションビューロー
安心して過ごせる観光地づくり推進事業費補助金
令和2年10月1日時点版

安心して過ごせる、みらいの倉敷へ

あんしん 補助金

対象施設

市内の宿泊・コンベンション施設

対象事業

- ①観光客受入環境の充実
- ②感染防止に資するサービス開発
- ③衛生対策の見える化・PR

補助上限額

200万円

補助率

5分の4

制度の目的

この「あんしん補助金」は、
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた
市内の宿泊事業者が、
「新しい生活様式」に対応した観光客受入環境の充実等
を行う経費の一部を補助することで、
安心して過ごせる観光地づくりを推進し、
もって倉敷の観光産業の回復につなげていくことを
目的としています。

制度の対象者

制度の対象は次の要件全てを満たす宿泊事業者です。

- 倉敷観光コンベンションビューロー会員であること
- 次のいずれかの許可を受けていること
 - ・ 旅館業法の「旅館・ホテル営業」
 - ・ 旅館業法の「簡易宿所営業」
- 宿泊施設用「新型コロナウイルス感染予防対策チェックシート」に取り組んでいること



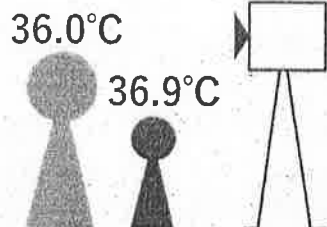
！ 次のいずれかに該当する者は制度の対象外です

- × 同一事業に対して別の補助金の交付を受ける者
- × 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第6項に規定する店舗型性風俗特殊営業を行う者
- × 暴力団若しくは暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有する者
- × 事業実施に必要な許認可を取得していない等、法令に違反している者

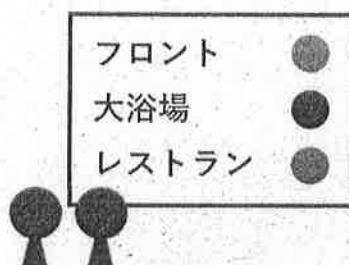
補助対象事業と取組例

①観光客受入環境の充実

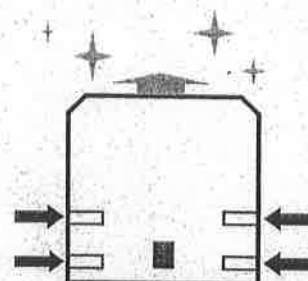
サーモグラフィ



混雑状況の可視化

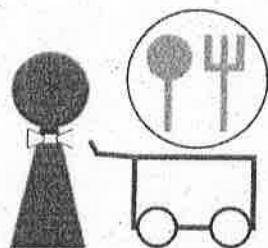


空間清浄・除菌

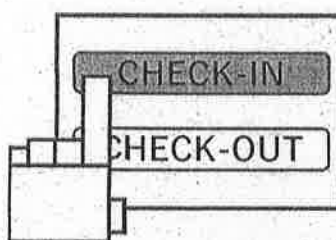


②感染防止に資するサービス開発

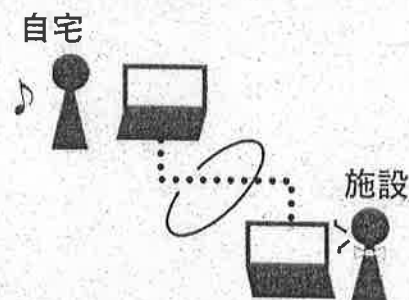
部屋食化



セルフチェックイン

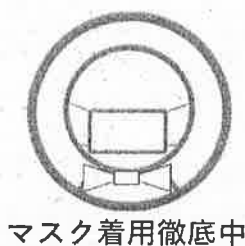


オンライン宿泊体験

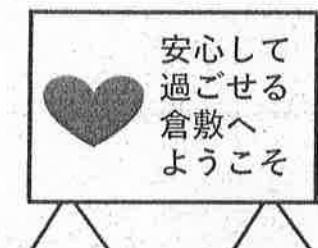


③衛生対策の見える化・PR

案内・啓発



PR動画制作



Web広告



補助対象経費：令和2年7月1日以降の支払い分が対象

- 設備備品費 ●外注費（請負又は業務委託契約を含む）

！補助対象外経費

- ×人件費、旅費、家賃、光熱水費、通信費等の固定経費
- ×金券・商品券購入費、車両・不動産購入費
- ×保険料、保証料、損失補填費用
- ×公租公課（消費税含む）、免許等の取得・登録費
- ×他の目的に使用しうる機器の購入費
- ×老朽化・故障に伴う単なる設備更新・修繕
- ×仮想通貨、クーポン、小切手・手形等での支払い

補助金申請手続きの流れ・各々切

事前相談（任意）



事業内容検討・事業金額の見積もり



交付申請：令和2年12月28日（月）まで



※補助金申請は1施設につき1回限りです。

※予算の上限に達した場合、12月28日を待たずに締め切ります。

事業実施：令和3年2月26日（金）まで



実績報告：令和3年3月30日（火）まで



補助金額確定



補助金請求

申請の各様式は当ビューローHPからダウンロードしてください。

●申請・問合せ先

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1

倉敷観光コンベンションビューロー

TEL:086-421-0224 受付時間:平日9時から17時まで

倉敷市ふんばる事業者応援 事業費補助金 (6月30日時点版)



新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、感染防止との両立を図りつつ、自らの強みを生かして取り組む新たなビジネス展開を応援します。

補助の 対象者

倉敷市事業継続支援金の交付を受けた方又は以下を満たす方

- 倉敷市内の中小企業者又は小規模事業者
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月から8月までのいずれかの月の売上高が前年同月比で20%以上減少している事業者

補助の 上限額

20万円 【補助率】補助対象経費の**5分の4**
(1事業者1回のみ)

対象となる取組例

「**新しい生活様式**」に対応した、市内事業所における
令和2年4月1日以降の新たな取組が対象です。

●業態転換

- ▶ テイクアウト、宅配、出張・移動・ドライブスルー販売の開始
- ▶ 生産者（農業、漁業者）による加工、小売の新規実施など



外出控え

●環境整備

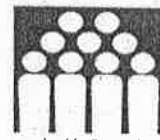
- ▶ 店内間仕切りやカウンター、屋外飲食空間の新設、改修
- ▶ 感染症対策に資する設備や機器の導入
- ▶ 無人券売機、食品自販機、セルフレジ、セルフ注文機器の導入
- ▶ 感染症対策にかかるPOP、看板作成など



人との間隔

●商品・サービス開発

- ▶ マスクや消毒用品など感染症対策に資する商品の開発
- ▶ 調理食品を購入して自宅等で食べる「中食」向け商品の開発
- ▶ 電子クーポン、前売券、予約券等の販売システムの構築
- ▶ サービスのオンライン化（学習・宴会・観光・冠婚葬祭）など



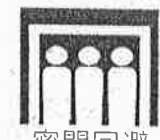
密集回避



密接回避

●販路開拓・人材確保

- ▶ ECモールへの出店、TVショッピングへの出品
- ▶ オンライン商談、オンライン面接の実施など



密閉回避

申請方法など詳細は、裏面をご覧ください

書類の提出方法

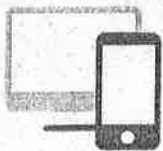
- 申請期限は、**令和2年11月30日（月）**です。
※期限内に、事前相談書提出から補助金申請までの一連の手続きを完了する必要があります。
- 事前相談書や申請書の様式は、市事業継続支援室のホームページ、市役所又は市内各商工会議所・商工会窓口等で入手できます。

郵送・窓口 ※感染症拡大防止のため**原則郵送**での提出をお願いします。



- 郵送で提出する場合**（郵送料は自己負担）
提出書類一式を封筒に入れて、切手を貼って投函してください。
**【郵送先】〒710-8565 倉敷市西中新田640
倉敷市事業継続支援室**
※封筒に「事前相談書在中」または「交付申請書在中」と朱書きしてください。
- 窓口へ提出する場合**
窓口に設置されたポストに投函してください。
**【提出窓口】事業継続支援室（本庁厚生棟2階）
児島・玉島・水島・真備支所産業課**
【受付時間】平日9時から17時まで

お問合せ等



- ご不明な点は、市事業継続支援室のホームページで手引き等をご確認いただくか、お電話で以下までお問合せください。
倉敷市事業継続支援室コールセンター
TEL 086-426-3050 【受付時間】平日9時から17時まで

! 倉敷市を装った詐欺にご注意ください。
市職員が申請者を訪問する、通帳やカードを預かる、暗証番号を尋ねる、ATMの操作を指示する、お金を請求することは絶対にありません。

補助金交付の流れ

交付申請ができる方

※①から④のすべてに該当する方が対象です。

① 倉敷市事業継続支援金の交付を受けた方

※支援金を受けていない方が申請する場合は、以下を満たす必要があります。

- 倉敷市内の中小企業者又は小規模事業者
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月から8月までのいずれかの月の売上高が、前年同月比で20%以上減少

対象とならない方

- 協同組合等の組合 ● 任意団体 ● 政治団体 ● 宗教上の組織若しくは団体
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第4号及び5号に規定する者、同条に規定する「性風俗関連特殊営業」、当該営業に係る「接客業務受託営業」を行う者
- その他、補助金の趣旨・目的に照らして適当でないと市長が判断する者

② 市内の事業所で「新しい生活様式」に対応した事業（1ページ参照）を新たに始めた方

<対象外事業の例> マスク・消毒液等の衛生用品や汎用性の高い備品・機器の単なる購入、老朽化した施設・設備の単純更新を目的とした事業など

③ 同一事業に国や県、市など他の補助金の交付を受けていない方

④ 市税の滞納がない方（納税猶予を受けている方を含む）

交付申請が可能な方を市が「事前相談書」で確認します。

申請にかかる事前相談 ステップ1（補助金申請前）

- 補助金の申請前に、以下の必要書類を提出してください。市が書類を確認後、交付申請が可能な方に「受理通知書」をお送りします。
※これから事業を行う予定の方は、事業着手前にご提出ください。

【提出書類】

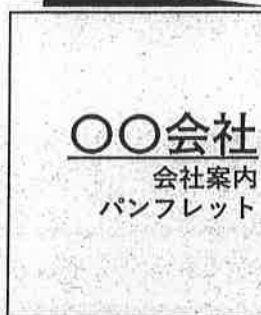
- 事前相談書
- 事業者情報がわかる資料（パンフレット・チラシ等）
- 「新しい生活様式」チェックシート



事前相談書（2枚）



事業者情報がわかる資料



「新しい生活様式」チェックシート

補助金交付申請

ステップ2 (事業完了後)

- 事業完了後に以下の必要書類を提出してください。
- 実施内容を精査し、補助金の交付及び金額を決定します。

【提出書類】

- 補助金交付申請書
- 市事業継続支援金決定通知書の写し (支援金を受けてない場合は、前年同月比20%以上の減少がわかる直近の確定申告書類と売上減少月の売上台帳の写し等が必要)
- 事業の取組実績がわかる写真 (業態転換の様子、機器設置状況、施工前後等)
- 支払いを証する書類 (金額及び内訳がわかる領収書やレシート等の写し)
- 誓約書兼同意書
- 市税納税証明書
- 請求書



補助金交付申請書
(兼実績報告書) 2枚



事業継続支援金
決定通知書写し



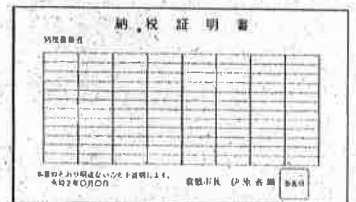
誓約書兼同意書



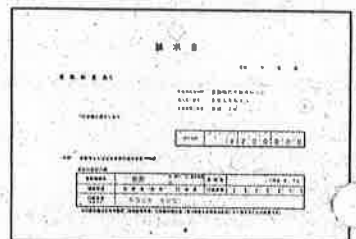
取組実績が
わかる写真



支払いを証する書類



市税納税証明書



請求書

対象となる経費

- 開発費 ●設備備品費 ●消耗品費 (税抜62,500円が限度)
- 外注費 (請負・業務委託・利用料等)
- 広報費 ●借上料 (補助対象期間内のもの) ●会場使用料

対象とならない経費

- 人件費 ●旅費 ●飲食費 ●家賃・光熱水費・通信費などの固定費
- 金券、商品券の購入費 ●不動産取得費 ●各種保険料
- 車両購入費 (もっぱら補助事業で取り組む特定業務のみに用いるものを除く)
- 事業中止に係る取引手数料 ●公租公課 (消費税含む) ●免許等の取得・登録費
- PC・通信端末等、他の目的に使用できる機器等の購入費
- ポイント・クーポン等での支払い
- 公金の使途として社会通念上、不適切と認められる経費など

! 領収書やレシート等の支出証明書類がない経費、令和2年3月31日以前に支出した経費は、対象となりませんのでご注意ください。

2020年4月1日現在

倉敷散策のガイドブック

大原家と倉敷

語り座 大原本邸 | 大原美術館

歴史と系譜から見る倉敷のカタチ
倉敷を何度でも楽しむ

探索ブック



現在の倉敷を形作った系譜

大原家の歴史は、元禄時代(約300年前)、大志を抱き倉敷に出できた青年、忠則に始まります。

以降、2代忠之、3代金基、4代好道、5代壮平と、天領(江戸幕府直轄地)であった倉敷で、繰綿の仲買業、呉服商、米問屋などを営みながら、豪商、そして大地主となっていきます。金基の頃からは民を支援する「倉敷義倉」に参加し、貧民救済活動もしていました。

6代孝四郎(1833-1910)は倉敷の発展を想い紡績業を志した3人の青年に共感し、1888年、倉敷紡績所(現 倉敷紡績株)を設立します。倉敷紡績所は倉敷、また日本の近代化に大きく寄与することとなります。

その後を継いだ7代孫三郎(1880-1943)は「10年先が見える人」とも言われる先見性に富んだ人でした。放蕩生活を送った時期もあるようですが、濃尾地震による孤児らを集めた岡山孤児院の運営に携わるようになったところから大きく変わります。倉敷紡績株に加え、世界的な化学メーカーに成長する現(株)クラレを設立し、現(株)中国銀行、現(株)山陽新聞社など、今も岡山の中核をなす企業を育てました。同時に従業員や小作人に限らず「人」を重視し、また「文化」、「地域」の発展を見据え、多方面で活躍します。彼の創設したものは日本初の西洋美術館である大原美術館に限らず、日本有数の病院となる現 倉敷中央病院、桃やブドウなどの品種改良を手掛け果物王国岡山の基礎を築いた現 岡山大学資源植物科学研究所、日本初のシンクタンクとも言える現 法政

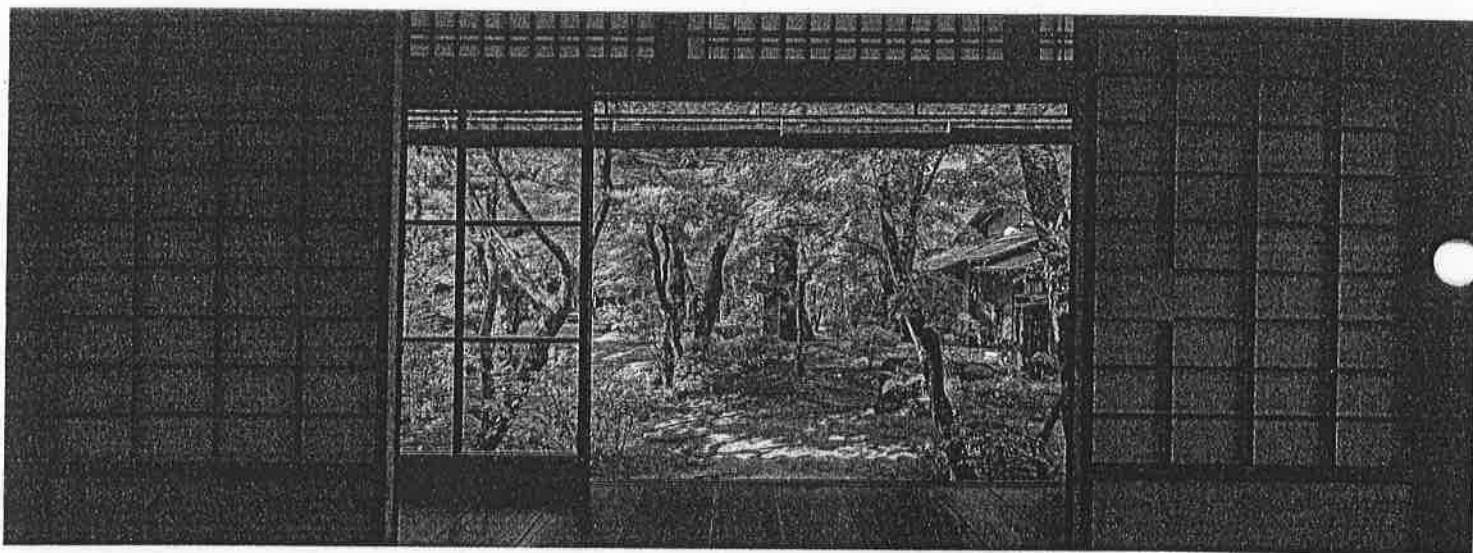


大原孫三郎

大学大原社会問題研究所、現 大原記念労働科学研究所など、今も引き継がれています。

8代總一郎(1909-1968)は「美しき経営者」と称されました。(株)クラレの経営者として国産初の合成繊維「ビニロン」の工業化に成功し、またそのプラントを当時「」のなかった中国へ輸出しました。そして実業家であると同時にクラシック音楽を愛し、民藝運動に共感しました。今でも倉敷では彼の意志を汲むコンサートが開かれ、大原家の米蔵を利用して設立した倉敷民藝館は、倉敷美観地区での伝統的建造物保存にも繋がっていきます。

大原家の歴史は地域を愛し、常に次の時代を見据えた挑戦をし続けた歴史です。

01 語らい座 大原本邸
(国重要文化財 旧大原家住宅)

大原家3代目、金基の時代1795年に建築が始まり、現当主に至るまで代々の大原家が暮らした家。約660坪の邸内には外観からは伺いしれない日本庭園が広がり、石畳の通路に倉が立ち並ぶ。

大原家の歴史を紹介する現代的な展示に加え、ブックカフェではオリジナルコーヒー、離れ座敷では抹茶も楽しめる。

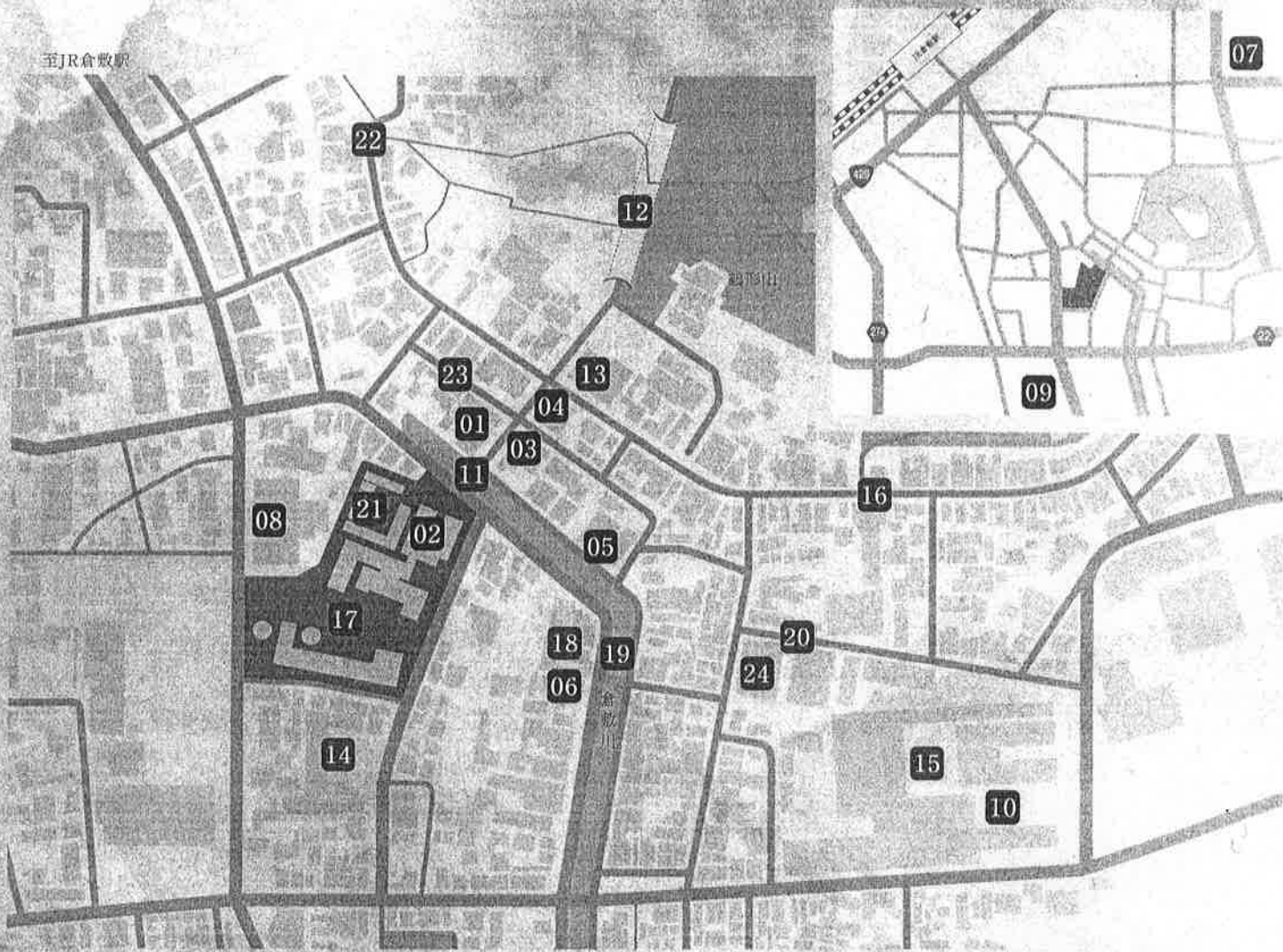
🕒 9:00-17:00

🗓️ 月曜日(祝日、振替休日の場合は開館)

🎫 500円(一般) 400円(高校生以下)



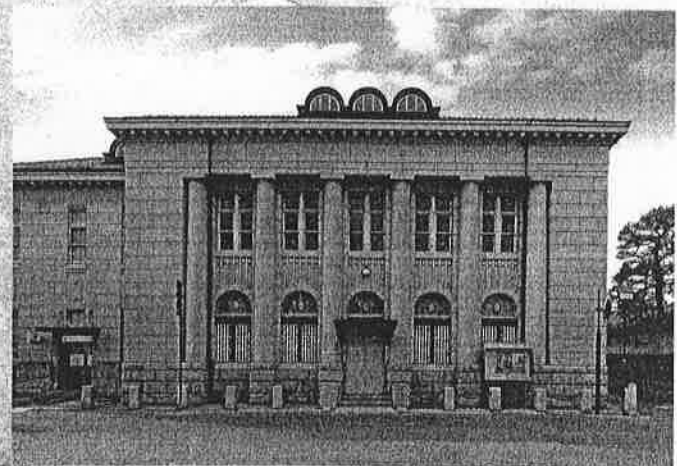
至JR倉敷駅



03 大原家旧別邸 有隣荘

【薬師寺主計/1928年】

大原孫三郎が妻のために建てた別邸。緑色が映える独特の屋根瓦が倉敷川沿いの古い白壁の街並みに鮮やかな色どりを添えています。通常非公開で、年に数回大原美術館主催の特別展会場として公開しています。



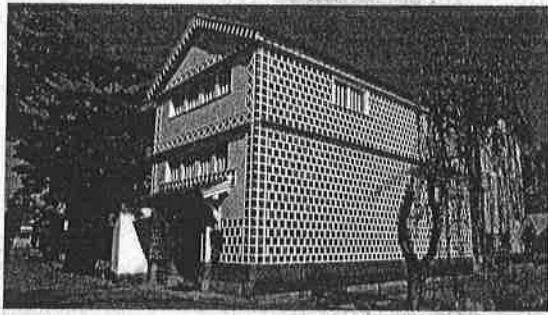
04 大原美術館 新児島館 (仮称)

【薬師寺主計/1922年】

大原孫三郎が頭取を務めた第一合同銀行(現(株)中国銀行)の倉敷支店として建設。大正末期の美しいルネサンス風建築。今後、見島虎次郎の画業を顕彰する施設として、また見島らが収集し、これまであまり知られていない大原美術館持つ古代エジプト・西アジアの貴重な美術品コレクションを保存、展示する施設として生まれかわる予定です。

05

倉敷考古館



大原總一郎らの提案により1950年に開館。倉敷の象徴的な貼り瓦の外観が目を引きま。館内には、吉備地方の遺跡から発掘された生活や祭り、葬送などの考古資料を展示しています。

- ① 9:00-17:00(入館締め切りは16:30)
- ② 月・火曜日(祝日、振替休日の場合は開館)
- ③ 500円(一般)400円(高・大生)300円(小・中生)

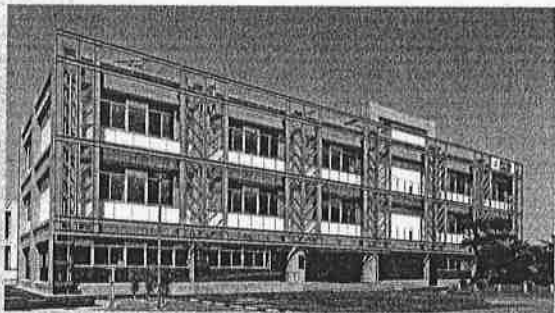
07

倉敷中央病院



1923年、大原孫三郎が「治療本位(研究目的でない、真に患者のための治療)」「病院くさくない明るい病院」「東洋一の理想的な病院」という3つの理念のもと、設立しました。

09

岡山大学
資源植物科学研究所

1914年、大原孫三郎が農民福祉向上のため、農事改善を目指し設立した「大原奨農会農業研究所」を前身としています。

06

倉敷民藝館



大原家の米蔵を改装し、1948年に開館。国内外の陶磁器、染織品、編組品、漆器といった美しい手仕事を多数展示しています。

- ① 9:00-17:00(3~11月) 9:00-16:15(12~2月)
- ② 月曜日(祝日、振替休日の場合は開館)
- ③ 1,000円(一般) 400円(高・大生) 300円(小・中生)

08

倉敷国際ホテル



大原總一郎が中心となり、倉敷で「国際的に通用するホテル」を目指し、1963年に開業。設計は浦辺鎮太郎。ロビーには棟方志功の大作が飾られています。

10

倉敷アイビースクエア



1888年、大原孝四郎が設立した倉敷紡績所の工場建物をリノベーションして生まれた複合文化施設。国の「近代化産業遺産」に認定されています。



11 今橋

1926年、皇太子殿下(後の昭和天皇)の行幸にあたり、大原孫三郎が工費一切を負担し改築竣工。橋のデザインは見島虎次郎、橋名の揮毫は大原孫三郎によるものです。



12 鶴形山トンネル

1926年の皇太子殿下(後の昭和天皇)の行幸を記念し、倉敷南北の利便性向上を図るため、大原孫三郎が多くの土地を寄付、費用の多くを負担し1927年に竣工しました。

13 倉敷公民館
音楽図書室

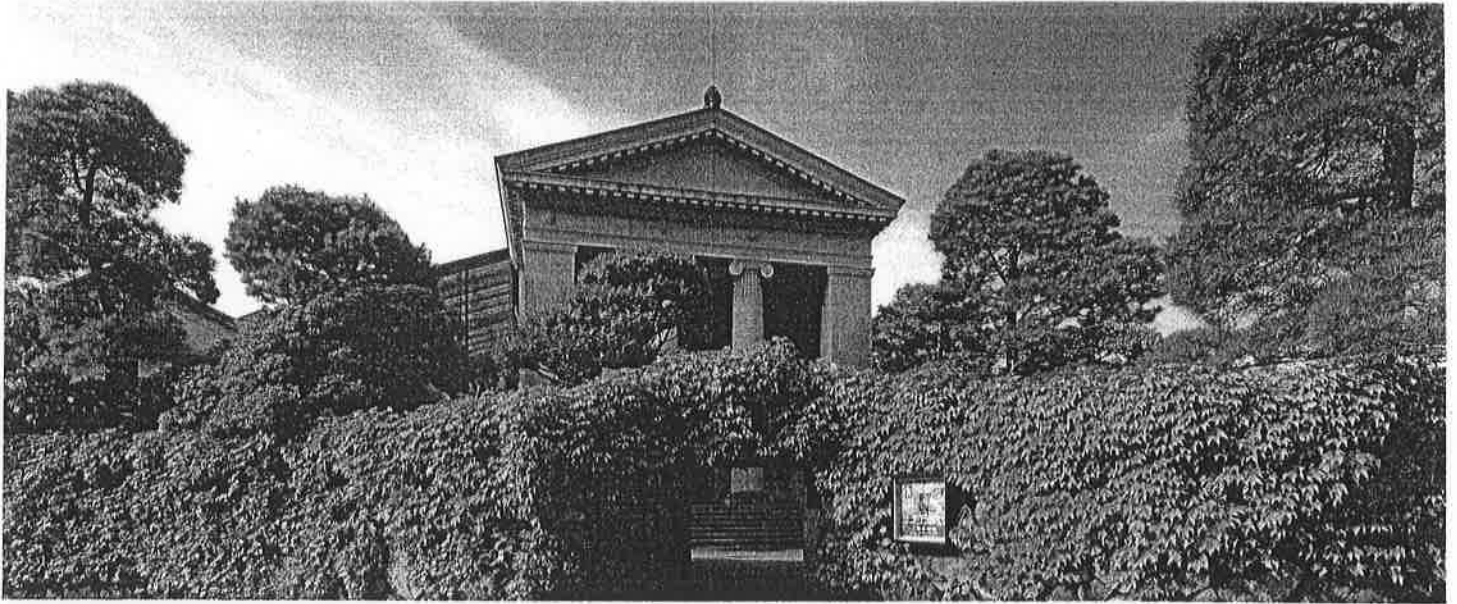
大原總一郎の発案、寄付により、1969年、倉敷市立図書館の附属施設として開設。總一郎らが寄贈したSPレコードを、愛用していた蓄音機で聞くことができます。



14 若竹の園

【西村伊作/1925年】

働く女性の増加に伴い、大原孫三郎の妻寿恵子が主宰した修養教化団体「倉敷さつき会」主導の下、倉敷紡績からの支援を受けて開園しました。インドのベンガル地方にあるバンガロー様式を採用し、小さな棟を複数配置することで「おとぎの国」のお城のような園舎になっています。



02 大原美術館 【本館：薬師寺主計/1930年】
 【分館：浦辺鎮太郎/1961年】
 【工芸・東洋館：芹沢銈介/1961~70年】

日本最初の西洋美術館

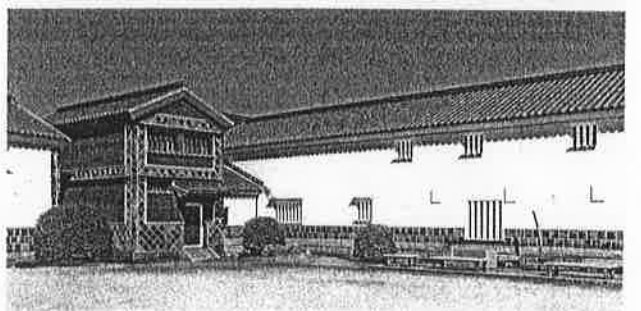
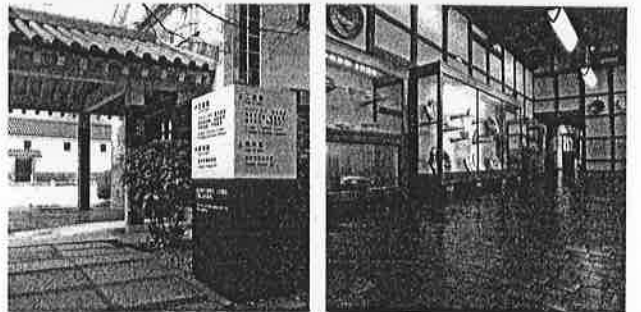
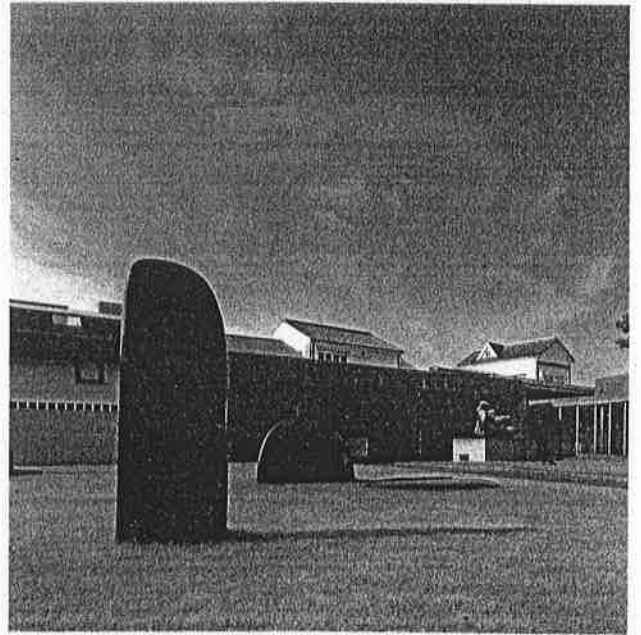
大原美術館は、西洋の優れた美術作品を日本へ紹介することを願った画家児島虎次郎が、その想いに賛同した実業家大原孫三郎の提供する資金により、1920年代初頭に西洋各地を巡って収集した西洋美術コレクションを礎とする美術館です。

1930(昭和5)年の創立に際して建てられた古代神殿のような外観をもつ本館は、現在も当初の姿をとどめています。設計したのは、建築家薬師寺主計です。薬師寺はこの他に有隣荘(大原家別邸)やそれに隣接する旧第一合同銀行倉敷支店など大原孫三郎に関わる諸建築も手がけました。

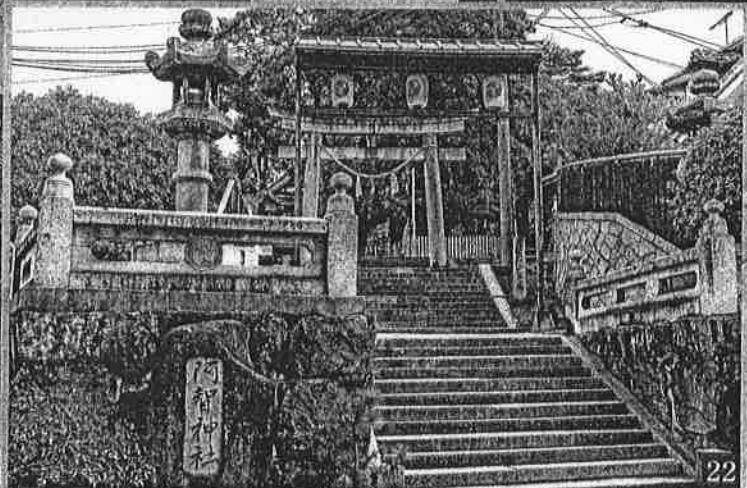
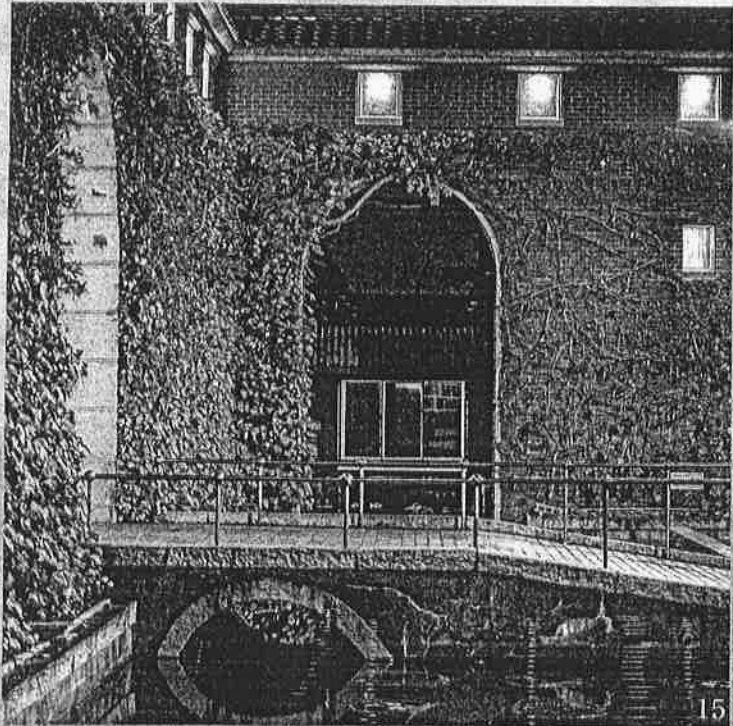
第二次世界大戦後、大原孫三郎の長男總一郎は「美術館は生きて成長していくもの」との信念からコレクションを拡張します。それを受けて1961(昭和36)年には、日本の近代洋画などを展示する分館が開館しました。設計は薬師寺主計の弟子であった建築家浦辺鎮太郎が担いました。なお浦辺が手がけた建築の中で、この分館が2003(平成15)年に、倉敷国際ホテルが2013(平成25)年に日本の近代建築100選、DOCOMOMO100選に選ばれています。

さらに大原總一郎は父孫三郎の時代から支援を続けていた民藝運動に関わった作家たちのために、蔵を改修し、工芸館として1961(昭和36)年から1963(昭和38)年にかけて整備しました。そして總一郎亡き後の1970(昭和45)年、古代中国の美術品を展示する東洋館が開設され、現在の工芸・東洋館ができあがりました。

また近隣には同様に蔵を改修した博物館施設として、倉敷民藝館、倉敷考古館があります。



🕒 9:00-17:00
 🗓 月曜日(祝日、振替休日の場合は開館)
 💰 1,500円(一般(含 大学生)) 500円(高校・中学・小学生)



人口48万人を抱える倉敷市。

大原美術館を中心とした倉敷美観地区、日本有数の水島コンビナートを抱え、東瀬戸内圏の文化、産業の拠点都市となったこの街の発展には「大原家」が大きく寄与しています。

倉敷で今にも続く「大原家」の足跡を訪ねてみましょう。



倉敷を楽しめるおすすめフォトスポットをご紹介します！2度目の倉敷をぜひ満喫ください。

- 15. 倉敷アイビースクエア 中庭広場
- 16. 倉敷本町通り
- 17. 新溪園
- 18. 倉敷館(観光案内所)
- 19. 川舟流し
- 20. 旧倉敷紡績所 工場倉庫 外壁
- 21. 大原美術館 工芸・東洋館 外観
- 22. 阿智神社 西参道
- 23. 語らい座 大原本邸 北側路地裏
- 24. 旧倉敷紡績所 工場倉庫 外観

新しい世界に 開かれた窓

瀬戸内の小都市倉敷。白壁の町並みが江戸時代の風情を今に伝えるこの町に、大原美術館があります。倉敷紡績を率いた煉瓦の実業家でありながら、志高き社会事業家として名を残した大原孫三郎。フランスで画家としての力量を認められた洋画家児島虎次郎。大原美術館の礎となる美術品の収集は、およそ100年前、「日本の芸術界のために本物の名画を」という虎次郎の願いに応えて、大原がその財を投じたことによりスタートしました。

彼らの熱意と奮闘は、エル・グレコの《受胎告知》やモネの《睡蓮》をはじめとする常代のコレクションとして、早くも1920年代初めに我が国にもたらされ、人々に感動を与えました。大原美術館は、このコレクションを核として、1930（昭和5）年、日本初の西洋美術館として誕生しました。

大原美術館の基礎となるコレクションの中心は、ヨーロッパの近代絵画です。虎次郎は、モネやマティスといった画家たちを直接訪ねて交渉し、作品を購入していきました。つまり、収集作品の多くは、彼らにとって「現代」の美術だったのです。大原美術館は、瀬戸内の小さな町に出現した、日本から世界へと開かれた窓であり、同時に、時代を切り拓く新たな価値観へと開かれた窓でもあったのです。第2次世界大戦後、孫三郎の息子総一郎は、「美術館は生きて成長していくもの」という理念のもと、大原美術館を大きく発展させます。総一郎は、セザンヌやピカソなど、近代絵画の名品を追加して充実を図るとともに、ジャクソン・ポロックから戦後の前衛画家たちの作品をいち早く入手し公開します。大原美術館は日本初の西洋美術館であると同時に、戦後最初期に誕生した現代美術館でもあります。児島虎次郎と大原孫三郎によって開かれた窓は、時代を超えて、新たな世界との出会いを生み出していくのです。

独自性を求めて

倉敷レイヨンの（現クラレ）を率い、その志の高さから松下幸之助に「美しい経済人」と呼ばれた大原総一郎。彼は、戦後の大原美術館に確かな理念と未来へのビジョンをもたらし、発展へと導きました。

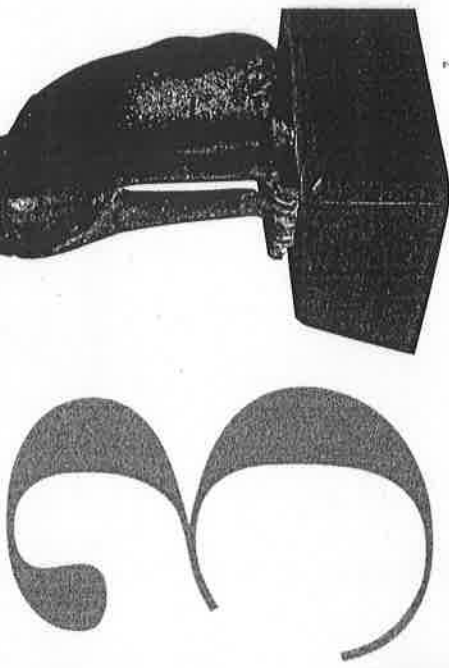
彼が熱心に取り組んだひとつが、日本近代洋画の収集です。西洋化イコール近代化とされた明治以降の日本で、西洋由来の油絵、即ち「洋画」に取り組んだ画家たちは、西洋と日本の狭間で格闘しながら、日本人ならではの油絵を模索します。総一郎は、そのような中で独自の表現を確立していった岸田劉生、藤島武二、安井曾太郎、梅原龍三郎といった洋画家たちの代表作を収集。彼らの格闘と表現の系譜を確認するとともに、戦後を生きた人々に、日本の近代化とは何であったのか、そのあり方をも問いかけようとしたのでしよう。その問いは、歴史の続きを担う私たちに託された思索のバトンでもあるのです。



5 岡田正二《信仰の悲しみ》

6 岸田劉生《婦女舞臺》

- 1 クロード・モネ《睡蓮》
- 2 エル・グレコ《受胎告知》
- 3 ジャクソン・ポロック《ソフト・フロント》
- 4 ボーナム・ゴーギャン《かくむしき大地》



古きを尋ねて

大原美術館は、古代エジプトや西アジアといった、いわゆるオリエンタリズムの古美術、そして中国を中心とした東洋の古美術も数多く収蔵しています。

児島虎次郎は、ヨーロッパ滞在中、各地の美術館・博物館でオリエンタリズムの文物に触れ、その文化への関心を深めていきました。オリエンタリズム古美術の収集はヨーロッパ近代絵画の収集と平行して進められ、1923（大正12）年より倉敷をはじめ、京都、東京の展覧会で公開されました。これらは、日本の一般の人々がオリエンタリズム古美術に触れた最初の機会であったといわれています。

虎次郎はまた、中国文化の偉大さと奥深さに敬意を抱き、現地で古い文物を収集しました。彼は、オリエンタリズムに西洋文化の、中国に東洋文化の源流を見ていたのでしょう。同時に、彼の収集した古美術品には、東洋と西洋の交流を証するものが多く含まれており、そこから、東西文化の豊かな繋がりを探えていた虎次郎のまなざしを知ることができます。

戦後、総一郎の時代になると、西アジアと東洋の古美術が積極的に追加収集され、より大きな広がりの中で文化を感じることの出来るコレクションへと成長を遂げました。



生「発見」という創造

大原孫三郎と總一郎は、日本民藝運動の支障者でした。この運動は、庶民生活の中で磨かれ、育まれた、無名の職人たちによる手仕事を「民藝」と名付け、その趣やかな美しさを讃えようというもので、大正末期に始まりました。

1960年代、大原美術館は、民藝運動をリードした陶芸家濱田任司、バーナード・リーチ、富本憲吉、河井寛次郎、染色家芹沢鉦介、版画家棟方志功の展示施設を開館。建物には江戸時代の米蔵を用い、芹沢が改装デザインを手掛けました。建物配置、内外装、照明や展示ケースに至るまで、作家への深い理解を土台に、彼のセンスが遺憾なく発揮されたこの施設自体もまた、展示作品と並ぶ芹沢の名作です。

倉敷の町並みは、總一郎がその保存を提唱し、1960年代に本格的保存事業が始まって、今日に至ります。番らしの中に当たり前に存在し、当たり前であるがゆえに見逃され、失われていく美しいものたち。倉敷の町並みも、無名の手仕事も、江戸時代の米蔵も、その美しさが発見されることで、新たな命が吹き込まれました。古いものの中に、未来へ続く価値を発見すること。それもまた、新たな作品を生み出すことに匹敵する創造なのです。

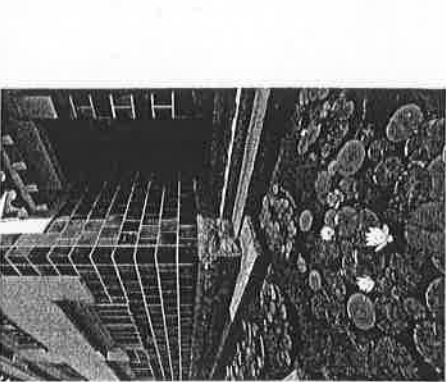
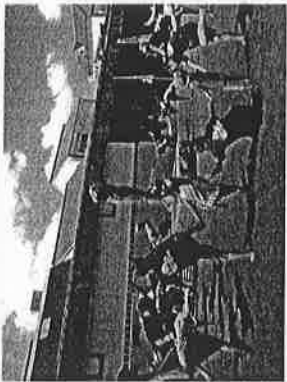
歴史は未来のために

先人たちが示した現代へのまなざしと成長への志。21世紀の大原美術館は、それを受け継ぎ、昔の原点として再確認しつつ、新たな活動を展開しています。有望な若手作家や、高橋文郎ゆかりの大型アトリエに引き、滞在制作と作品公開の機会を提供する「ARKO (アルコ) (Artist in Residence Kurashiki, Ohara)」。映像や身体表現など多様なジャンルのアーティストを招き、倉敷との出会いを通じて生まれた作品を公開する「AM倉敷 (Artist Meets Kurashiki)」。大原家旧別邸有隣荘の歴史ある空間に現代の有力アーティストが挑む展覧会。大原美術館は、町や建物、コレクションや歴史といった大原美術館ならではの資産を活かして、アーティストの新たな挑戦を支援しています。そして、その挑戦から生まれた作品を徹底的に収集しており、特色ある現代美術コレクションを有する美術館としても高い評価を受けています。

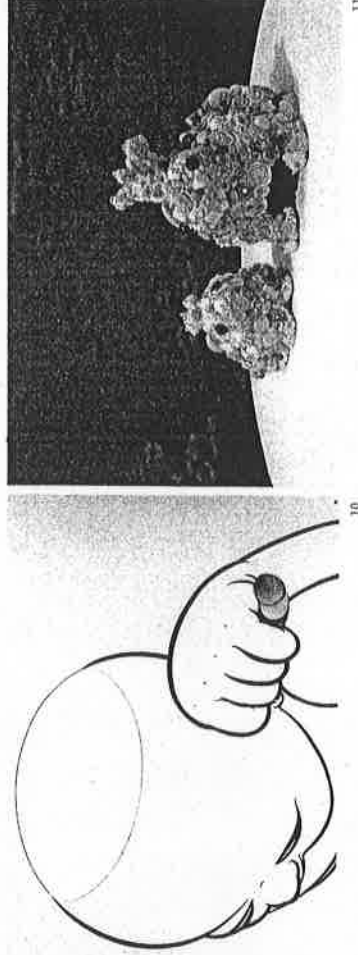
また、「社会のために」という先人の思いは、美術の楽しさ、面白さを分かち合うための様々な取り組みに引き継がれています。未来を担う子どもたちといっしょに美術館を遊び尽くす「チルドレンズ・アート・ミュージアム」、名画に囲まれた空間で一流の言葉に酔う「ギャラリー・コンサート」、さわやかな朝の美術館、夕昏の落ち着いた美術館を賞し切りで楽しむ「モーニング・ツアー」「イブニング・ツアー」、実力研究者たちが知的好奇心を刺激する「美術講座」「美術教室」。美術の楽しさを広げることが未来の美術を育んでいく。大原美術館は、そのような素晴らしい未来への循環を生み出す装置でありたいと願っています。



7 エジプト (彫)
8 エジプト (女神イシス、またはネフティス像)
9 エジプト (アラオ像浮彫)



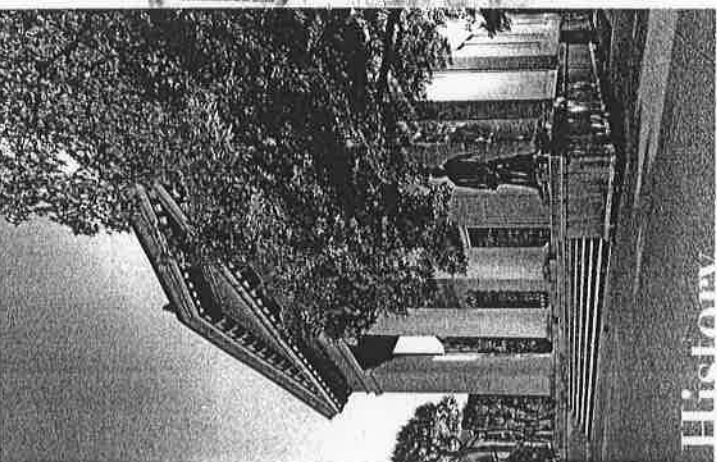
10 町田久武 (装窓)
11 森田まきむ (Sanctuary かえる)



文化都市倉敷、歴史散歩

大原孫三郎は、独自の文化都市構想を語り、孫三郎の息子總一郎は「倉敷を日本のローテンブルグに」と述べています。その言葉のとおり、大原家は大原美術館の創設と発展を担うのみならず、1948年(昭和23年)の倉敷民藝館、そして1950年(昭和25年)の倉敷考古館の創設にも中心的な役割を果たしました。

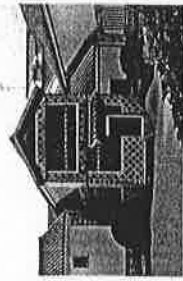
さらに、銀行、ホテルなどの自らの事業を担う新たな建物を、江戸時代からの守り伝えられる美しい景観に加えていきました。現在の倉敷美観地区周辺が、独自の景観と文化に彩られた都市となったのは、大原父子の大きな働きがあるのです。



1 大原美術館 本館
ギリシア神殿のような外観は1946年(昭和21年)の創立当初の姿をとめています。エム・グレコ(愛船告知)をはじめ、西洋近現代の美術作品を展示しています。

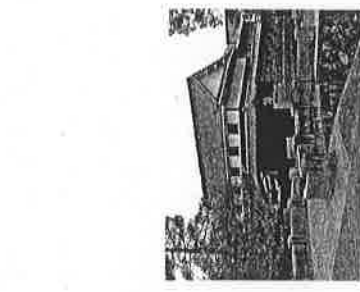
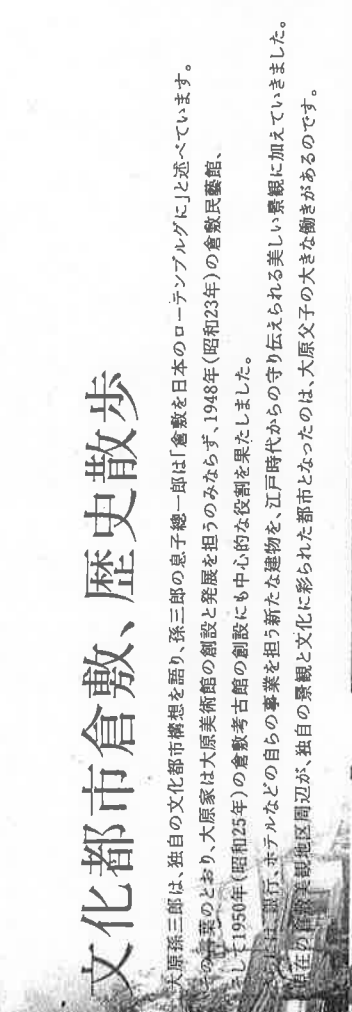


2 大原美術館 分館
1961年(昭和36年)に建設され、2003年(平成15年)には日本近代建築100選、DOCOMO100選にも選ばれています。日本の近代洋画から現在活躍する作家たちの作品を展示しています。



3 大原美術館 工芸・東洋館
大原家の家業を染色工芸(染色)によって設計から照明や展示家具に至るまでデザインされた展示館として改装されました。工芸館には民藝運動の主要者たちの作品、東洋館には東アジアの古美術を展示しています。

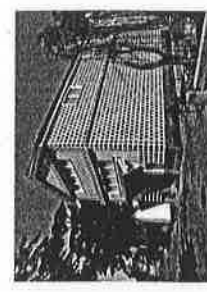
- 1880 ◊ 大原孫三郎誕生(～1943年)
- 1881 ◊ 児島虎次郎誕生(～1929年)
- 1930 ◊ 11月 大原美術館開館
日本で最初の西洋近代美術館が、倉敷に誕生。
- 1961 ◊ 7月 新館(現・分館)開館
日本近代洋画およびオリエンタル美術の常設展示館として公開する。
- 11月 陶器館(現・工芸・東洋館の一部)を開館
- 1963年には芹沢銈介染色館、榎方志功版画館(現・工芸・東洋館)開館、1970年には東洋館を増設し、現在の工芸・東洋館となる。
- 1972 ◊ 11月 児島虎次郎室開室
1978年にはオリエント工芸、1981年には西洋絵画室を開室し、児島虎次郎記念館として開館。
- 1975 ◊ 第1回美術展覧開催
- 1982 ◊ 第1回ギャラリーコンサート開催
- 2002 ◊ 「ナルドレンズ・アート・ミュージアム」事業開始
- 2005 ◊ ARKO(Artist in Residence Kurashiki, Ohara)事業開始
- 2007 ◊ AM倉敷(Artist Meets Kurashiki)事業開始
- 2017 ◊ 児島虎次郎記念館が移設のため閉館
- 2022 ◊ 新児島館(仮称)開館予定



9 語らい座 大原本邸
大原家は縁締問題で財を成し、倉敷の新建築業を支えた豪商。倉敷意匠や倉敷格子を有する本宅は、典型的な町家で1795年(寛政7年)の建造。母屋をはじめ全10幅が重要文化財。
開 | 9:00-17:00(最終入館は16:30)
休 | 月曜日、年末年始
料 | 大人500円
TEL | 086-434-6277



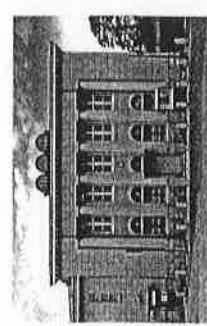
8 倉敷民藝館
江戸後期の米倉を改装し、1948年(昭和23年)に開館。国内外の陶磁器、染織品、組組品、漆器といった美しい手仕事を多数展示しています。
開 | 9:00-16:45(12-2月は16:00まで)
休 | 月曜日(休日の場合は閉館、8月は無休)
料 | 大人1000円
TEL | 086-422-1637



7 倉敷考古館
江戸後期の商家の倉を改装して1950年(昭和25年)に開館。倉敷の歴史的な土器瓦葺の外観が目目を引きまします。館内には、吉備地方の遺跡から発掘された生活の痕跡、葬送などの考古資料を展示しています。
開 | 9:00-17:00(入館締め切りは16:30)
休 | 月・火曜日(平日の祝日は無休)
料 | 大人500円(特別展示等は別料金)
TEL | 086-422-1542



6 倉紡記念館
クラポウ創立80周年の記念行事のひとつとして、1969年(昭和44年)にクラポウ東洋の旧倉敷本社工場の原形倉庫を改装し、記念館として開館しました。明治時代から現代までの国内の新機織業とクラポウの歩みを学ぶ。模型・文書・絵画などの展示で紹介しています。
開 | 9:00-17:00(入館締め切りは16:45)
休 | 無休(臨時休館あり)
料 | 大人300円 学生250円
TEL | 086-422-0011



5 大原美術館 新児島館 (仮称)
1922年(大正11年)に現在の中国銀行の前身、第一合同銀行倉敷支店として建設された建物。これまであまり知られていなかった大原美術館が持つ古代エジプト、西アジア美術品の貴重なコレクションを保存・展示する施設として、中国銀行より譲り受けました。大正末期の美しく壮麗な銀行建築を、新しい保存機能が追加として、そしてこれらを取壊した児島虎次郎の面影を顕彰する場としての活用を予定しています。



4 大原家旧別邸 有隣荘
大原孫三郎が夢のために1928年(昭和3年)に建てた別邸。緑色が味を添える独特の歴史が、倉敷川沿いの白い白壁の街並みに鮮やかな色どりを添えています。通常非公開で、年に数回大原美術館主催の特別展会場として公開しています。

OHARA MUSEUM

■ 閉館日

毎週月曜日・12月28日～12月31日

※例・祭日等が振替休日の場合は閉館

※夏季(7月下旬～8月、10月)は無休

■ 開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

※延長開館の場合あり

■ 入館料 本館/分館/工芸・実業館

	個人	団体	
一般	1500円	1300円	※団体料金(団体名がわかる団体)は別途見積り(事前予約が必要)です。
小・中・高校生	500円	300円	※別途料金別の要となる特別展もございます。

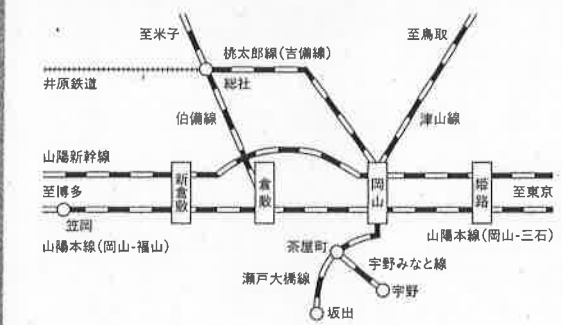


大原美術館 ミュージアムショップ

営業時間/9:00～17:15 |
閉店日/美術館に準じます。
※閉店時間は変更されることがあります。

■ アクセス

電車をご利用の場合



- ◎ 東京・四国方面から
山陽新幹線・岡山駅下車 → 山陽本線・倉敷駅下車 → 南へ徒歩約15分
- ◎ 広島方面から
山陽新幹線・新倉敷駅下車 → 山陽本線・倉敷駅下車 → 南へ徒歩約15分

車をご利用の場合



- ◎ 東京・広島方面から
山陽自動車道・倉敷I.C. → 美観地区まで約20分
- ◎ 四国方面から
瀬戸中央自動車道・早島I.C. → 美観地区まで約20分

 **大原美術館**
OHARA MUSEUM OF ART

〒710-8375 岡山県倉敷市中央1-1-15 TEL 086-422-0005 FAX 086-427-3677
URL <https://www.ohara.or.jp> E-MAIL info@ohara.or.jp

SEUM OF ART

ここは

倉敷の中の倉敷

語り座
大原本邸



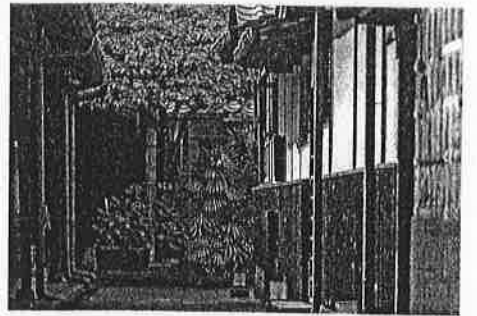
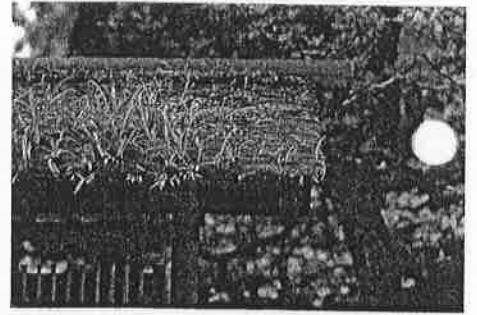
家

変わらない倉敷

国指定重要文化財

旧大原家住宅

大原家代々が暮らしてきた大原本邸。江戸時代後期の倉敷を代表する町家建築として、「倉敷格子」「倉敷窓」など特徴的な意匠を備えます。邸内に入れば、約700坪の敷地に整然と敷き詰められた石畳、立ち並ぶ倉、外界の喧騒を忘れさせる日本庭園など、庄巻の景色が広がります。



人

語り座

大原本邸
OHARA HOUSE CATALYZER

「十人のうち七人も八人も賛成するようなら、もうやらない方がいい」

大原 孫三郎

倉敷の礎を築いた人たち

大原家

倉敷紡績(株)を設立した6代孝四郎、(株)クラレを設立し、大原美術館を創立するなど、倉敷の発展に貢献した7代孫三郎。国産第一号の合成繊維ビニロンを世界に先駆け工業化した8代総一郎。300年前、大志を抱き倉敷に出てきた初代忠則以来、代々受け継がれてきた大原家の「生き方」を体感いただけます。

「よりも」理解されな
奴では大原家
が明るくてい
まの道は進歩も工夫
この春ともわからぬ春は、よく大原を



<国指定重要文化財 旧大原家住宅>

語り座大原本邸

TEL 086-434-6277 倉敷市中央1-2-1

開館時間 9:00-17:00 最終入館16:30

閉館日 月曜日(祝日の場合は開館)

入館料	<一般>	<高校生以下>
	500円 (400円)	400円 (200円)

余の使命は教育にあり (大原孫三郎)

「人づくり」は未来の町づくり。語らい座では、学校と地域を結ぶプラットフォームを目指し、その名の通りcatalyzer (触媒) としての役割を使命と考え、独自の教育プログラム、教育支援を企画・実践しています。

語らい座主宰教育プログラム

くらしき未来K塾...ローカルな課題をグローバルに捉え、最高の講師とともにタイムリーかつ先進的な学びの時間を創出します。(原則毎月第4土曜日午後)

くらしき町家留学...海外の若者の学びを支援。地元の若者とともに「場の力」を体感・交流することでSDGs未来都市を形成する市民を育成します。(随時)



教育支援プログラム

企業人・新入社員のための歴史・文化研修等を随時開催する
とともに、大学生・高校生のための探求学習やフィールドワーク・セッション等で、授業・イベントのお手伝いも行っています。



営業時間

9:00~17:00
※最終入館は16:30まで

休館日

月曜日・年末年始

※祝日・振替休日の月曜日は開館致します。
※賞切、その他臨時休館となる場合がございます。

入館料

[一般] 500円(400円)

[高校生以下] 400円(200円)

※()内は団体20名以上、未就学児は無料。



電車をご利用の場合

山陽新幹線岡山駅→山陽本線倉敷駅下車、徒歩約15分

車をご利用の場合

◎倉敷美観地区まで

山陽自動車道 倉敷ICから約20分

瀬戸中央自動車道 早島ICから約20分

※語らい座大原本邸には駐車場がございます。
周辺の有料駐車場をご利用ください。

語らい座
大原本邸
OHARA HOUSE KATALYZER

公益財団法人 有隣会

倉敷市中央一丁目2-1 TEL.086-434-6277

<http://www.oharahontei.jp/> (E-mail) info@oharahontei.jp

「語らい座」は倉敷の中の倉敷。

語らい座
大原本邸

OHARA HOUSE KATALYZER

日本遺産の
まもる

倉敷

KURASHIKI

Japan

Heritage

一輪の綿花から
始まる倉敷物語

古代吉備の遺産と
桃太郎の物語

北前船寄港地の
繁栄の物語



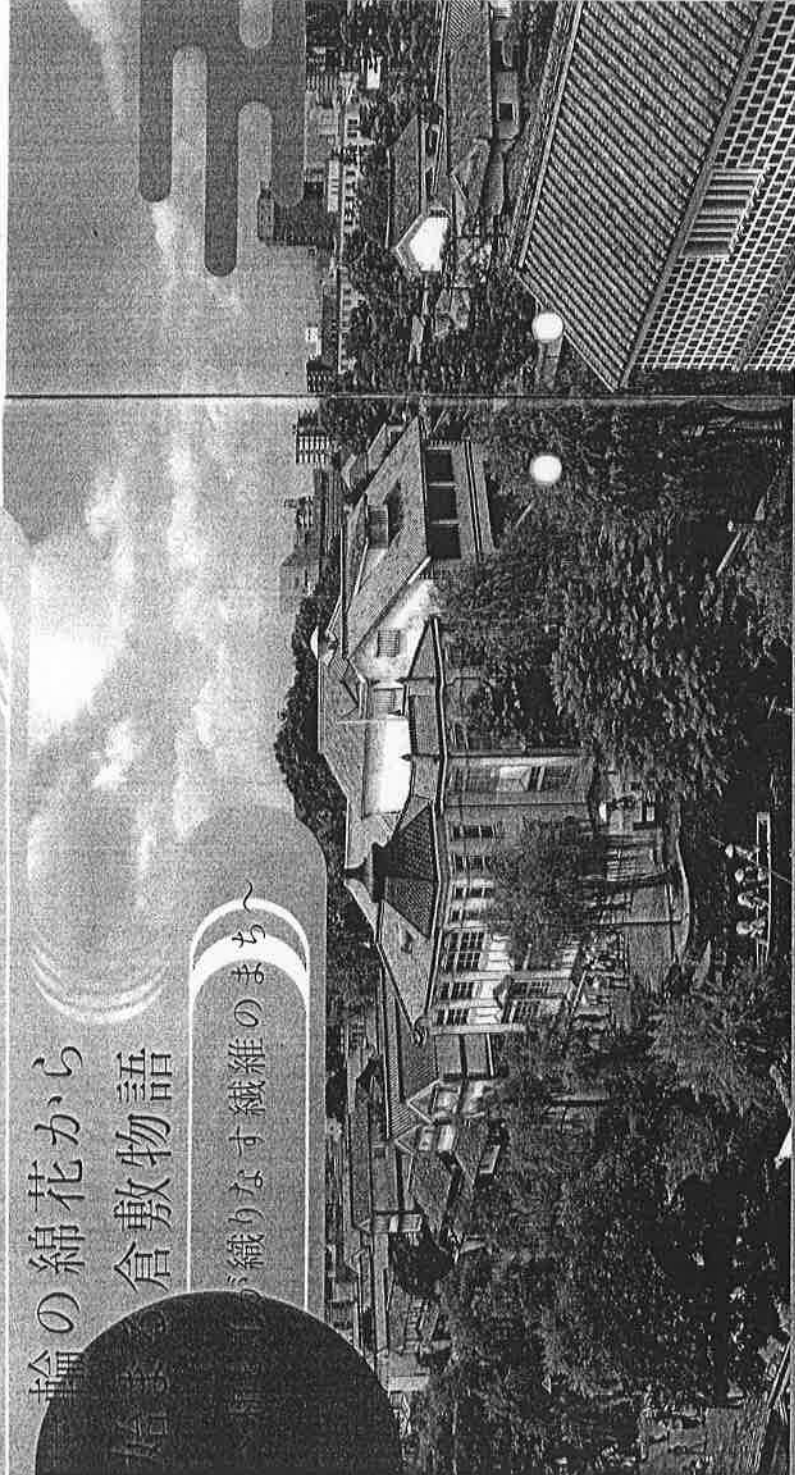
日本遺産
倉敷市

Kurashiki City



輪の綿花から 始まる倉敷物語

綿花が織りなす繊維のまちへ



倉敷川畔五穀貯蔵庫保存地区

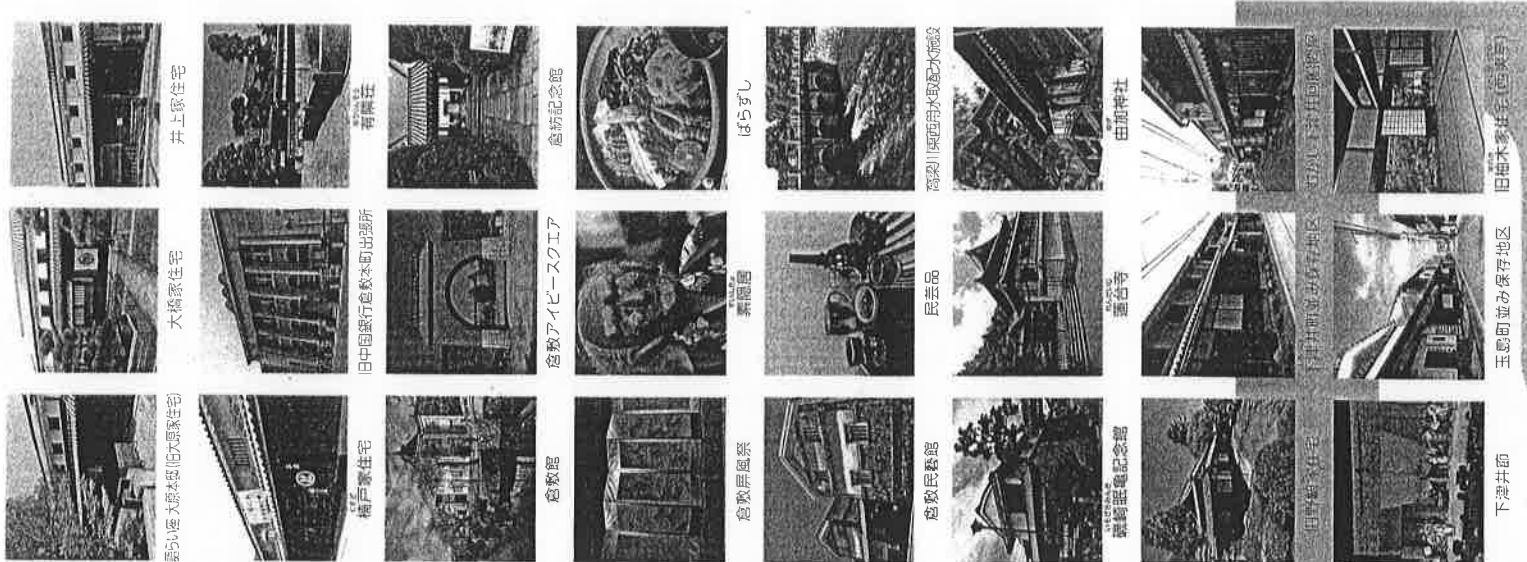
綿花が紡ぐ、町の歴史と発展。

400年前まで一面の海だった倉敷周辺。その広大な浅海は、江戸時代以降、本格的に行われた干拓により、陸地へと姿を変えていきました。干拓地には塩分が残り米作りには向かず、塩に強い綿やイ草が栽培されたことが現代につながる本市の繊維産業の礎となりました。寛永19年(1642)倉敷は

幕府の直轄地、いわゆる「天領」となり、周辺の直轄領を支配する政治・経済の中心地に。倉敷川の周辺には商人が集まり、綿などを扱う問屋や仲買人でにぎわいました。明治時代、英国式の最新の機械と工場施設を備えた倉敷紡績所(現クラボウ)が倉敷代官所跡に創設され、国内有数の紡績会社

へと成長する中で町は大きく発展し、倉敷川周辺に数多くの西洋建築が建てられました。これらは伝統的な町並みにアクセントを加え、まちの魅力を一層高めています。現在、倉敷は年間出荷額日本一の「繊維のまち」となり、和と洋が織りなす倉敷の歴史文化は訪れる人々を魅了しています。

【ストーリーを構成する倉敷市の31の文化財】



栗川邸 大原本邸(旧大原家住宅)

大橋家住宅

井上家住宅

橋戸家住宅

旧中国銀行倉敷本町出張所

香蘭寺

倉敷館

倉敷アイビースクエア

倉紡記念館

倉敷屏風祭

茶屋

ばらずし

倉敷民藝館

民芸品

高梁川(東西水取配水施設)

倉敷民藝館

蔵前屋敷記念館

田町神社

旧倉敷家住宅

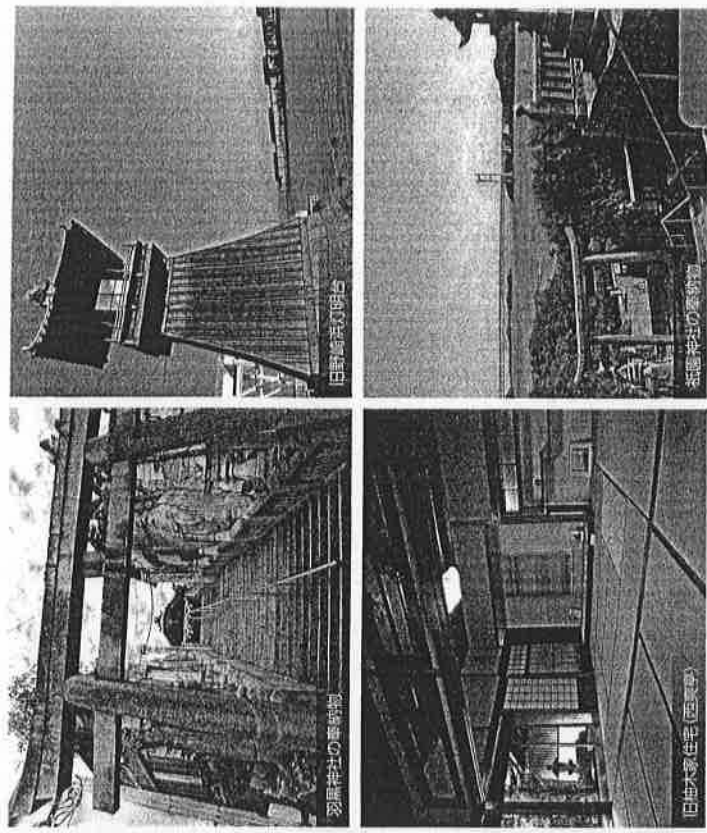
玉島町並み保存地区

近江一宮(西国霊宮)

下澤井戸

旧倉敷家住宅

旧橋本家住宅(西国一宮)



倉敷市の日本遺産 102

【ストーリーを構成する倉敷市の10の文化財】

荒波を越えた男たちの 夢が紡いだ異空間

北前船寄港地・船主集落～

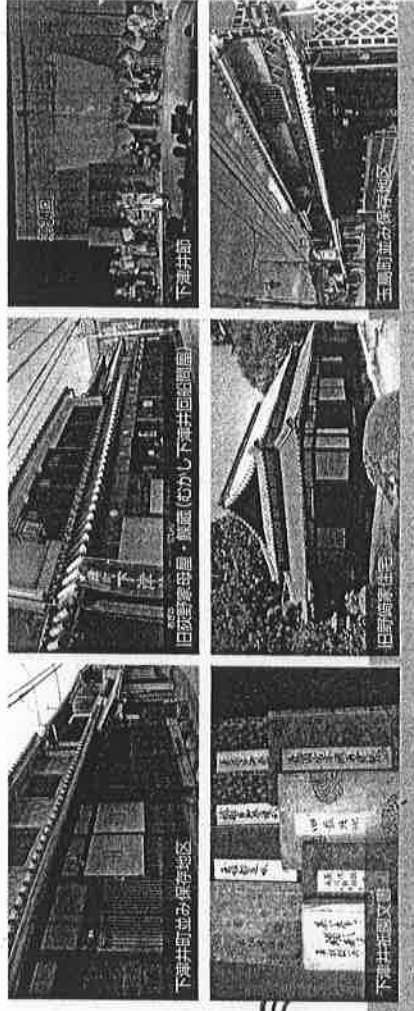
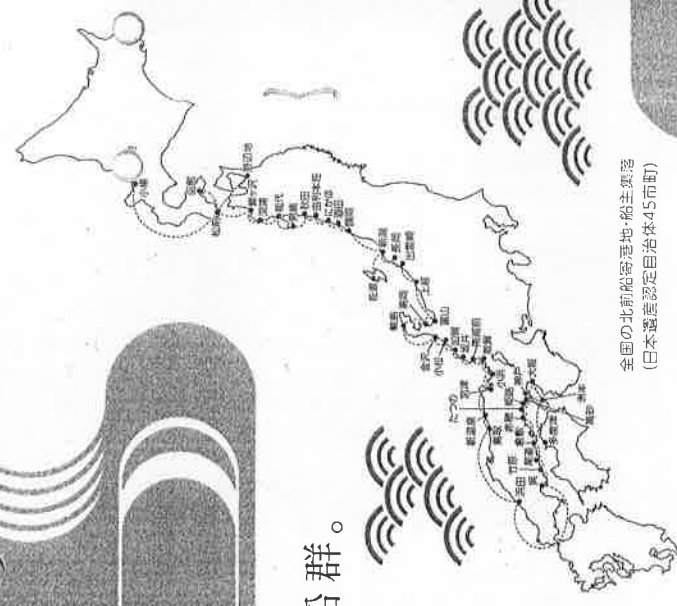
長大な航路を往く商船群。

江戸時代、海の経済動脈であった北前船。物を運ぶだけでなく、各寄港地で多種多様な商品を仕入れ、別の地で販売する買い積み方式で大きな利益をあげていました。各地に数多く残る寄港地・船主集落の広大な商家や社寺の奉納物は、北前船の壮大な世界を今に伝えています。

寄港地として栄えた二つの地域。

江戸後期以降、北海道からニシン粕などを積んだ北前船が下津井井に入入りするようになり、帰り荷として児島の綿や塩などが喜ばれたと言われています。往時の下津井港の繁栄は、下津井節、祇園神社の玉垣などに見ることが出来ます。そして、玉島港

は備前中山麓の飛び領地。最盛期には売買される商品のほぼ8割が綿関係で占められ、高瀬舟と北前船の水運で一大商業地となった玉島には、藩の庄屋を務めた旧柚木家住宅、羽黒神社の奉納物などが残っています。



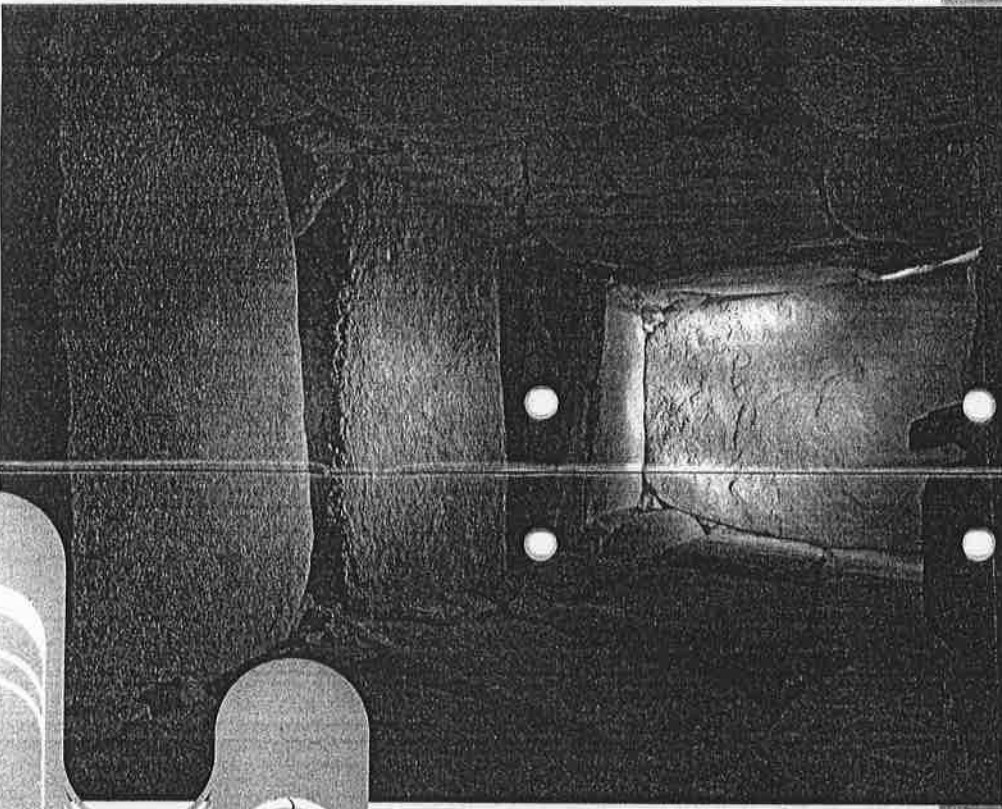
「桃太郎伝説」の

生まれたまち おかやま

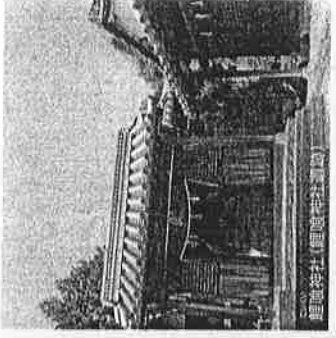
古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語



ストーリーを構成する倉敷市の6の文化財



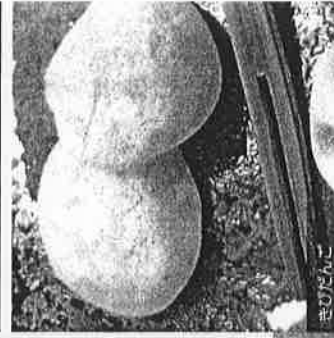
高田大塚古墳



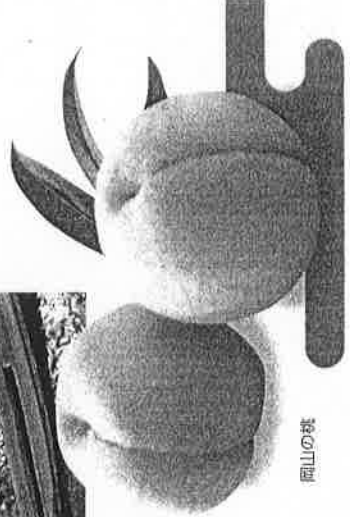
鹿嶋神社(鹿嶋神社)



鹿嶋神社の旋神文石



さびだんご



岡山の桃

ストーリーでつながる
岡山市・総社市・赤磐市の
構成文化財

岡山市

- 吉備津神社
- 吉備津神社(鳥居)
- 岡路伊勢
- 五箇村と五石の治平
- 鹿嶋神社の祭神
- 天徳堂
- 血吸川
- 吉備の中山
- 吉備津彦神社
- 特祭舞台
- 茨山古墳
- 年花大塚古墳
- 白山神社の首塚
- 岡山の桃
- さびだんご 他

総社市

- 鬼塚山(鬼ノ城)
- 東の釜
- 血吸川
- 作山古墳第一古墳
- こどもり塚古墳
- 岡山の桃
- さびだんご

赤磐市

- 阿笠山古墳
- 岡山の桃

今もこの地に残る桃太郎伝説の舞台。

いにしえに吉備と呼ばれた岡山。この地には鬼ノ城と呼ばれる古代山城や巨大墓に立ち並ぶ巨石などの遺跡が現存します。これら遺跡の特色から吉備津彦命が温羅と呼ばれた鬼を退治する伝説の舞台となりました。絶壁にそびえる古代山城は、その名の通り温羅の居城とされ、巨石

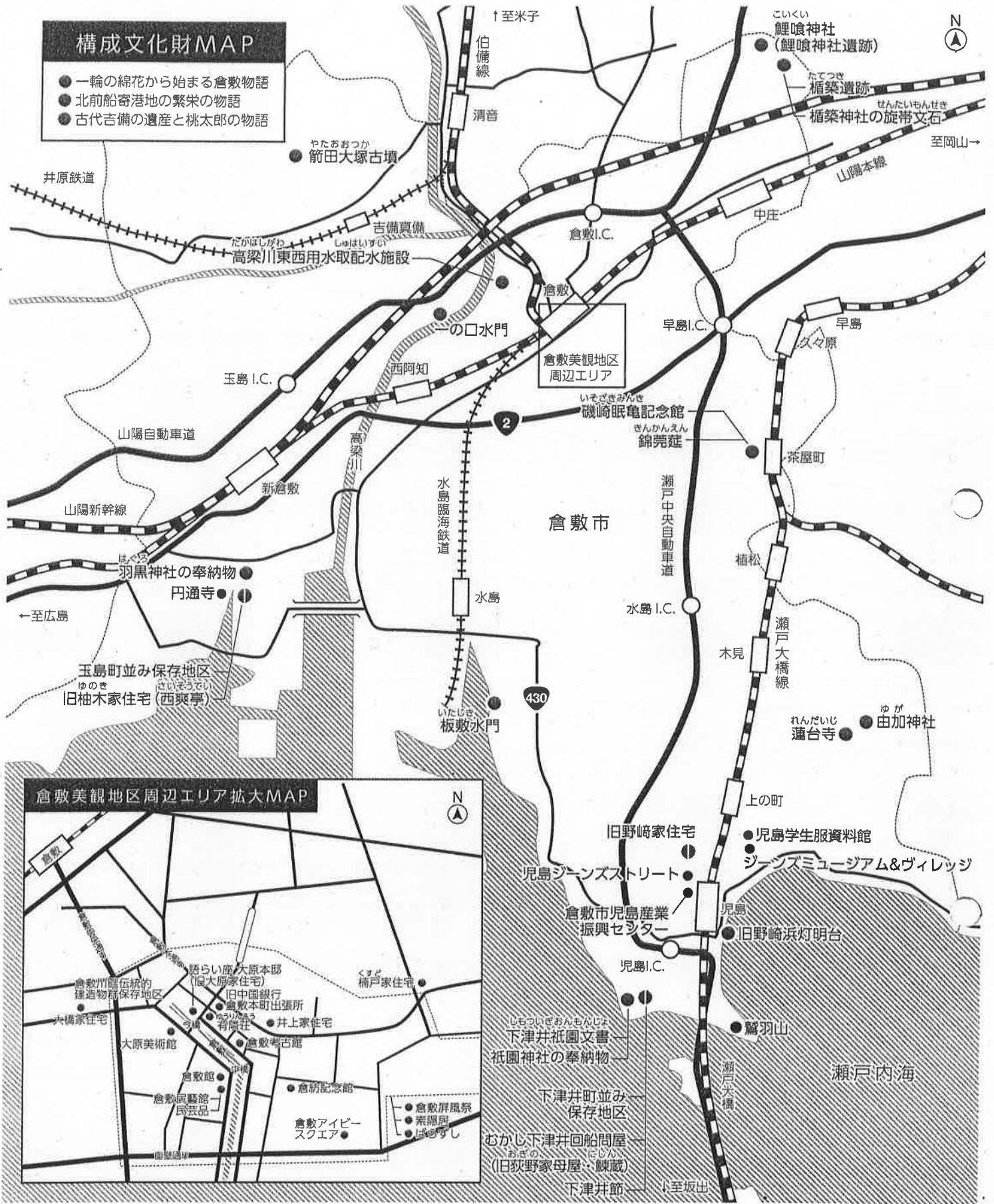
は命の楯となりました。勝利した命は巨大神殿に祀られ、敗れた温羅の首はその側に埋められました。鬼退治伝説は、古代吉備の繁栄と屈辱の歴史を背景とし、桃太郎伝説の原型になったとされ、吉備の多様な遺産は今も訪れる人々を神秘的な物語へと誘ってくれます。倉敷市には、庄地区に弥生

時代後期に築かれた国内最大級の墳丘墓「楯築遺跡」があり、墳丘上の巨石が、命の楯として伝わります。また真備地区には、命の弟の子孫と伝わる、下道氏の墓「箭田大塚古墳」があり、長さ19mを超える巨大な石室から、下道氏が強大な勢力を

持っていたことが分かります。

構成文化財MAP

- 一輪の綿花から始まる倉敷物語
- 北前船寄港地の繁栄の物語
- 古代吉備の遺産と桃太郎の物語



日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、わが国の文化や伝統を語る「ストーリー」を、文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形のさまざまな文化財群を、地域が総合的に活用し、観光資源として活用する。

詳しくは下記 web サイトをご覧ください。

一輪の綿花から始まる倉敷物語



北前船寄港地の繁栄の物語



古代吉備の遺産と桃太郎の物語



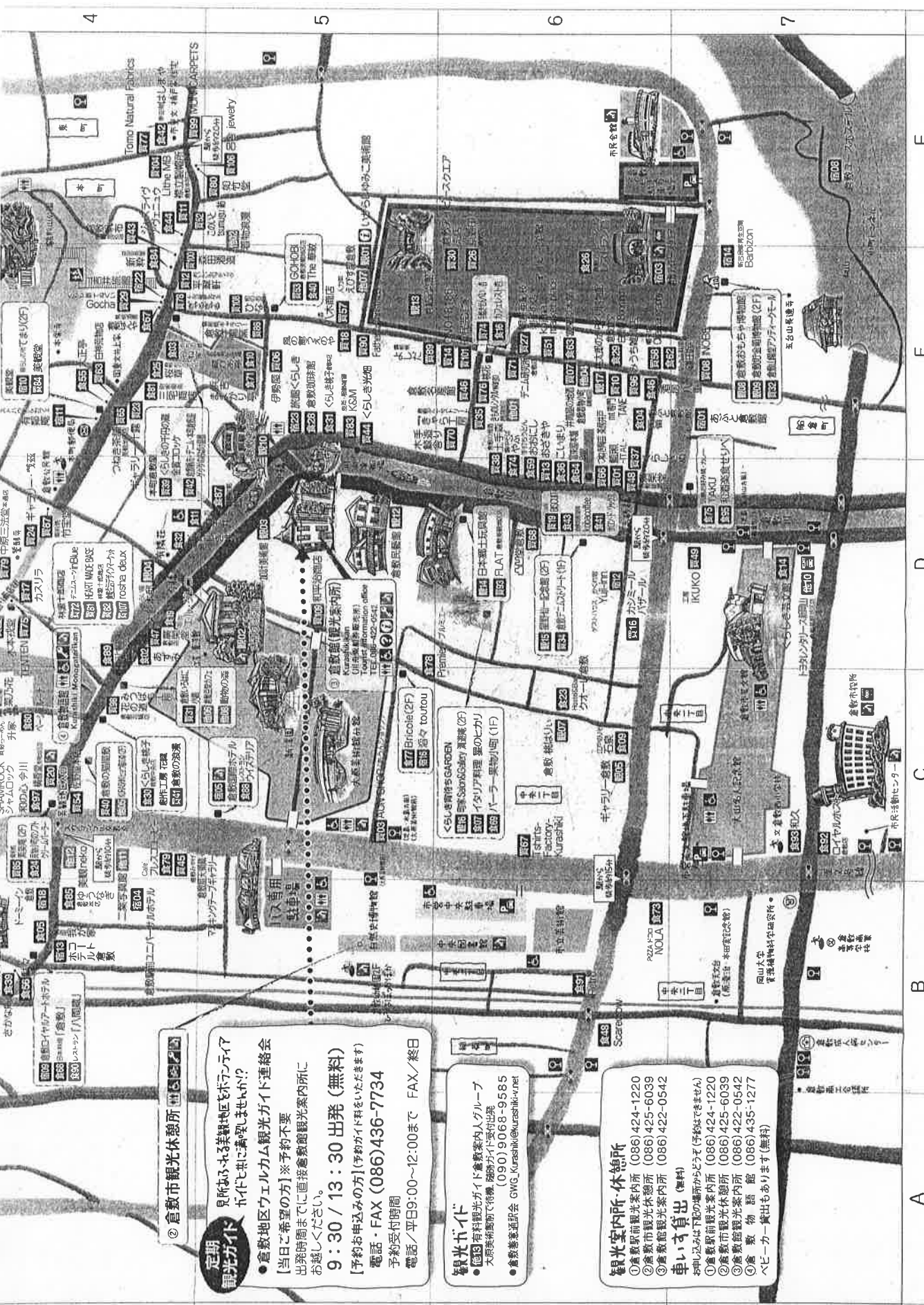
倉敷市日本遺産推進協議会

(事務局) 倉敷市日本遺産推進室 〒710-8565 倉敷市西中新田 640
tel.086-426-3018 fax.086-426-5131

日本遺産倉敷 www.city.kurashiki.okayama.jp/kura-story/

スマートフォン用アプリ「日本遺産 倉敷Navi」





倉敷市観光バスセンター

定期観光ガイド

見所あふれる美観地区をボートツアー
 だけでなく、お買い物も楽しめます。

●倉敷地区ウェルカム観光ガイド連絡会
 【当日ご希望の方】※予約不要
 出発時間までに直接倉敷観光案内所に
 お越しください。

9:30 / 13:30 出発 (無料)
 【予約お申込みの方】(予約ガイド料をいただきます)
 電話・FAX (086)436-7734
 予約受付時間
 電話/平日9:00~12:00まで FAX/終日

観光ガイド

●⑧33 有料観光ガイド倉敷案内人グループ
 大原美術館前で待機。随時ガイド受付出発
 (090) 9068-9585

●倉敷観光酒造会 GWG_Kurashiki@kurashiki-net

観光案内所 休憩所

①倉敷駅前観光案内所 (086) 424-1220
 ②倉敷市観光休憩所 (086) 425-6039
 ③倉敷観光案内所 (086) 422-0542

車いす貸出 (無料)

お申し込みは下記の場所からどうぞ(予約はできません)

①倉敷駅前観光案内所 (086) 424-1220
 ②倉敷市観光休憩所 (086) 425-6039
 ③倉敷観光案内所 (086) 422-0542
 ④倉敷物産館 (086) 435-1277
 ペビーカー貸出もあります(無料)

4 5 6 7

A B C D E F

休館日

毎週月曜日・12月28日～12月31日

<休館日及び休館外日の場合は別>
<7月下旬～8月及び10月は休館日なし>
※やむを得ず臨時休館する場合がございます。

開館時間

9:00～17:00

<ただし入館は15:30まで>

入館料

(休館日除く) 要予約

一般	高校生・中学生・小学生
個人	1,500円 / 500円
団体	1,300円 / 300円

※身体障害者手帳をお持ちの方は、手賃をご提示ください。

※団体：20人以上

●リピーター割引

半年以内に当館外観新装竣工し、観覧をお求めの期間、前回の購入のチケット提示で団体料金にてお求めいただけます。

大原美術館
ミュージアムショップ



■開館時間
9:00～17:15

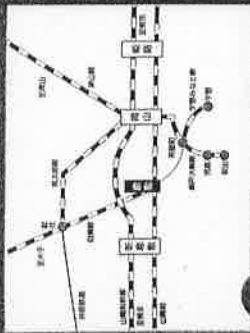
■閉館時間
ミュージアムショップは17:00まで



ICOCA
大原美術館の入館も鉄道も
お買物もタッチするだけ!

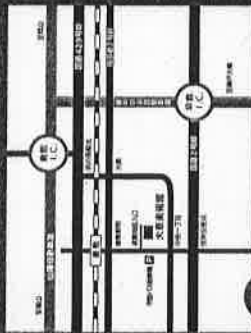
ICOCA
大原美術館 可返却
〒770-8575 岡山県真庭郡大原町1-1-15
TEL:0866-25-5819 FAX:0866-25-5819

交通のご案内



電車の場合

- ・JR山陽本線からJR大原駅まで
山陽本線大原駅下車徒歩15分
- ・JR山陽本線からJR大原駅まで
JR大原駅下車徒歩15分
- ・JR山陽本線からJR大原駅まで
JR大原駅下車徒歩15分



お車の場合

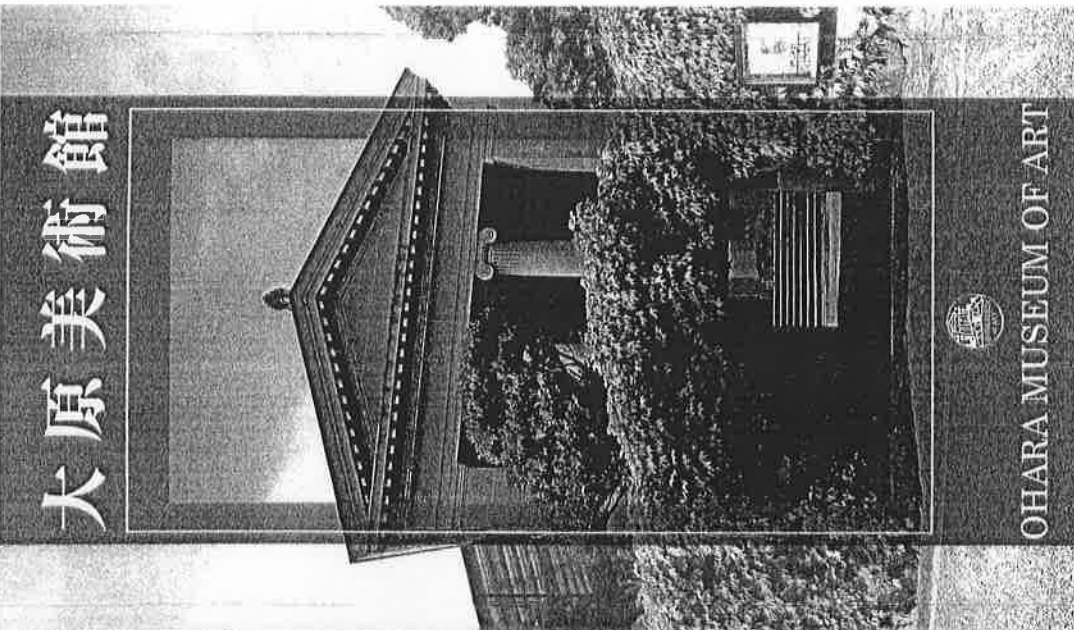
- ・山陽自動車道から大原ICまで約20分
- ・山陽自動車道から大原ICまで約20分
- ・山陽自動車道から大原ICまで約20分

大原美術館について

大原孫三郎(1880～1943)は、倉敷紡績などの企業を経営する一方で、病院や研究所を創立するなど公益性の高い諸事業を推進しました。その孫三郎の経済的支援で1908年に渡欧した洋画家の児島虎次郎(1881～1929)は、自らの画業の研究に励むと共に、西洋の優れた美術作品の収集と公開を孫三郎へと提言します。それに応じた孫三郎の支援で、虎次郎はさらに二度の渡欧を果たし、クロード・モネやアンリ・マ蒂斯から直接作品を購入するなどして西洋の近代美術を、また古代エジプトや西アジアの美術品を収集しました。それらの収集品と虎次郎自身の作品を、もつため孫三郎によって1930年に創設されたのが大原美術館です。

第二次大戦後、美術館の運営を担ったのは、孫三郎の長男大原総一郎(1909～1968)でした。総一郎は「美術館は生きて成長していくもの」との信念に基づいて、西洋の前衛的な作品や、今では日本の近代美術史を語るには欠かせないものとなった明治以降の洋画、さらに、渡田庄司や河井寛次郎、権方志功など民権運動を主導した作家の作品へと収集ジャンルを大きく広げ、それらのための展示場を新設しました。

このように、大原美術館は常に同時代の新たな表現を受け止めながら歴史を積み重ねてきました。現在でも、日本の現代作家との協働に力を入れ、その作品の収集と公開を続けています。



大原美術館

OHARA MUSEUM OF ART





倉敷市

倉敷美観地区ご視察コース

10/30 (金)

10:50 - 11:55

大原M前～旅館舊形



①大原美術館



②語らい座大原本邸



③有隣荘



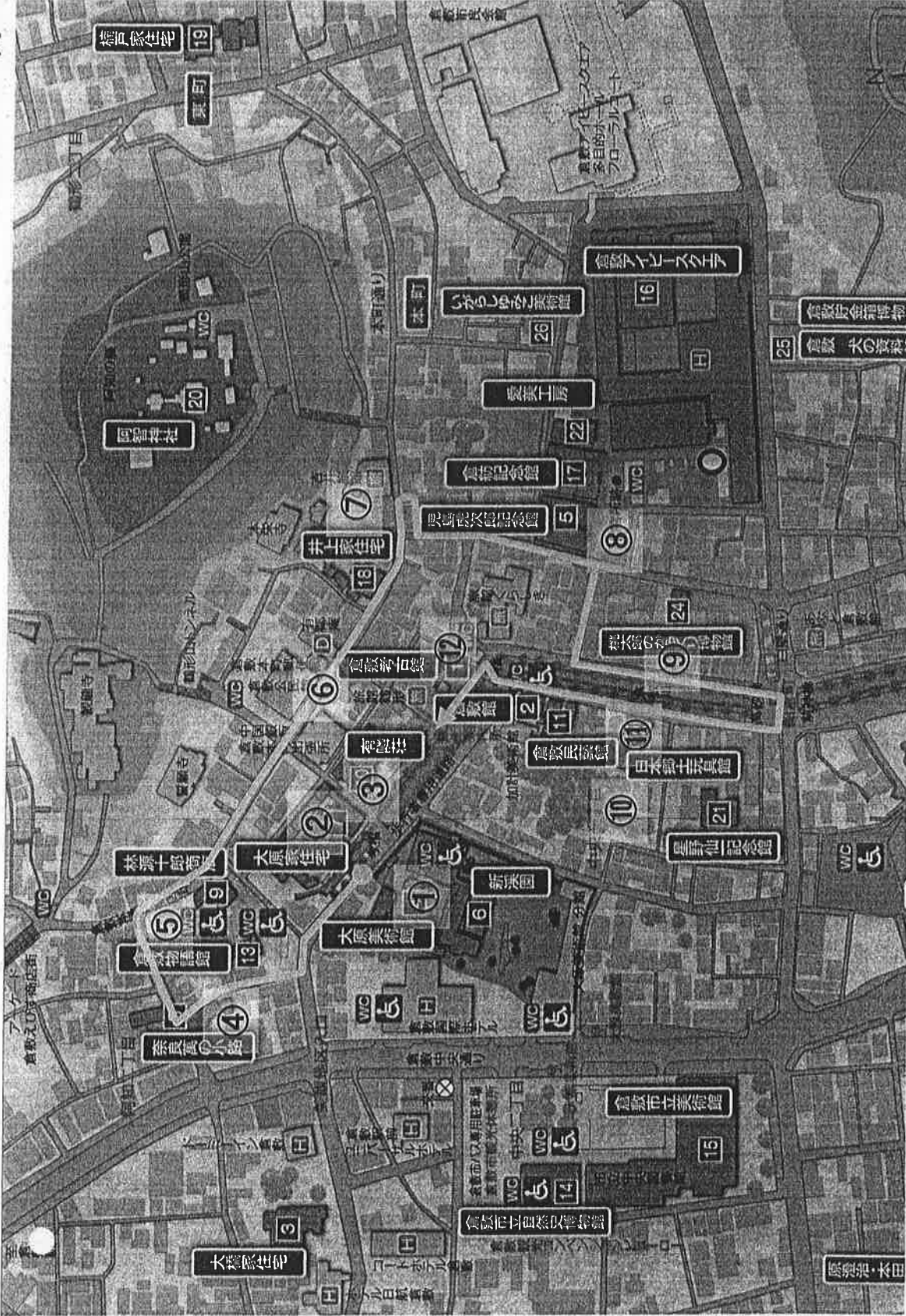
④奈良萬の小路



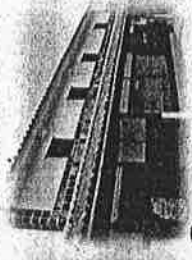
⑤林源十郎商店



⑥本町通り(電線箱撤去中)



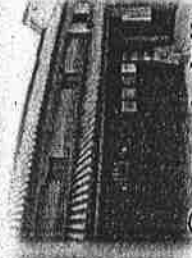
⑫倉敷考古館



⑪日本郷土玩具館



⑩くらしき育侍ら GARDEN



⑨クラシキ庭苑



⑧倉敷A化一スクエア



⑦クラシキクラフトワークプレイス

大原美術館 19

東町

回廊社 20

WC

井上家宅 18

7

倉敷記念館 17

22

倉敷記念館 5

8

倉敷A一スクエア 16

25

倉敷 大C 25

林源十郎商店 9

WC

大原家住宅 2

3

大原美術館 13

WC

大原美術館 6

新築園 11

10

倉敷市立玩具館 21

WC

奈良萬の小路 4

WC

大原美術館 13

WC

大原美術館 6

WC

倉敷市立玩具館 14

WC

倉敷市立玩具館 15

14

倉敷市立玩具館 15

15

大原美術館 19

WC

大原美術館 6

WC

大原美術館 6

倉敷市立玩具館 14

倉敷市立玩具館 15

14

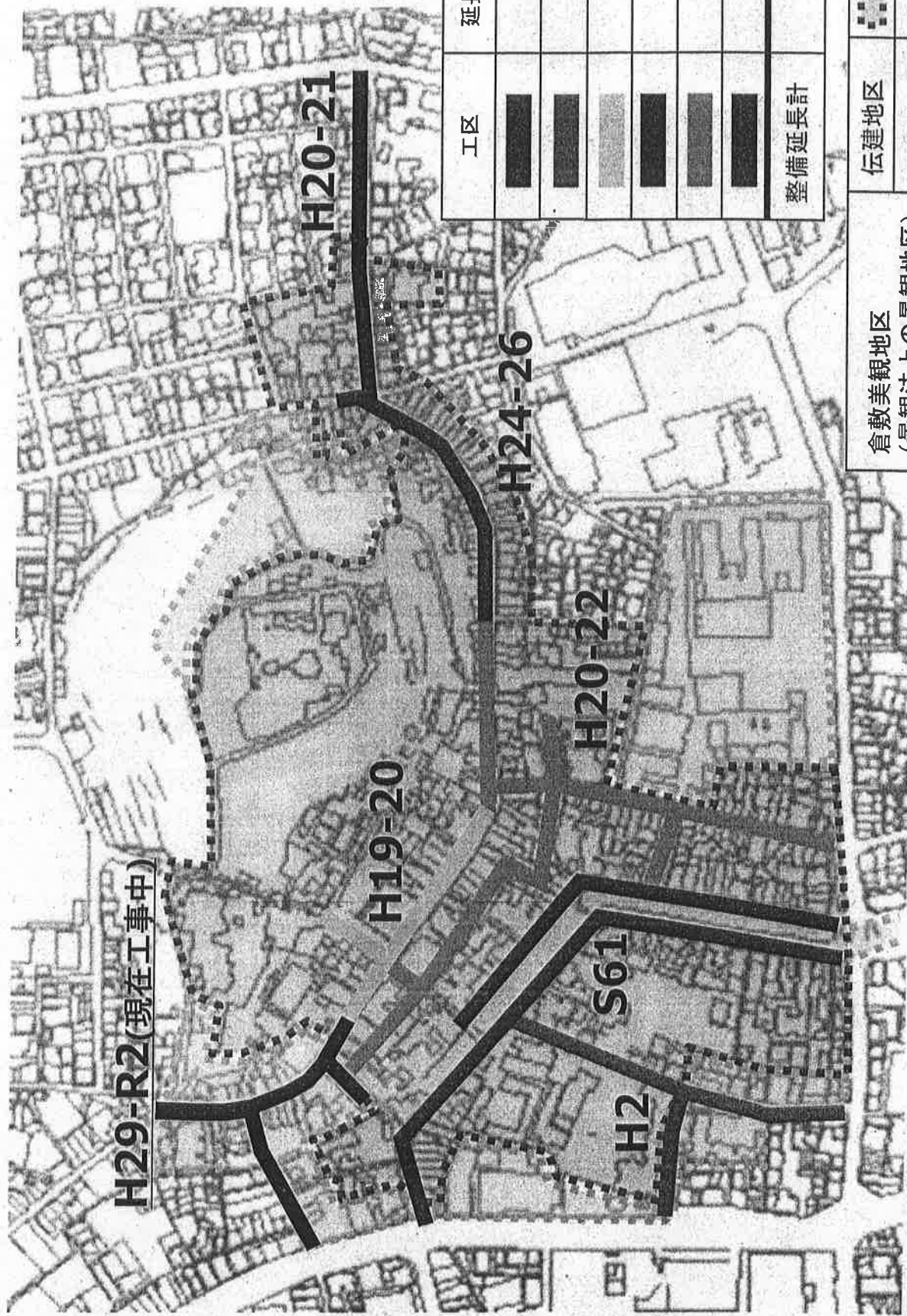
倉敷市立玩具館 15

15

倉敷市立玩具館 15

15

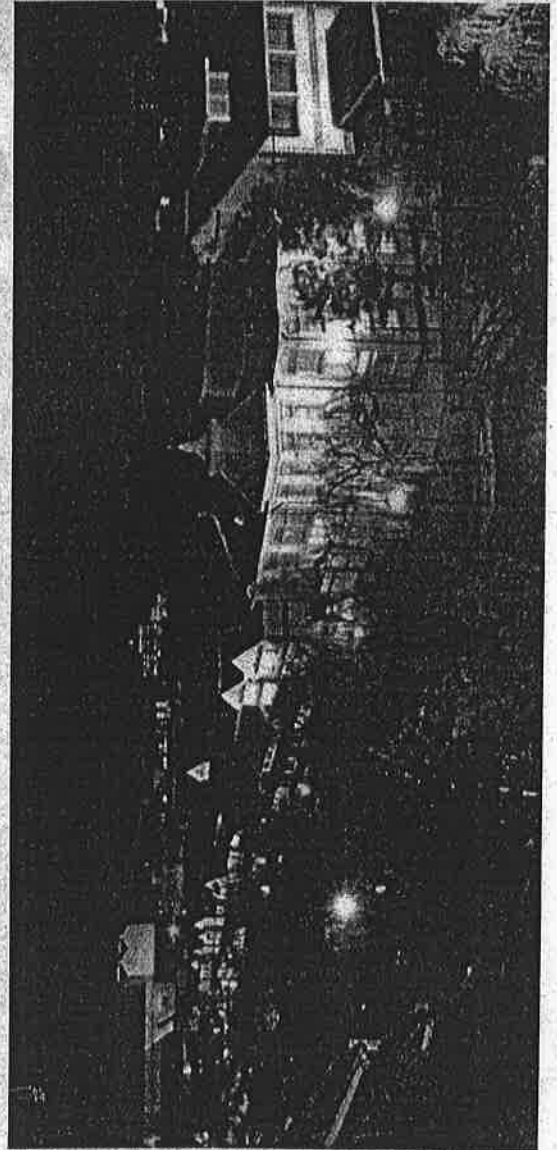
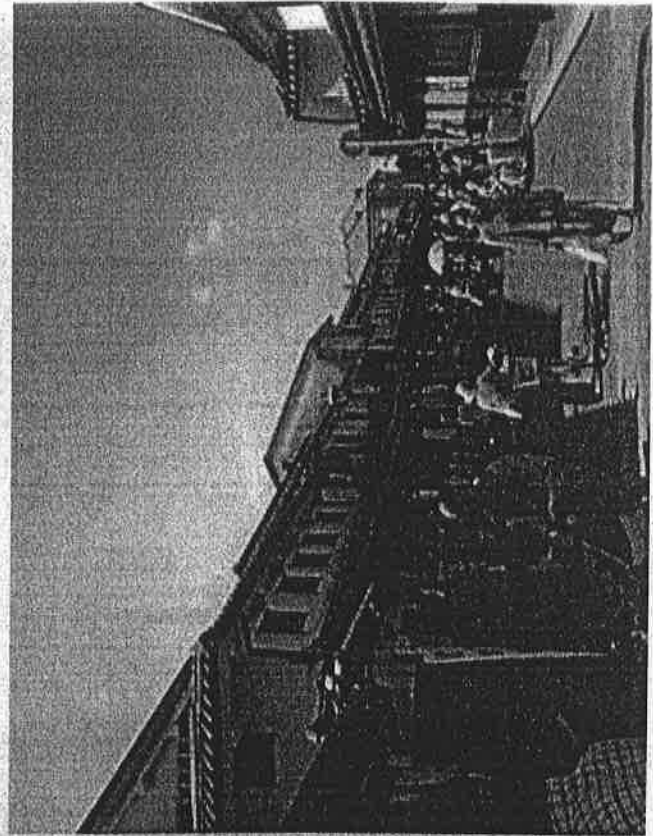
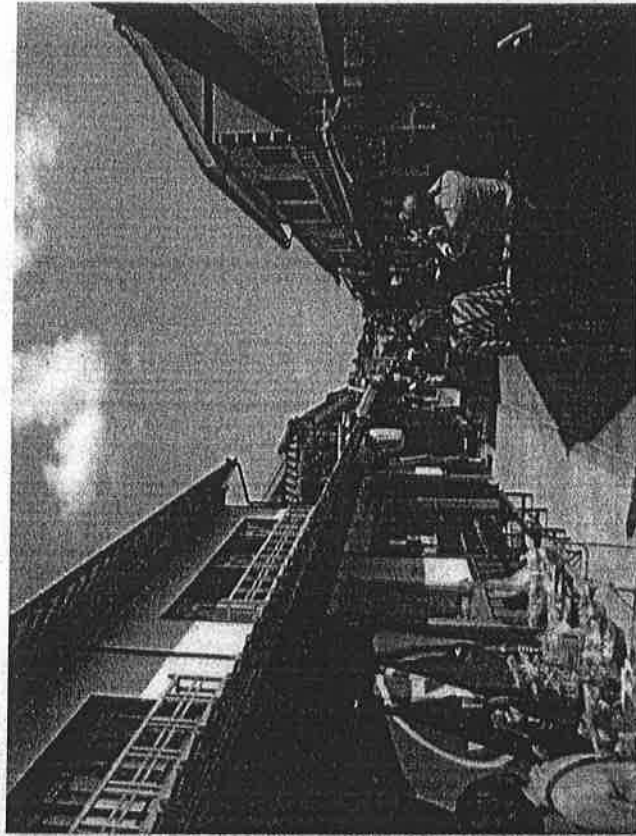
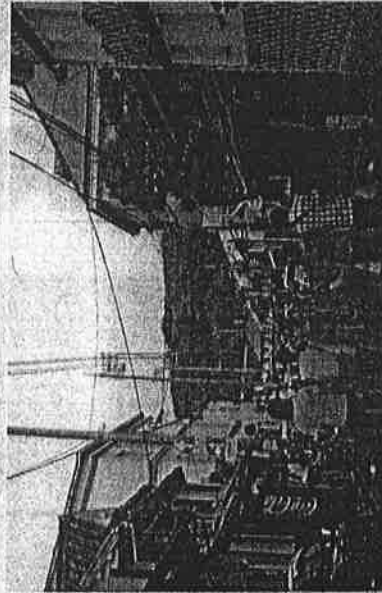
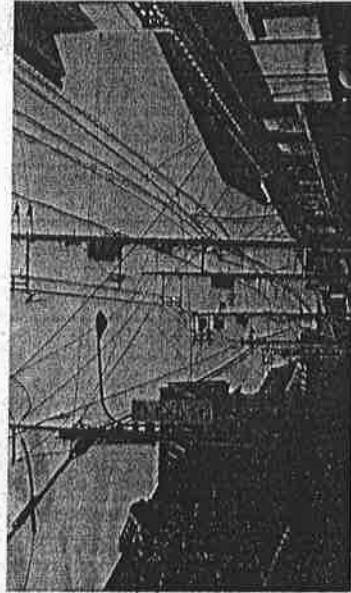
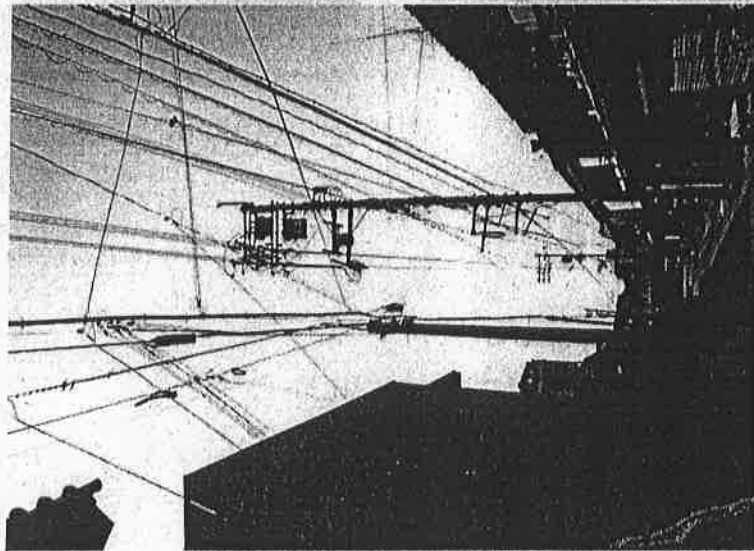
電線類地中化及び路面美装化(景観美の向上)



工区	延長(m)
■	700
■	310
■	200
■	230
■	710
■	180
整備延長計	2,330

倉敷美観地区 (景観法上の景観地区)	伝建地区	伝美地区
■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■

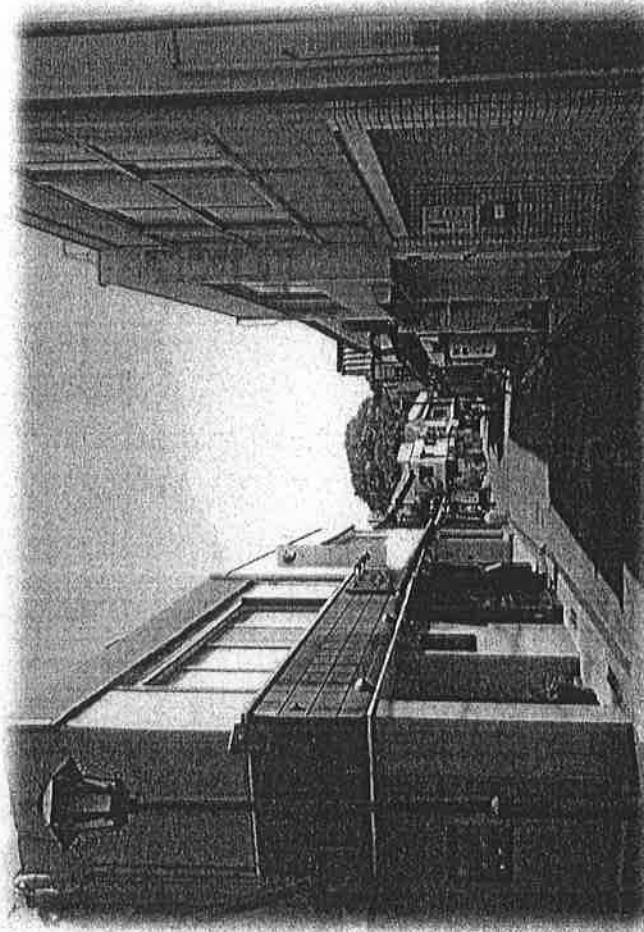
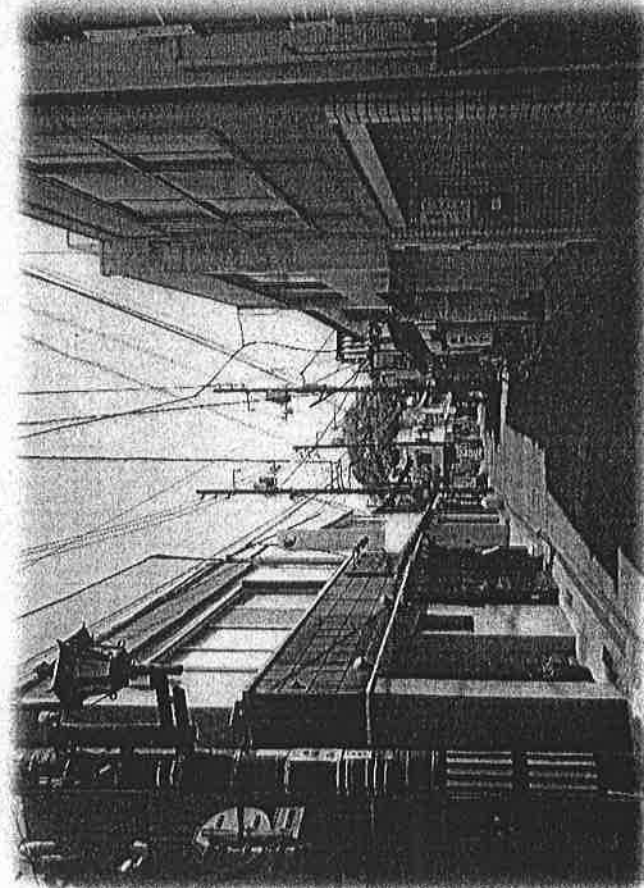
電線類地中心及び路面美装化(景観美の向上)



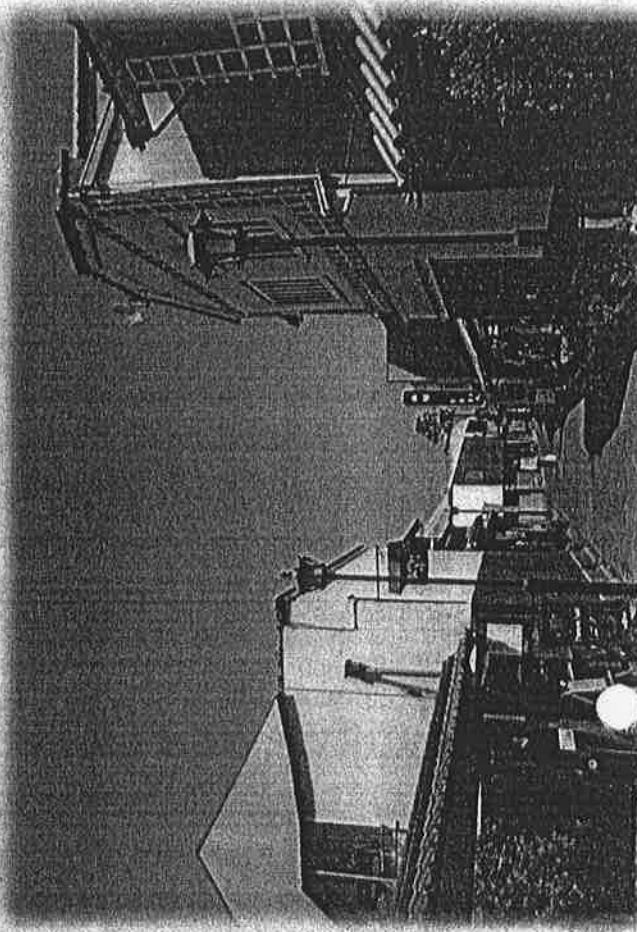
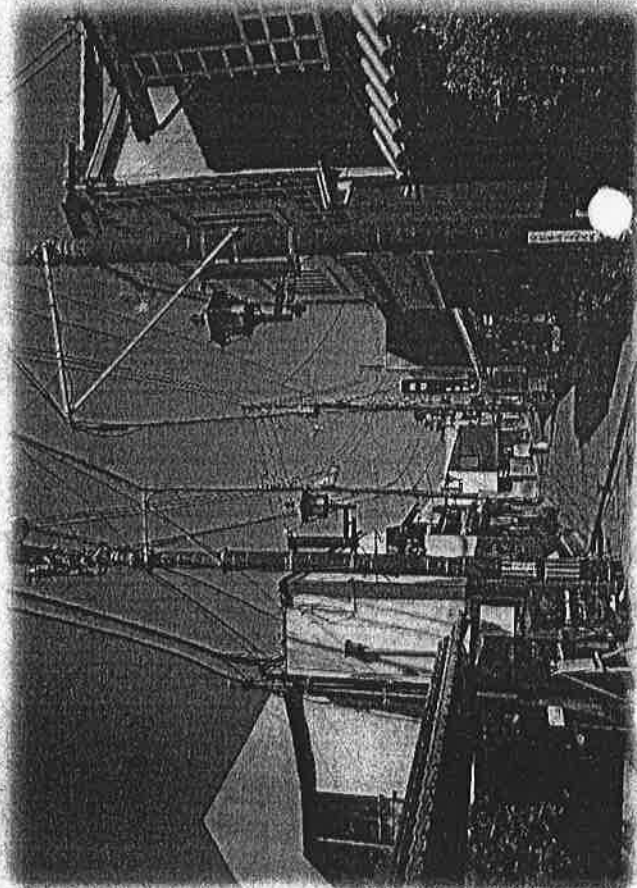


倉敷市

電線類地中化及び路面美装化(景観美の向上)



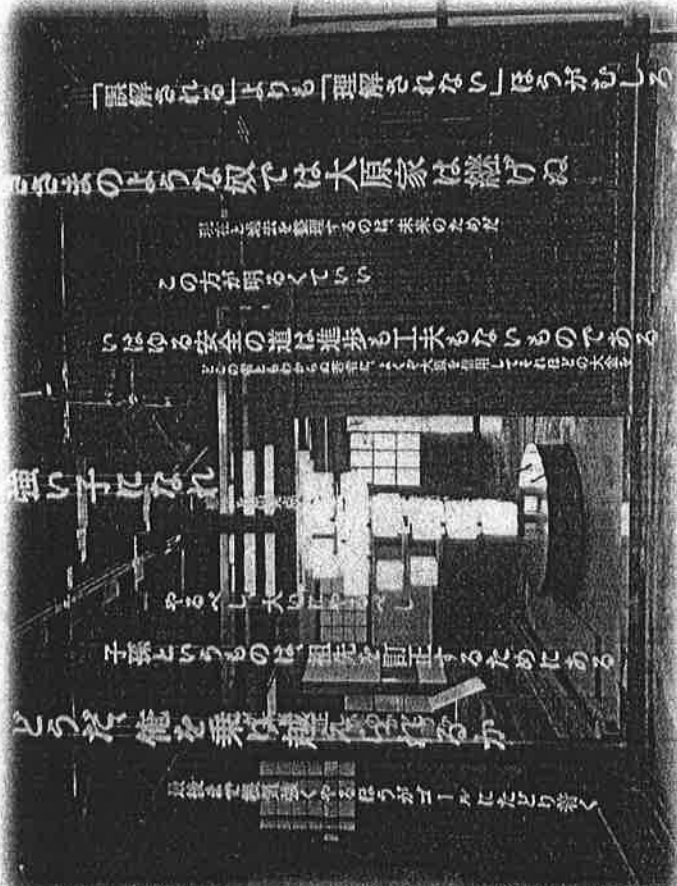
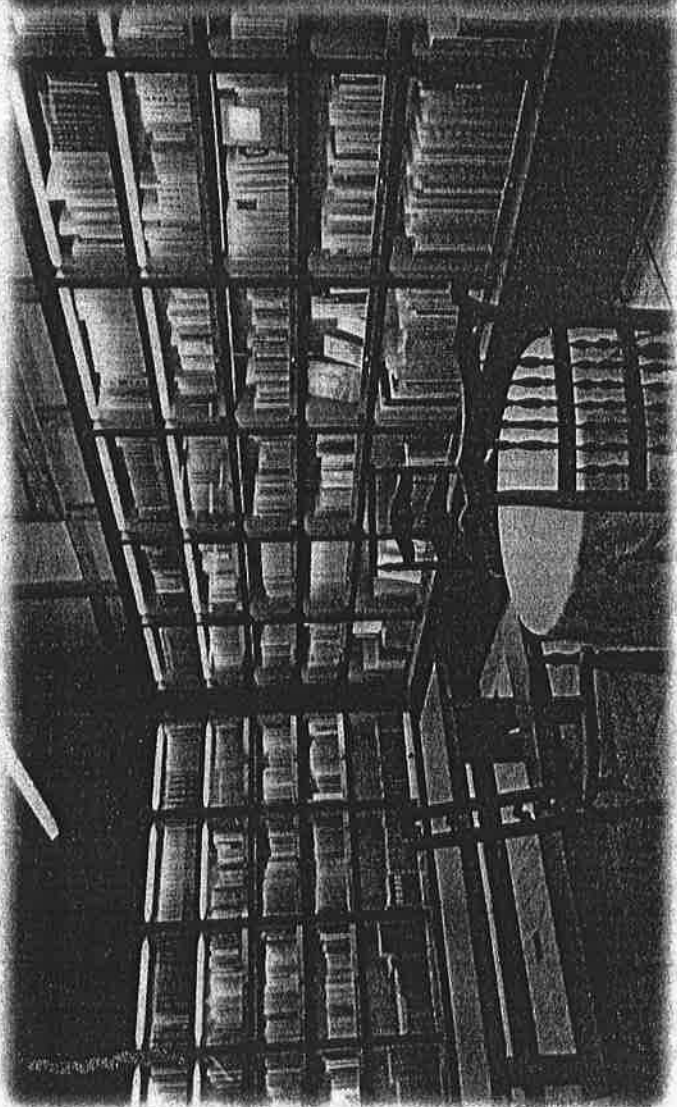
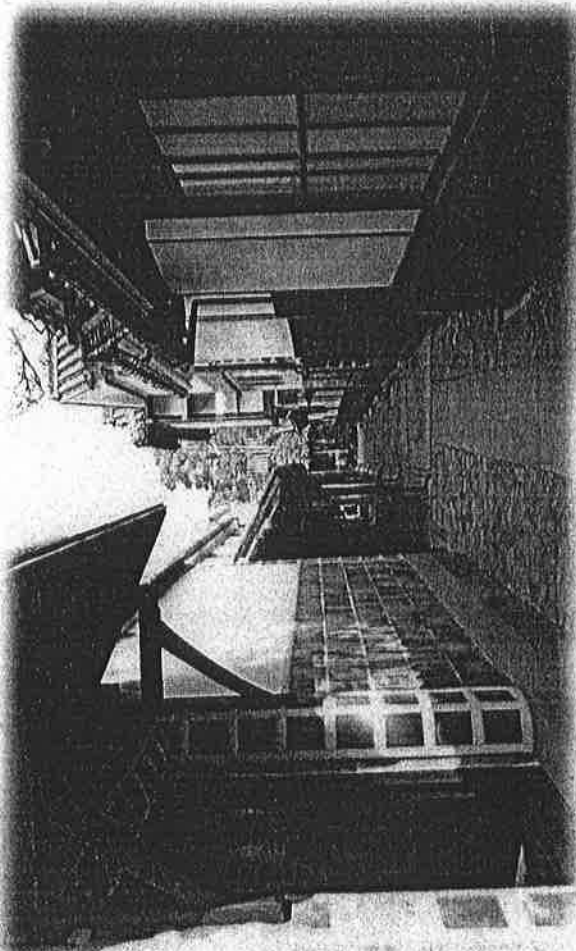
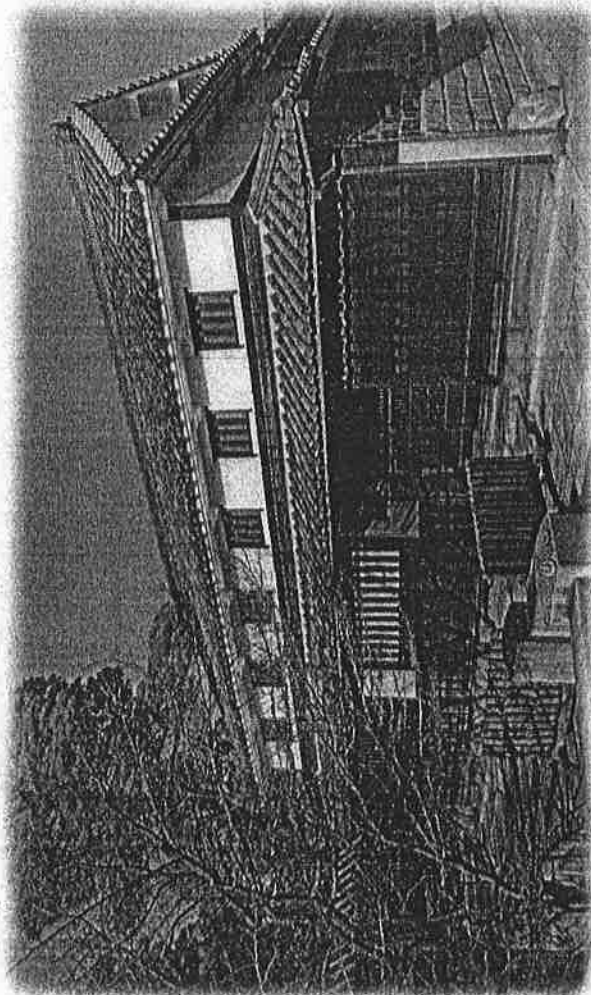
現在行っている工事の景観イメージ





倉敷市

国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み 語りい座 大原本邸



「理解される」よりも「理解されない」ほうが怖い

お茶のようなお奴では大原家は惚けぬ

お茶の姿を整理するのは未来のためだ

この方が明るくていら

いはゆる安全の道は進歩も一寸もなされるのでもない

お茶の姿はあんなに可愛くも大原家の世にしてみれば大原家

強い子になれ

「お茶」大原家の世

お茶といふのは用だに直上するたためにも

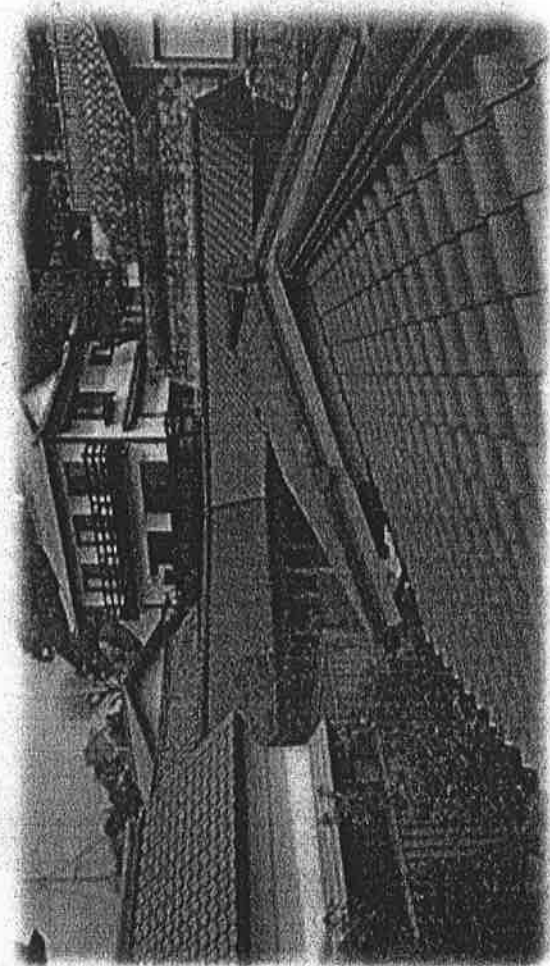
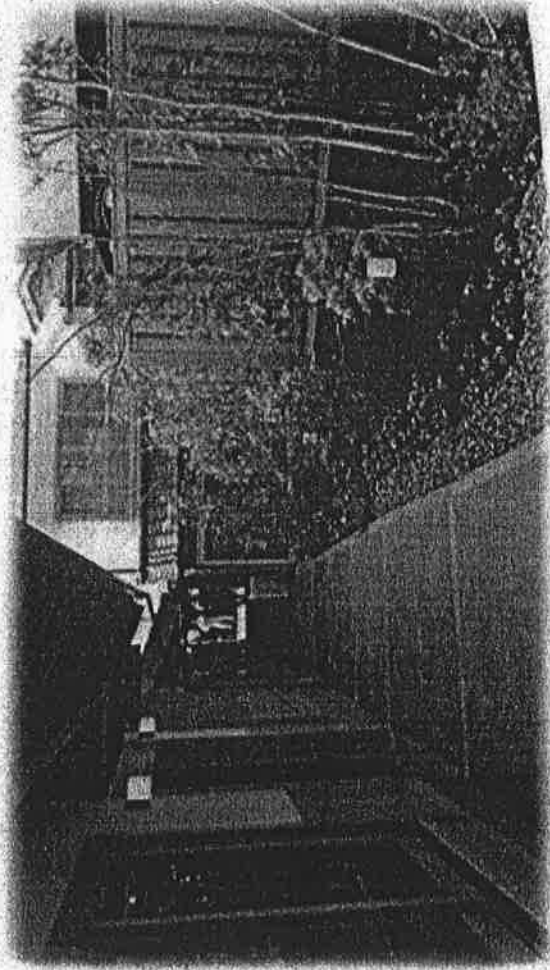
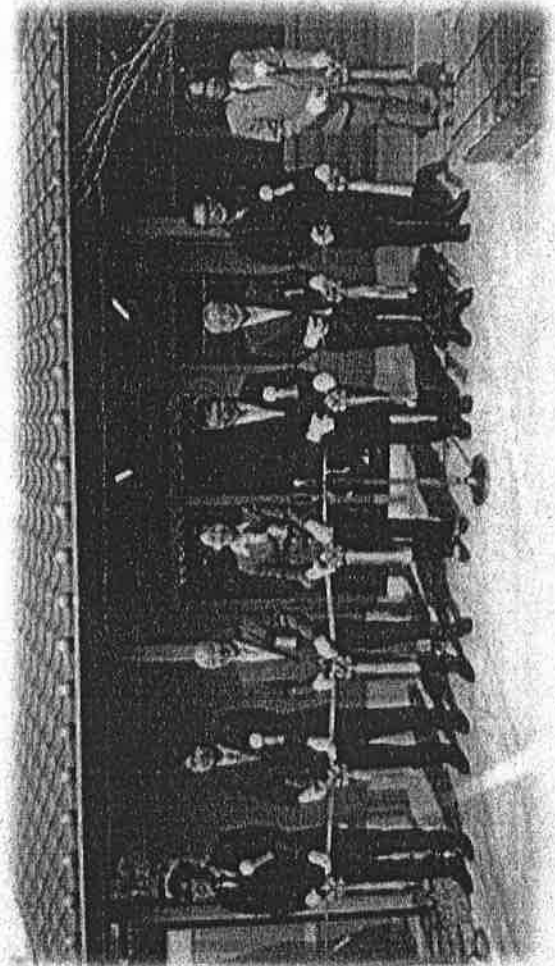
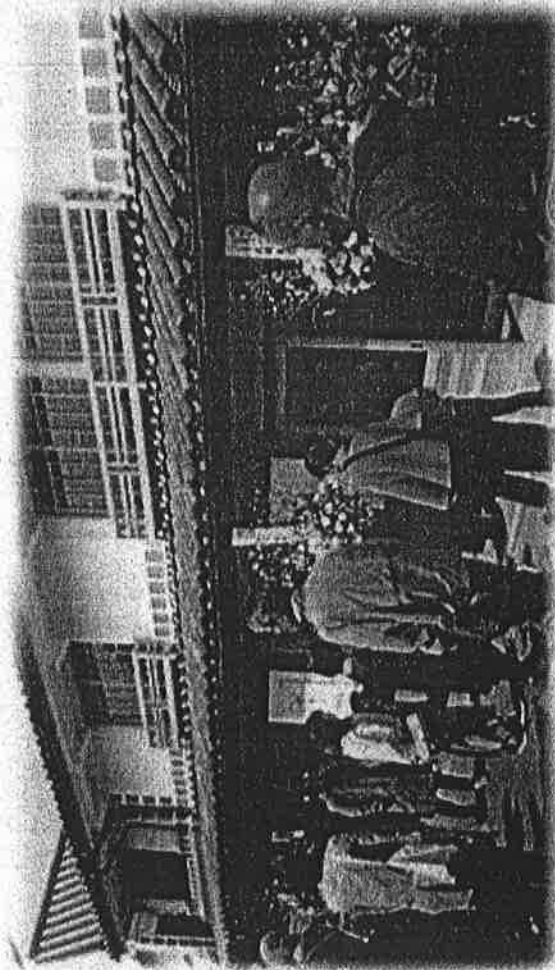
お茶の姿はあんなに可愛くも大原家の世にしてみれば大原家

お茶の姿を整理するのは未来のためだ



倉敷市

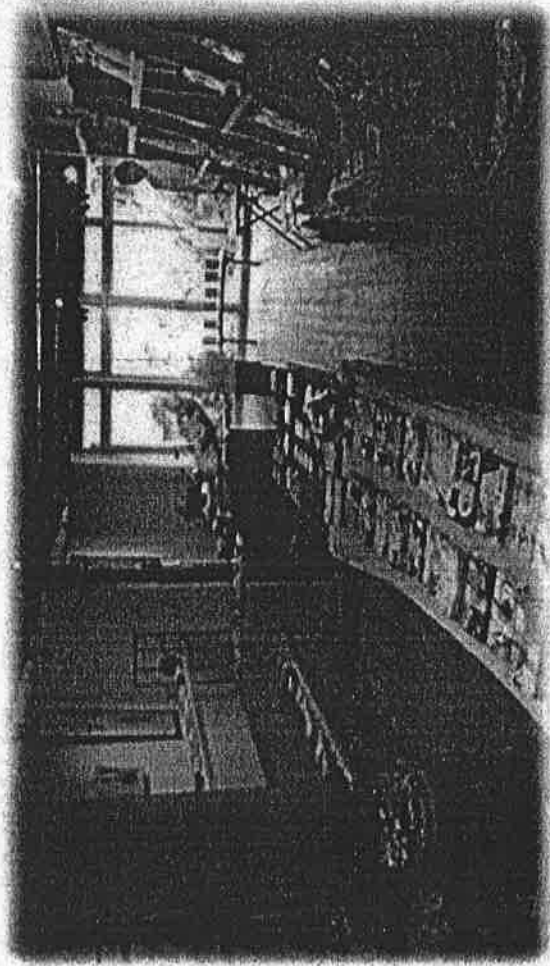
国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み クラシキクラフトワークビレッジ



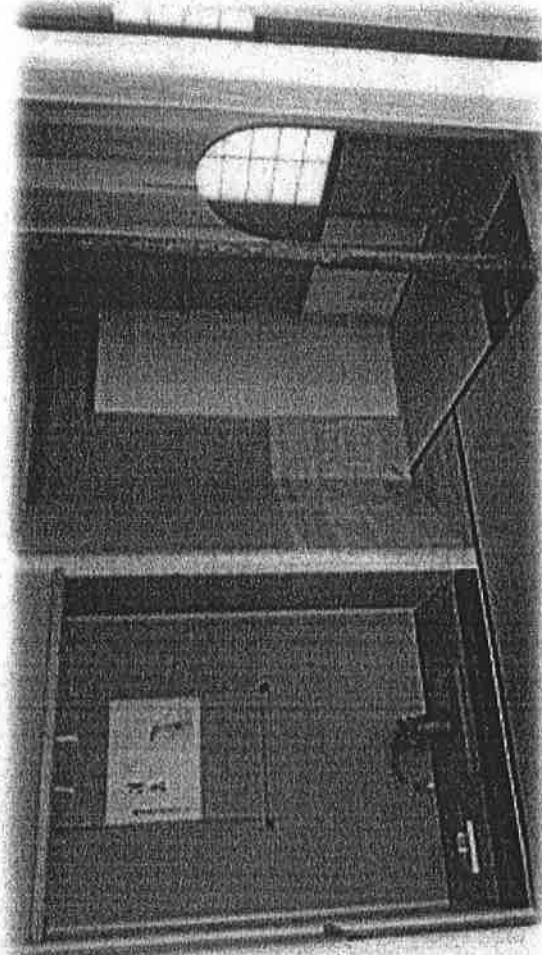
- 縦長の敷地の奥の奥まで活用 6つのテナント全てが体験空間(工房, 茶室)を完備
- 初日から外国人が多数来店し、TV取材等に「こういう施設に來たかった」とコメント



国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み
クラシキクラフトワークビレッジ



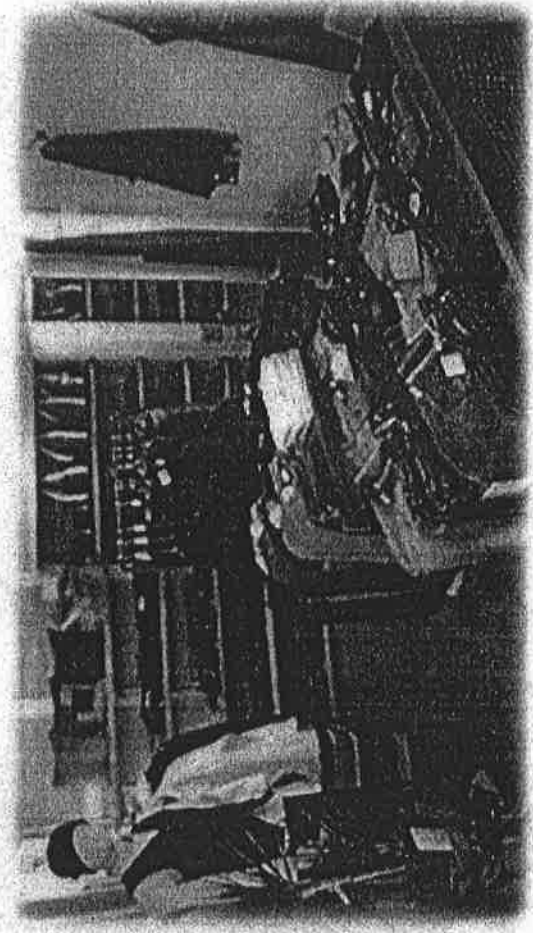
Gocha(ゴチャ)：器と手ぬぐい



VOMN(ヴォン)茶室、ギャラリーアール



aun(あうん)：ガラスアート

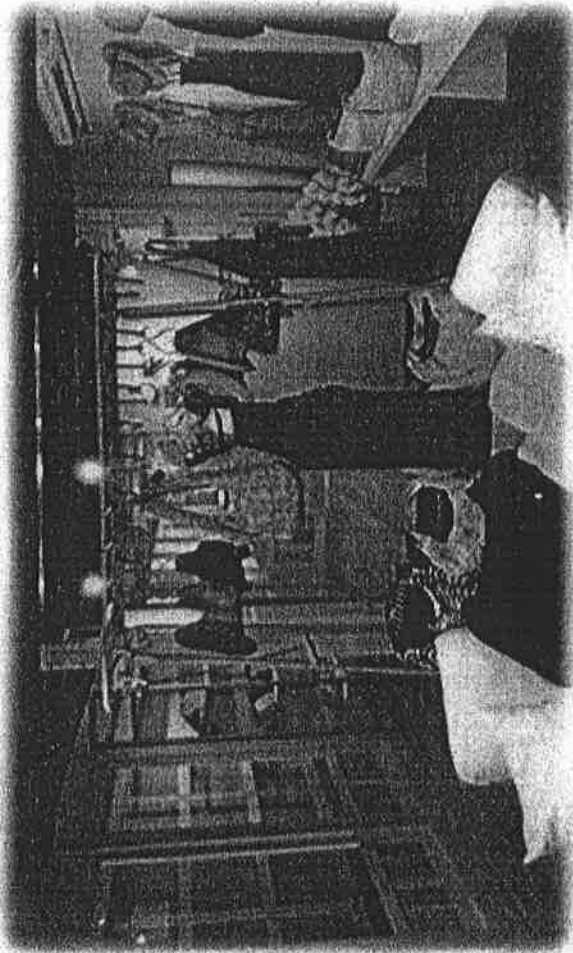


Blue Trick：デニム雑貨



倉敷市

国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み クラシキクラフトワークベレッジ



CRAFT WORK
帆布を使った鞆・雑貨
(上)店舗 (下)工房



aun工房
ガラス細工の製作



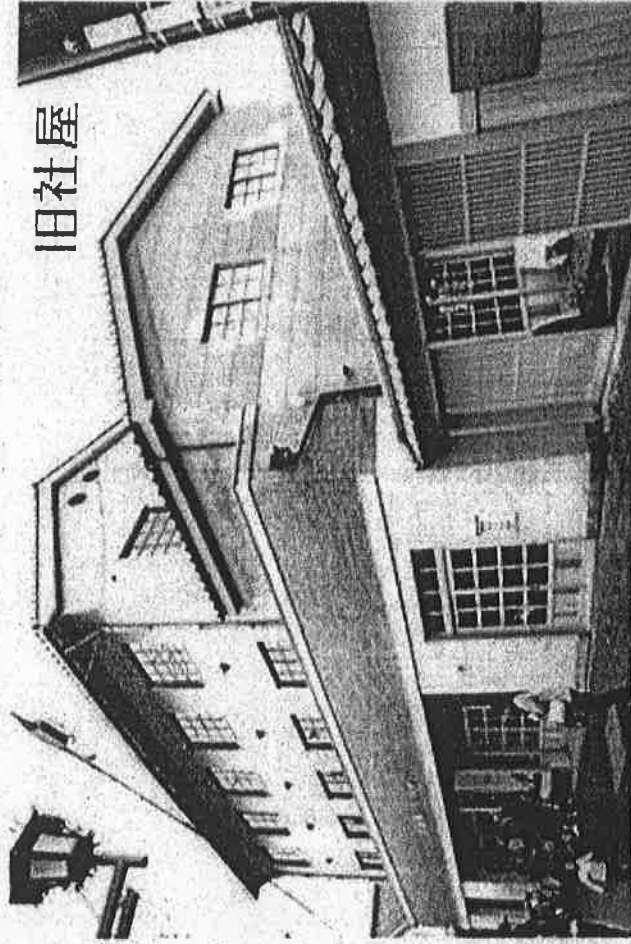
eritto store
襟立制帽の新店舗
(上)店舗 (下)工房



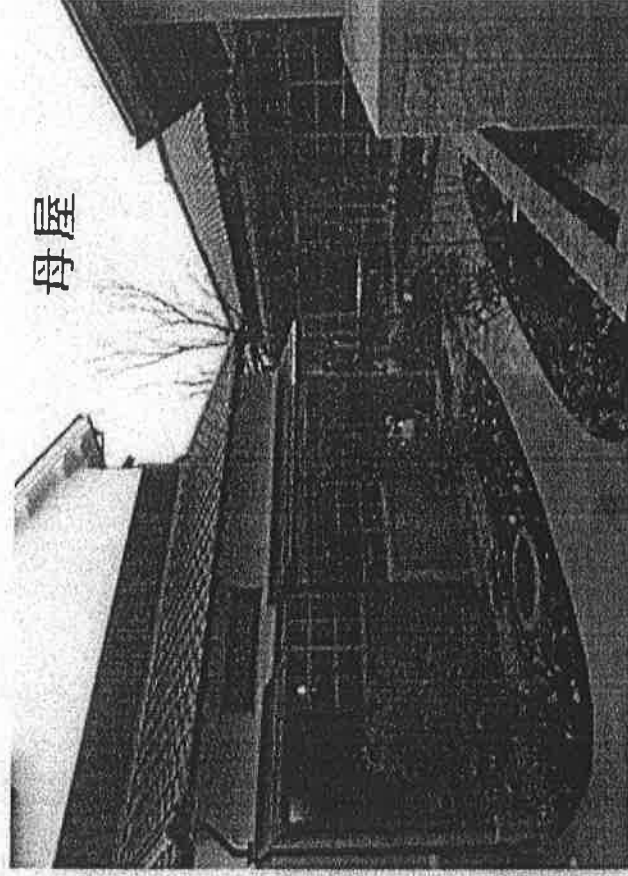
倉敷市

国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み

林源十郎商店：倉敷・高梁川流域の逸品を取り揃えた物販店



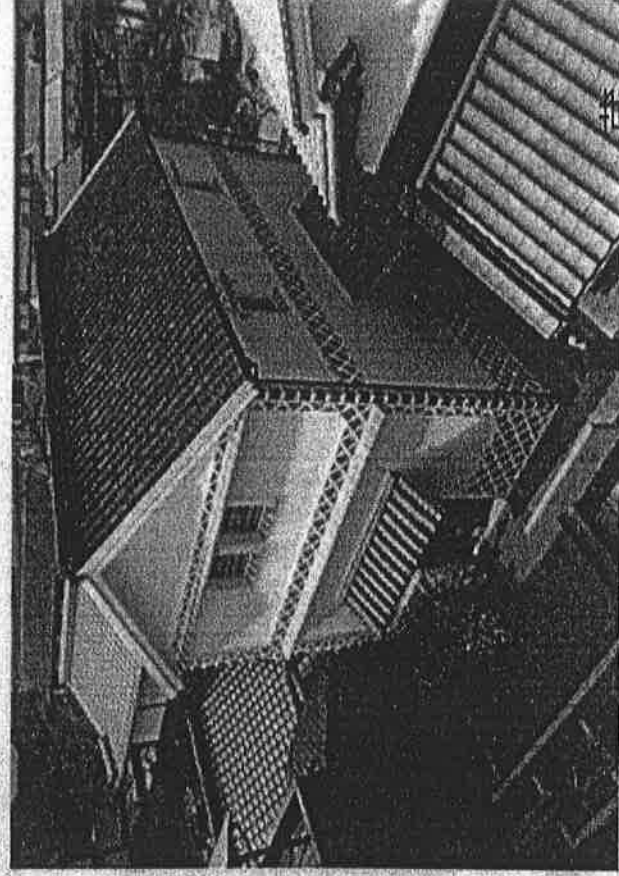
旧社屋



母屋



母屋



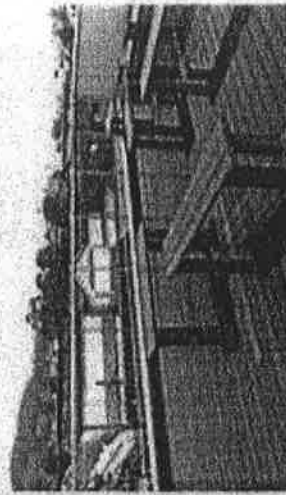
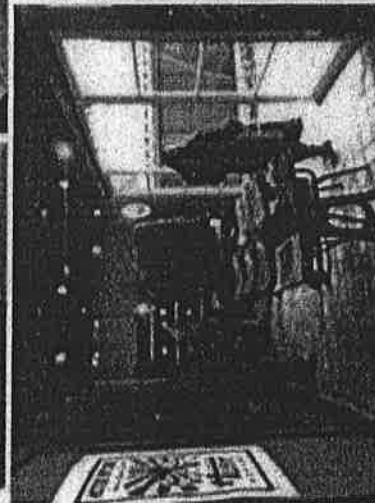
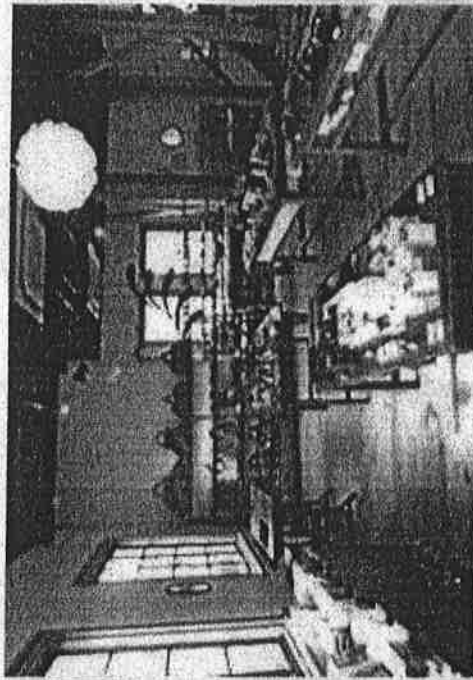
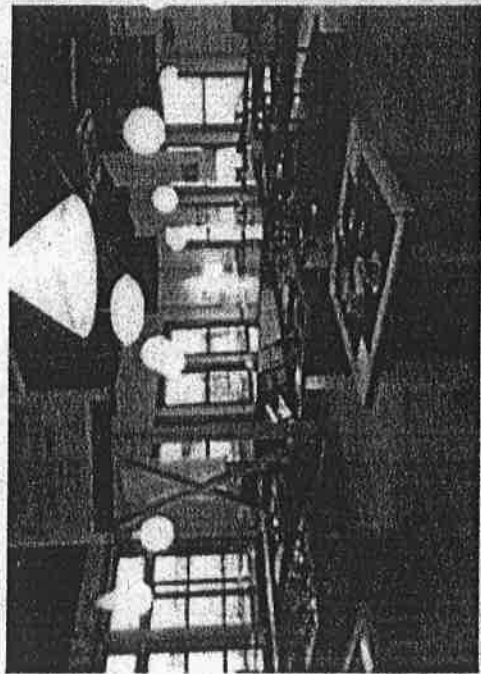
蔵



倉敷市

国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み

林源十郎商店：倉敷・高梁川流域の逸品を取り揃えた物販店

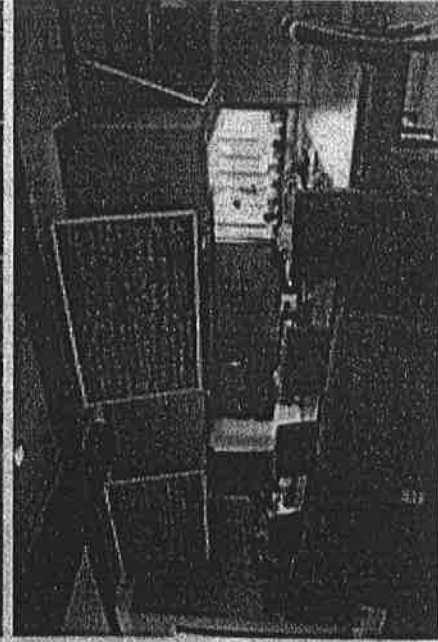
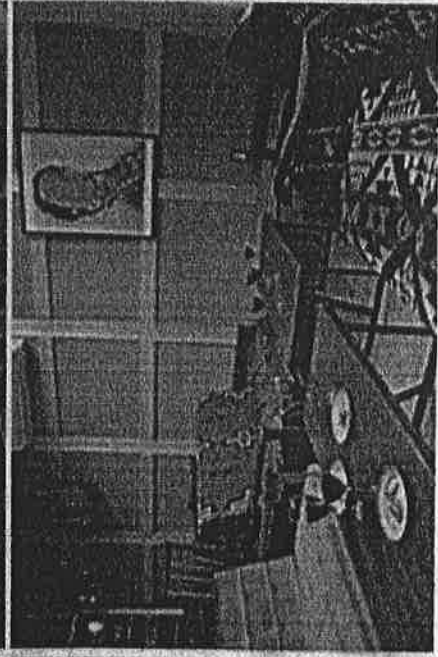
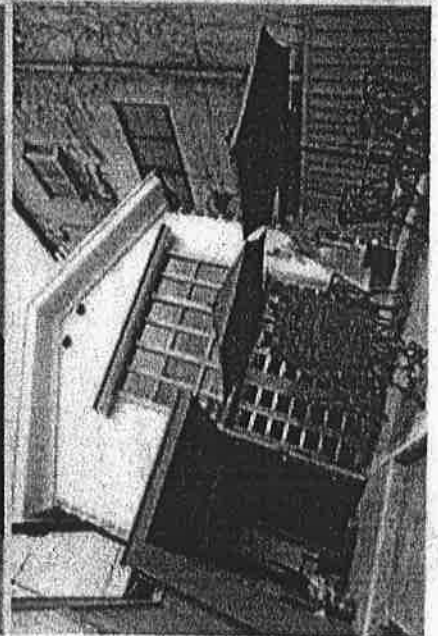
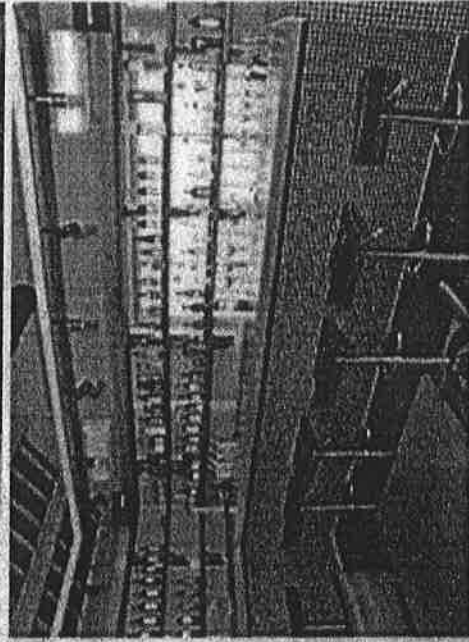
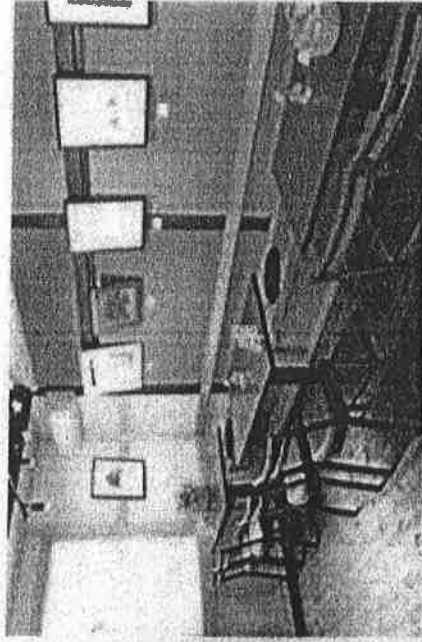
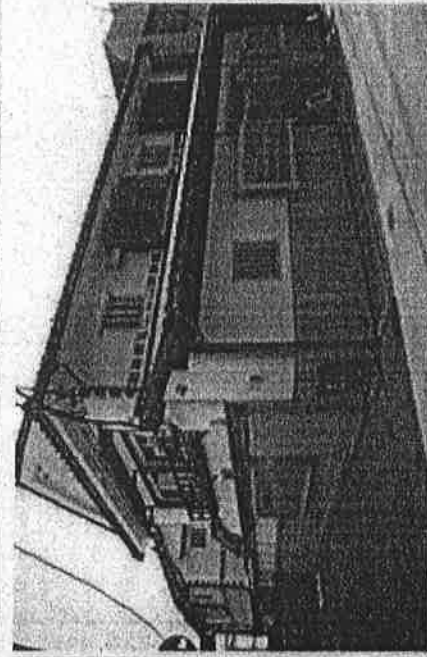
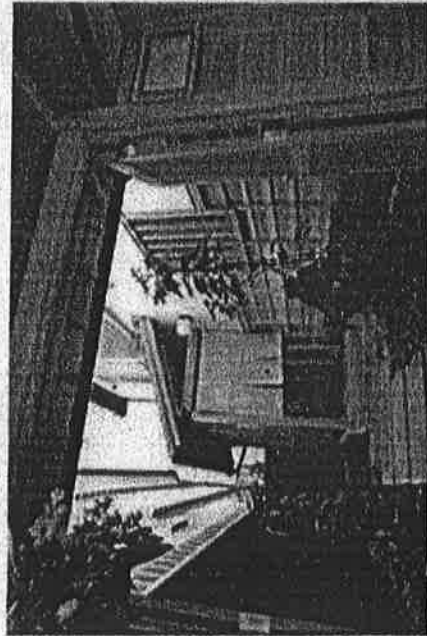




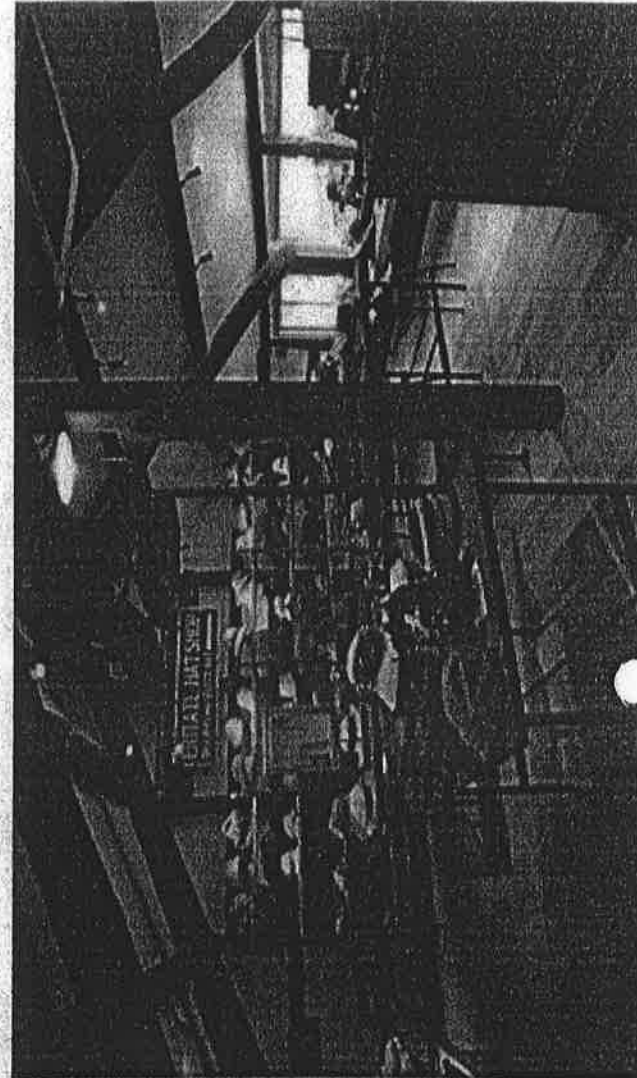
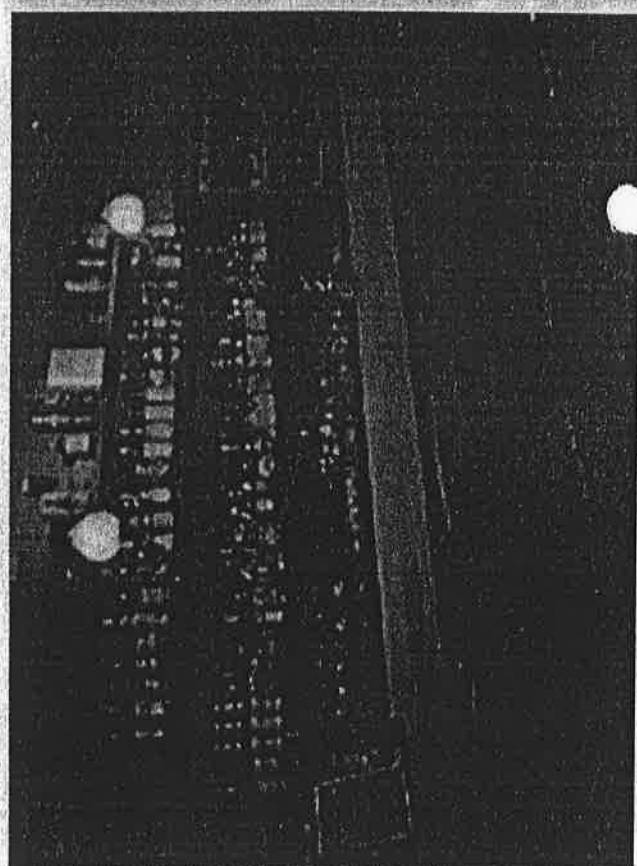
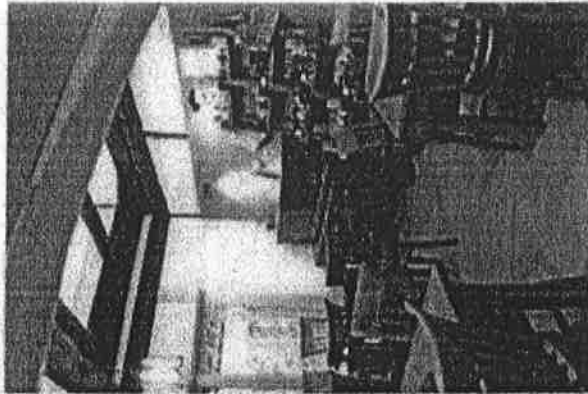
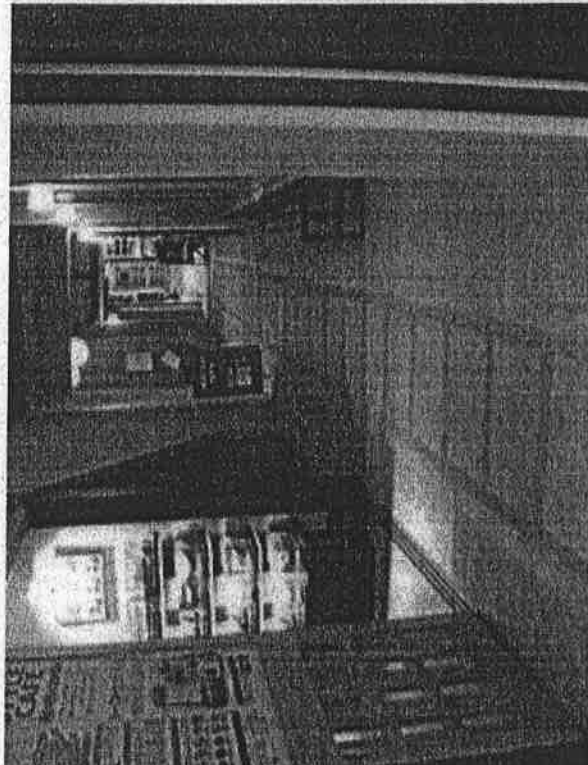
倉敷市

国庫補助金と倉敷市補助金を活用した取り組み

奈良萬の小路：高梁川流域の食材を活用した食の広場



成功事例に触発された後続事業 クラシキ庭苑

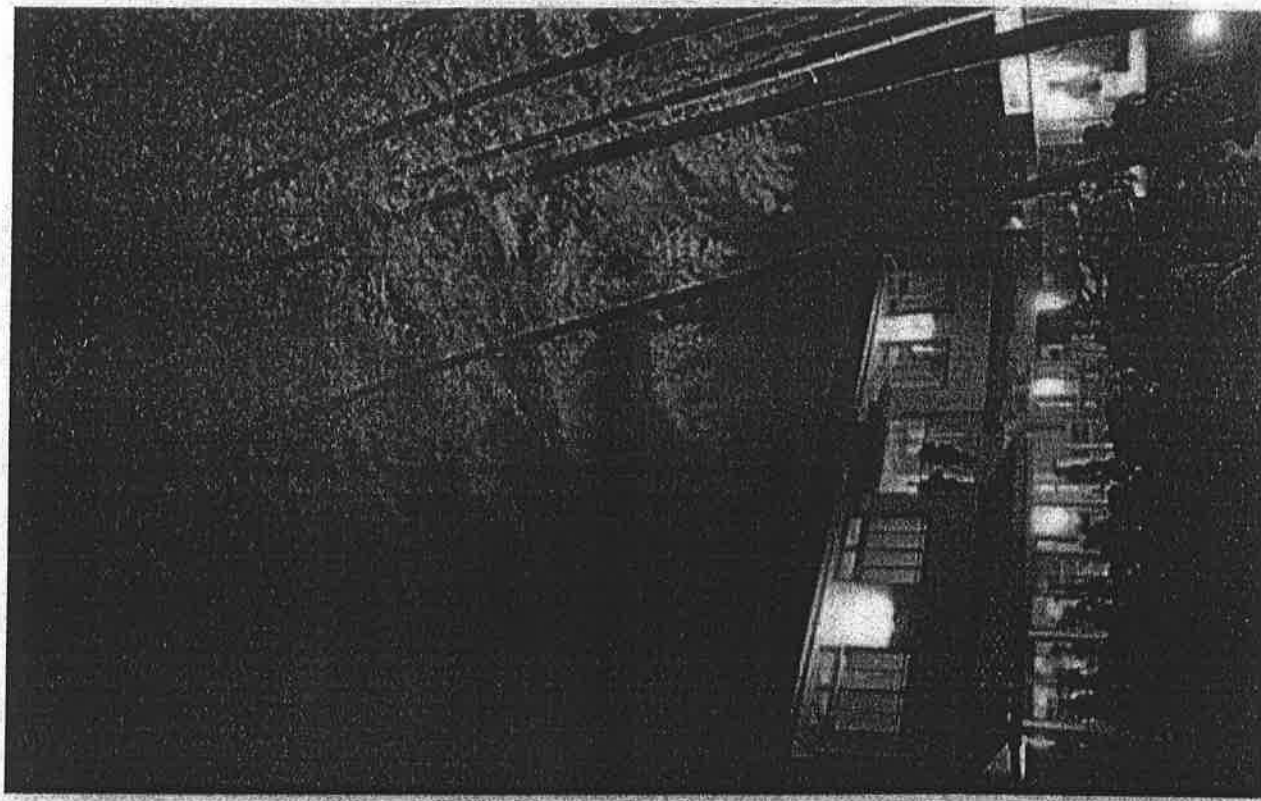
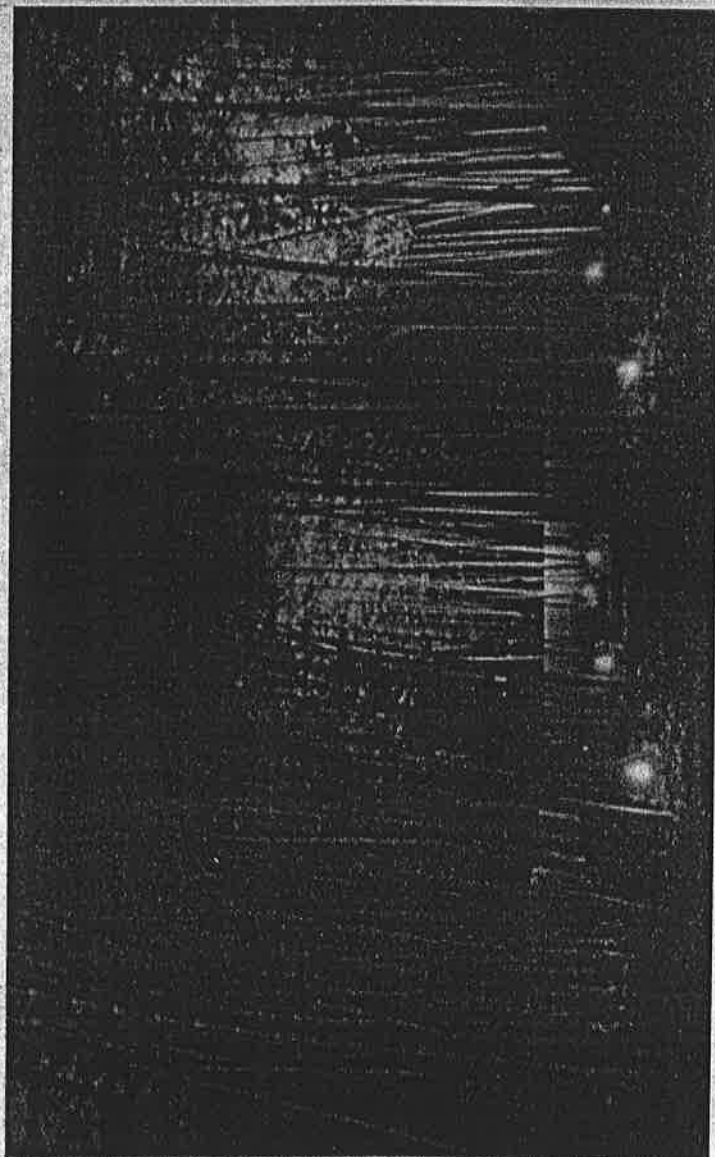
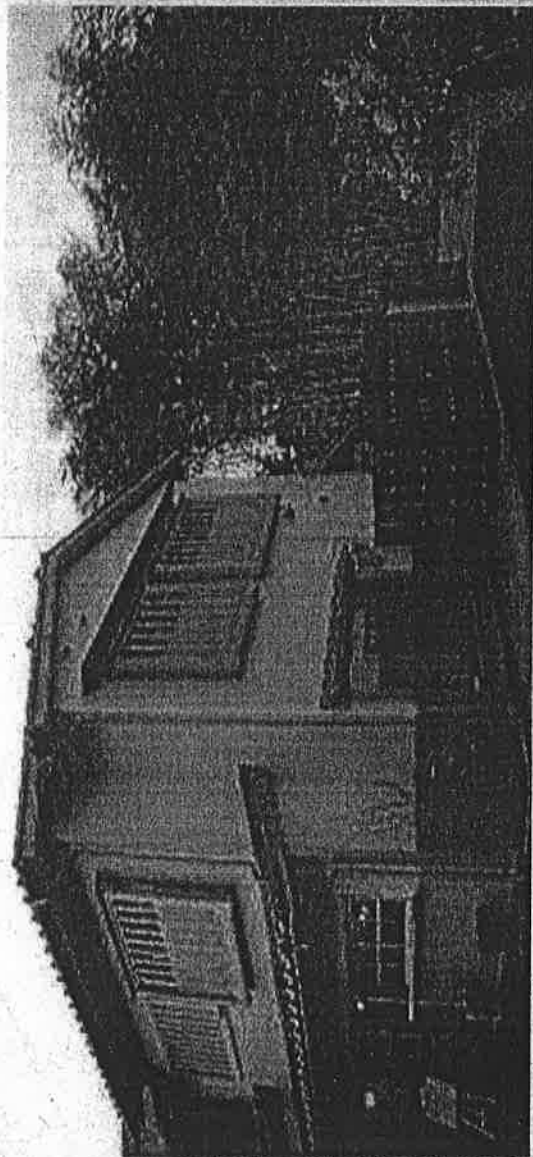




倉敷市

成功事例に触発された後続事業

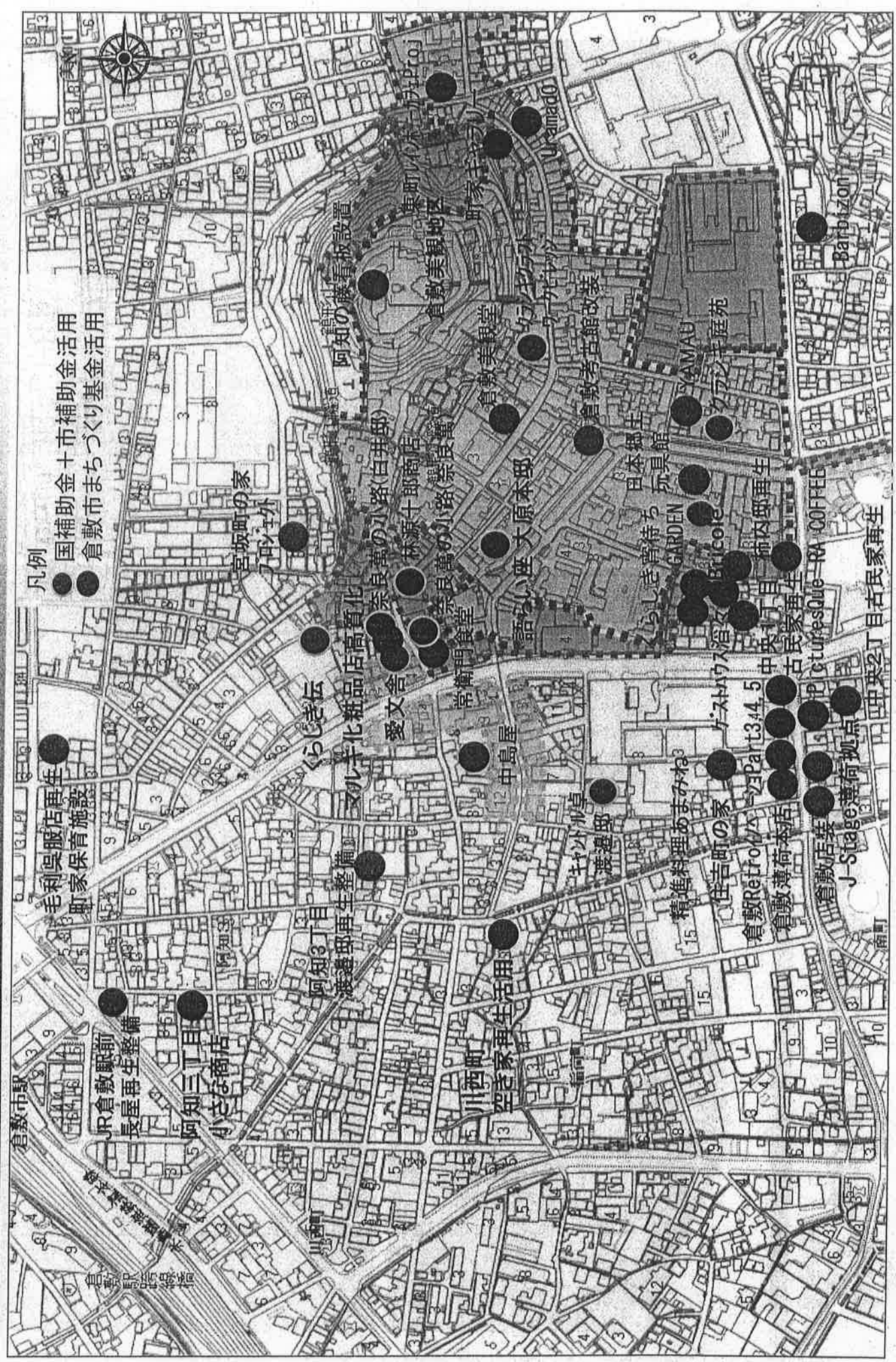
くらしき宵待ちGARDEN)



(平成23年度～平成30年度)



倉敷市中心市街地における町家・古民家リノベーション



中核市サミット 2020 in 倉敷 A-0071

高知市議会

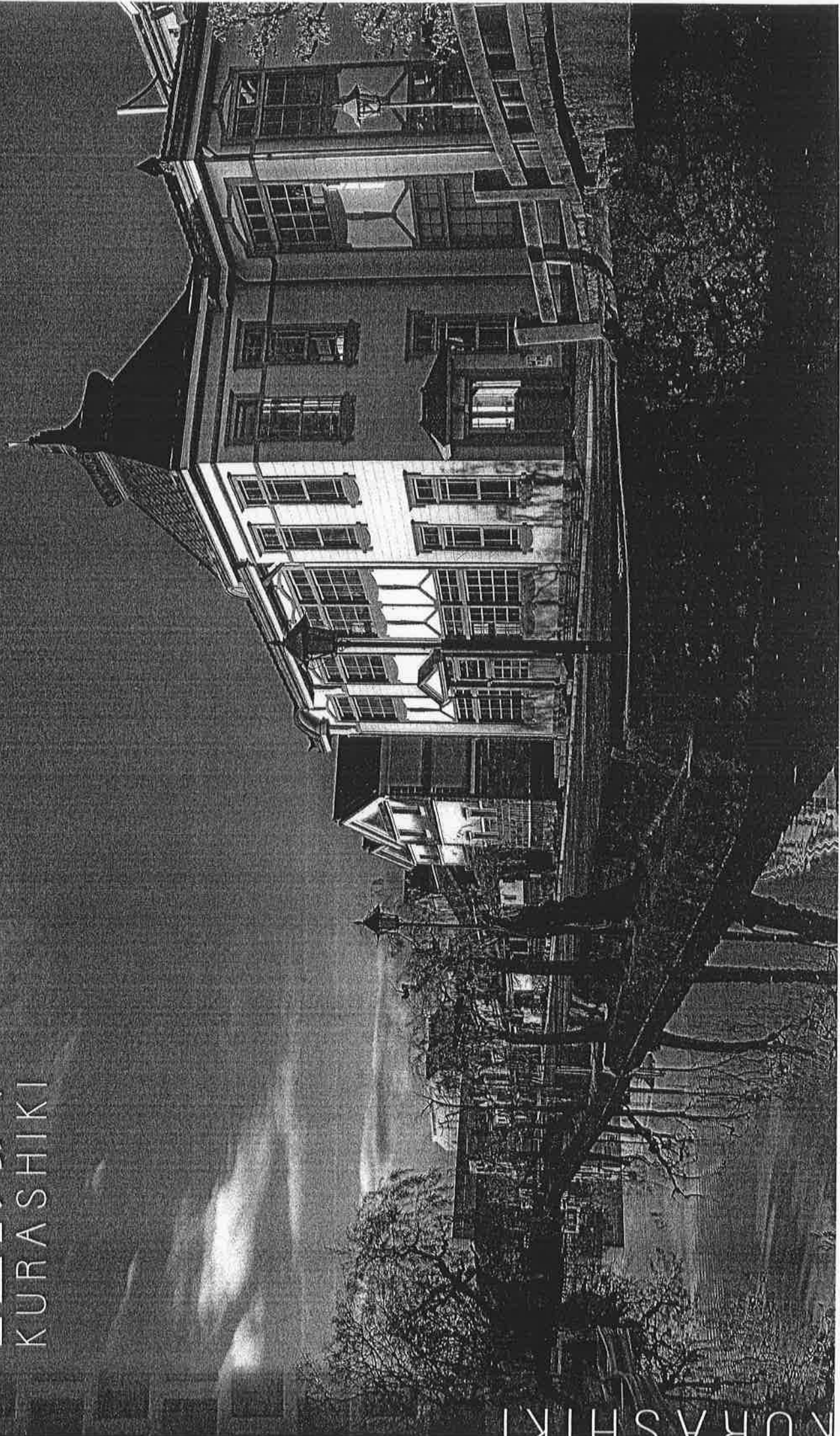
横山 公大



A-0071

パネルディス カッション	コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり	
行政視察	倉敷美観地区コース	1班
ホテル	倉敷アイビースクエア	

會敷 KURASHIKI



KURASHIKI

Kurashiki City

Kurashiki City, bordering the Seto Inland Sea, has a population of approximately 480,000 and is located mid-way between Hiroshima and Osaka. The city has evolved from a town of merchants in the Edo period, to a textile town in the Meiji era, and on to its current form as both an industrial city and a city of culture and tourism. Blessed with the mild climate of the Seto Inland Sea and the rich soil brought by the Takahashi River, agricultural and fishing industries flourish here. Kurashiki City boasts a variety of environs which can be divided into areas including the "Kurashiki Area," which includes the Kurashiki Bikan Historical Area with beautiful white-walled buildings and rows of willow trees; the "Kojima Area," with a beautiful inland sea view of the Setonaikai National Park; the "Mizushima Area," one of Japan's foremost industrial complexes; the "Tamashima Area," a nostalgic townscape which prospered as a port town; the "Funao Area," one of Japan's major production areas of Muscat grapes and sweet peas; and the "Mabi Area," a quiet, beautiful town nestled among bamboo forests. Please enjoy to the fullest the rich diversity of attractions in Kurashiki, "The City of Culture and Tourism."

倉敷市

倉敷市は、瀬戸内海に面し、広島と大阪の中間に位置する人口約48万人の都市です。江戸時代には商人の町、明治時代には繊維産業の町、近頃は工業都市、そして文化観光都市として発展してきました。瀬戸内の穏やかな気候と高梁川がもたらした豊かな大地に恵まれ、農業や漁業も盛んです。白壁の建物や柳並木が美しい歴史地区のある「倉敷エリア」をはじめ、瀬戸内海国立公園の美しい内海風景が広がる「厚島エリア」や日本有数の工業地帯である「水島エリア」、港町として栄えた「スカリジックな町並み」を誇る「玉島エリア」、マスクットやスイートピーの一大生産地である「船穂エリア」、静かで美しい竹林の町「真備エリア」など、倉敷市は地帯によって異なる景観を持っています。「文化観光都市くらしき」の個性豊かな魅力をお楽しみください。

What is "Japan Heritage"

A certification of the Agency for Cultural Affairs recognizing stories that tell our countries culture and traditions through distinctive local historical features and cultures made up of local tangible and intangible cultural assets. Kurashiki City, having three Japan Heritage Stories, has truly become a "Japan Heritage Town."

日本遺産とは

日本各地の歴史的魅力や特色につながる文化や伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定するもので、有形・無形の様々な地域の文化財で構成されています。倉敷市は、3つのストーリーが日本遺産として認定されており、まさに「日本遺産のまち」となっています。

For more information about Kurashiki's Japan Heritage:

倉敷市の日本遺産に関する情報はこちらから

日本遺産 倉敷

検索

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kura-story/>

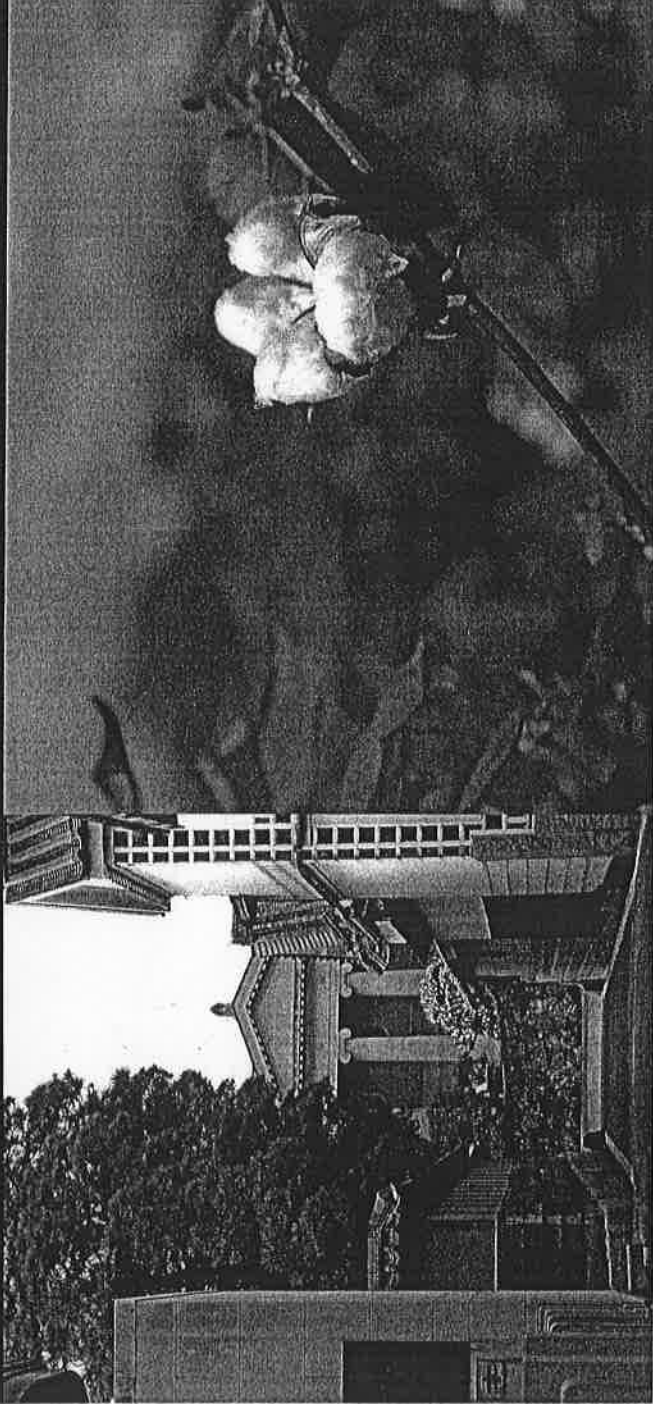


Kurashiki, the town with a Japan Heritage Story

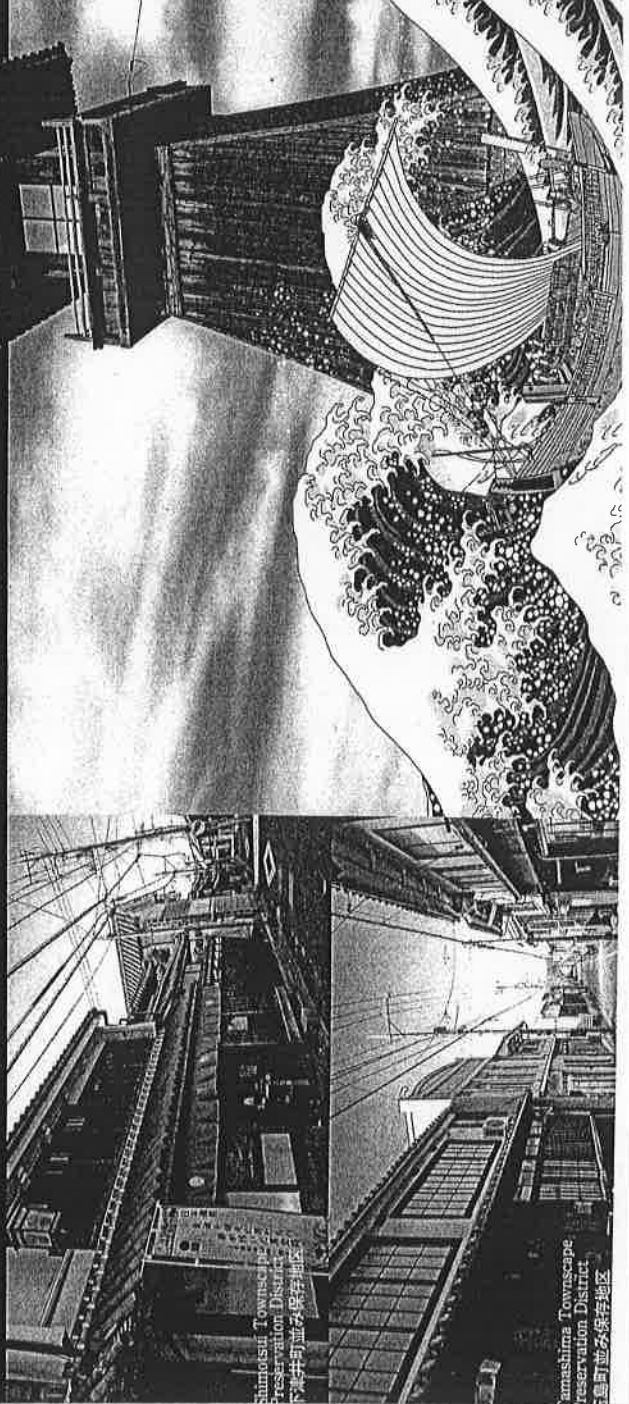
日本遺産のまち 倉敷市



A Kurashiki story beginning with a single cotton flower
 ~ the textile town where Japan and the West are woven together ~
 一輪の綿花から始まる倉敷物語 ~和と洋が織りなす繊維のまち~

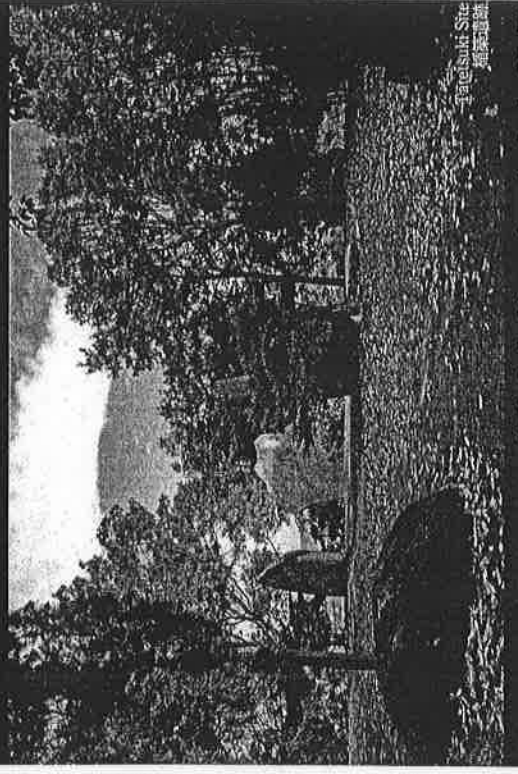


A different world entwined with the dreams of men who overcame the stormy seas
 ~ Ports of call for kitamaebune ships / shipowners' village ~
 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ~北前船寄港地・船主集落~



Shimotsuki Townscape Preservation District
 下島町並み保存地区
 Yamashima Townscape Preservation District
 山崎町並み保存地区

Okayama, Birthplace of the legend of Momotaro
 ~ A tale of ogre conquest handed down through ancient Kibi heritage ~
 「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま
 ~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~



Yatai-Okusasa Burial Mound
 前田大若古墳
 Utsunohi Site
 鬼塚遺跡

* The details of these stories are introduced on P33, P34
 ※33・34ページにストーリーの詳細を紹介しています。

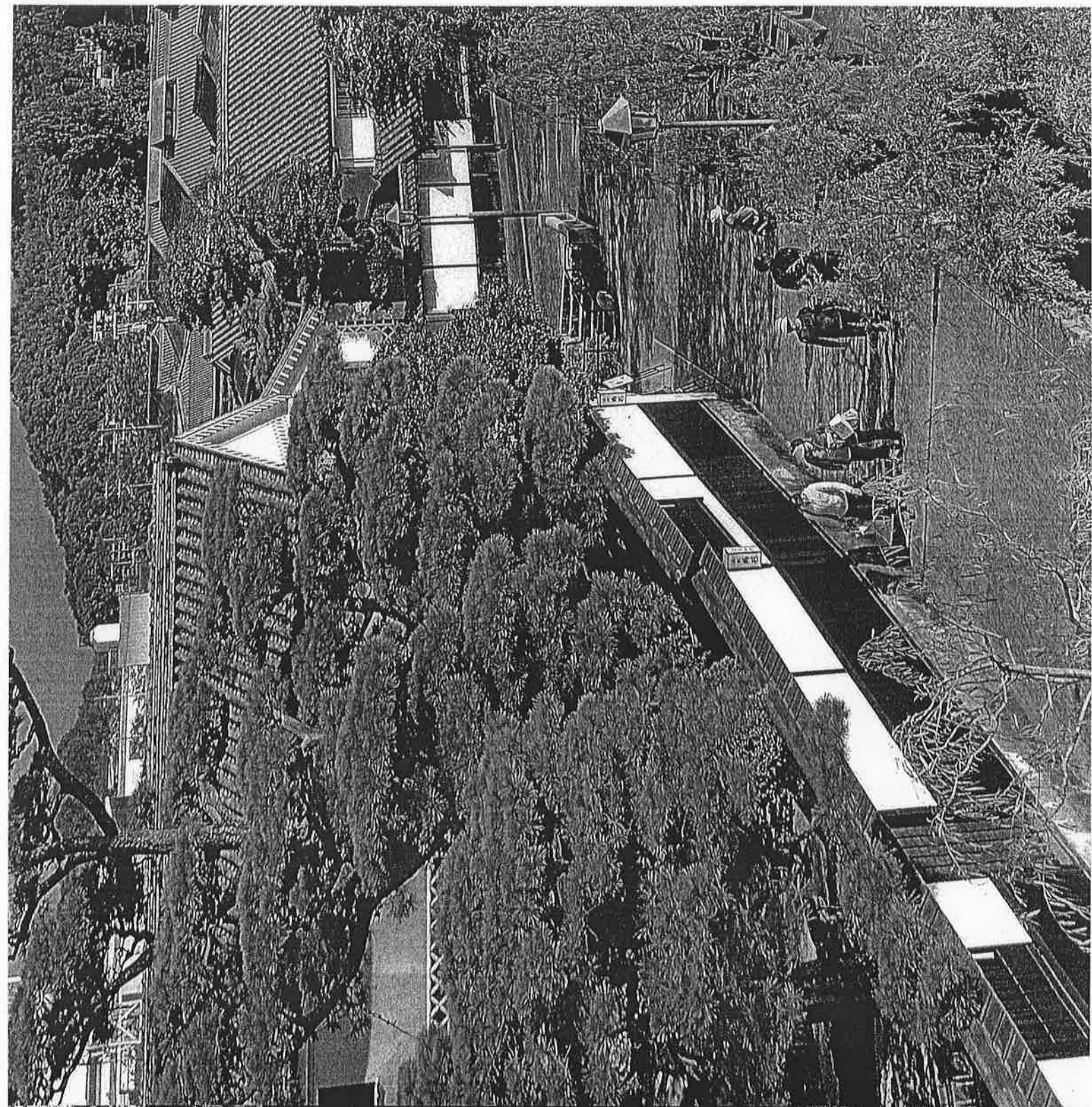
Kurashiki Bikan Historical Area

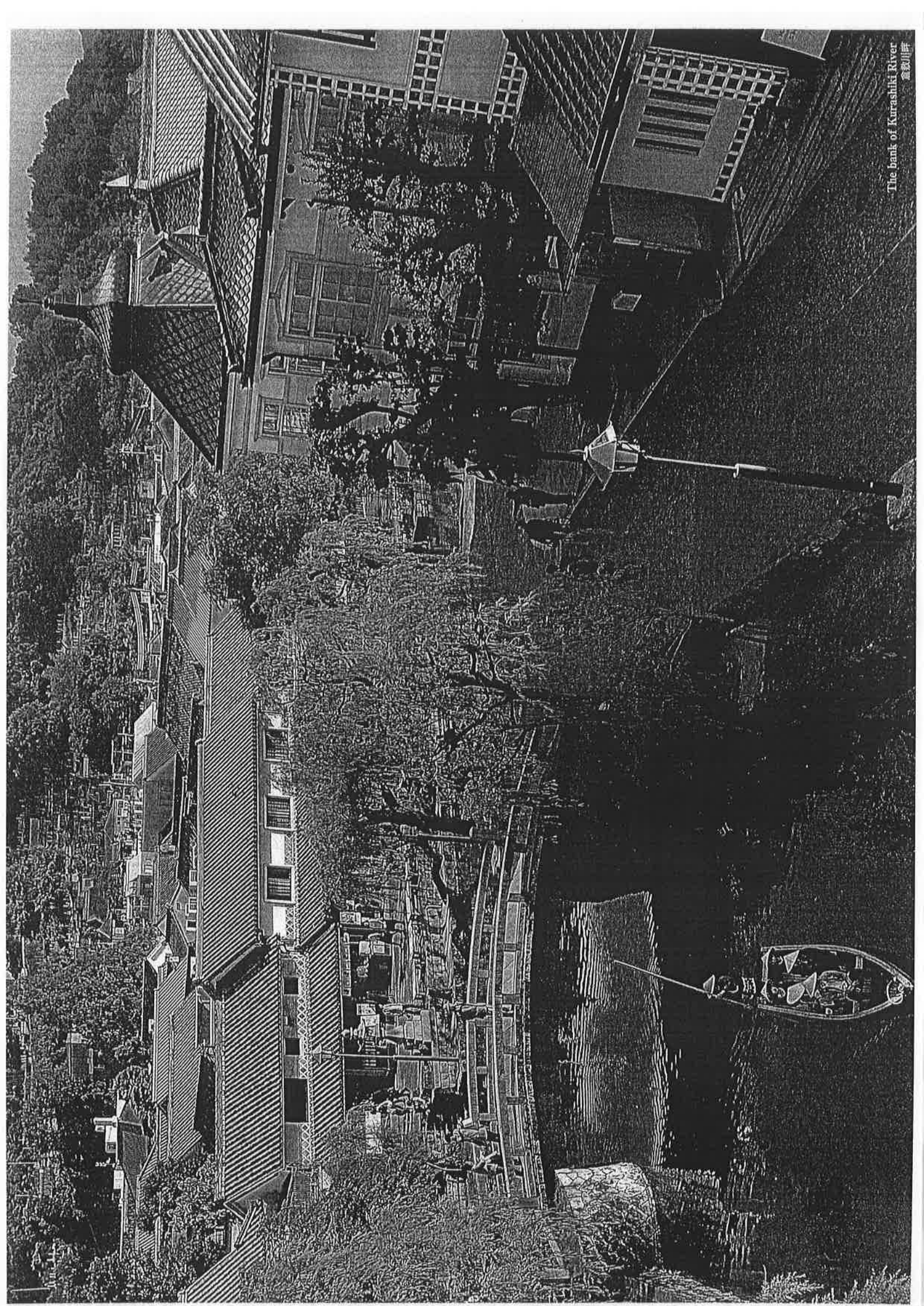
In the Edo period, Kurashiki became a "zenryo" land under the shogunate's direct control, and was an important transportation hub for many years. The Kurashiki River was used as a canal. Many merchants established businesses and built storehouses in the river port. The Kurashiki riverside prospered as a commercial center for goods and commodities gathered in the Takahashi River Basin. In 1979 the whole area was designated as one of the nation's "Important Preservation Districts for Groups of Traditional Buildings." The beautiful, traditional Japanese townscape continues to move visitors even today. The *namako-kabe* (walls with square tiles and raised plaster) of white-walled storehouses, rows of merchant houses with lattice windows and willow trees, and rows of traditional buildings built in the Edo period and Meiji era, all convey the liveliness of past times.

倉敷美観地区

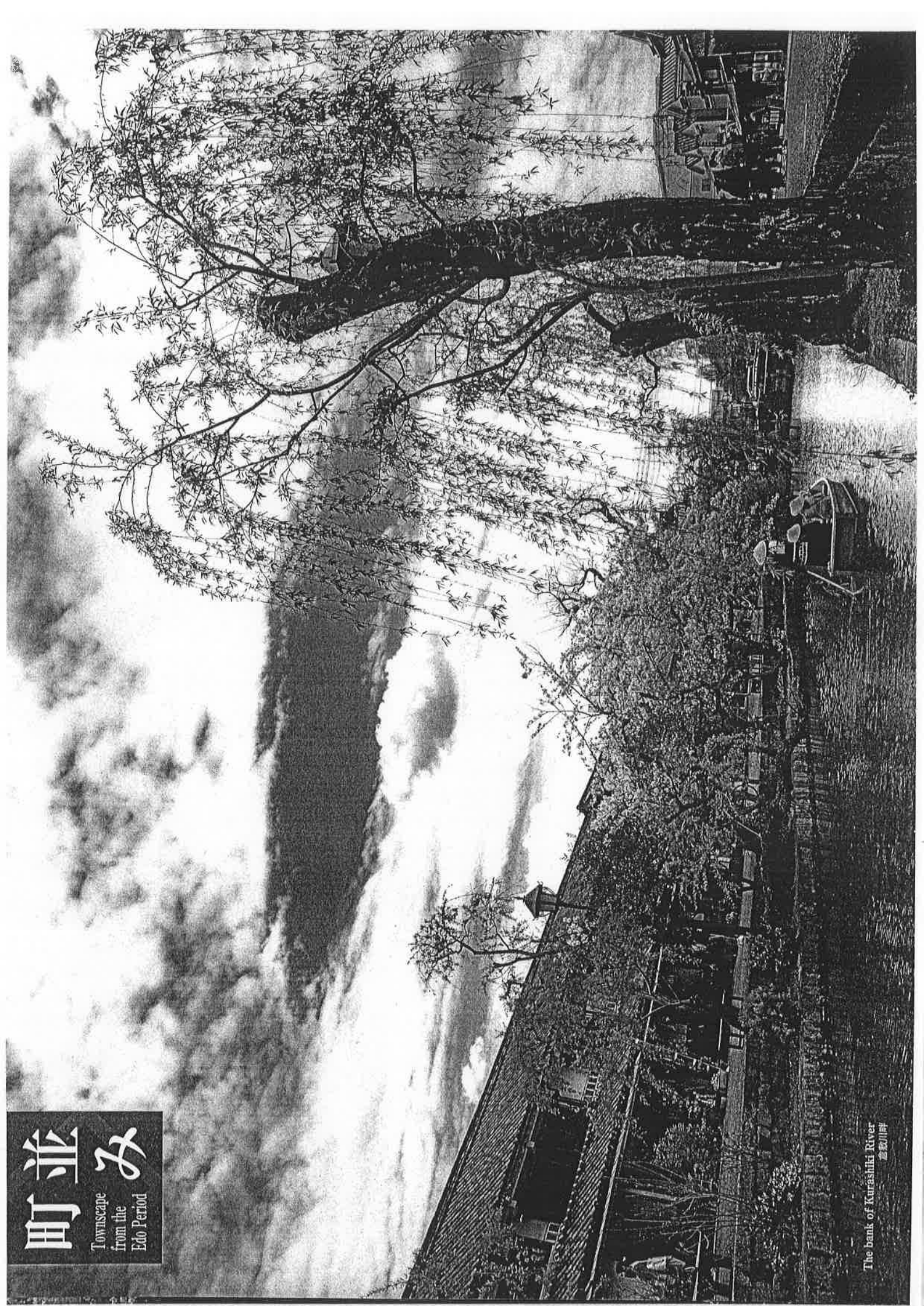
江戸時代に幕府直轄地「天領」となった倉敷は、がけより交通の要衝であり、倉敷川は運河として利用されてきました。その河港には多くの商人が集まり、蔵を建て、この倉敷川畔はやがて高梁川流域の物資が集積する商業の中心として振えしました。この周辺一帯は、1979(昭和54)年に国から「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、情緒豊かな日本の伝統的な美しい町並みが残っています。白壁おり、格子窓がな日本の伝統的な美しい町並みが残っています。江戸・明治時代に造られた伝統的な建物が並ぶさまは往時のにぎわいを感じさせます。

Punting Boat Rides on Kurashiki River
くらしき川舟遊し





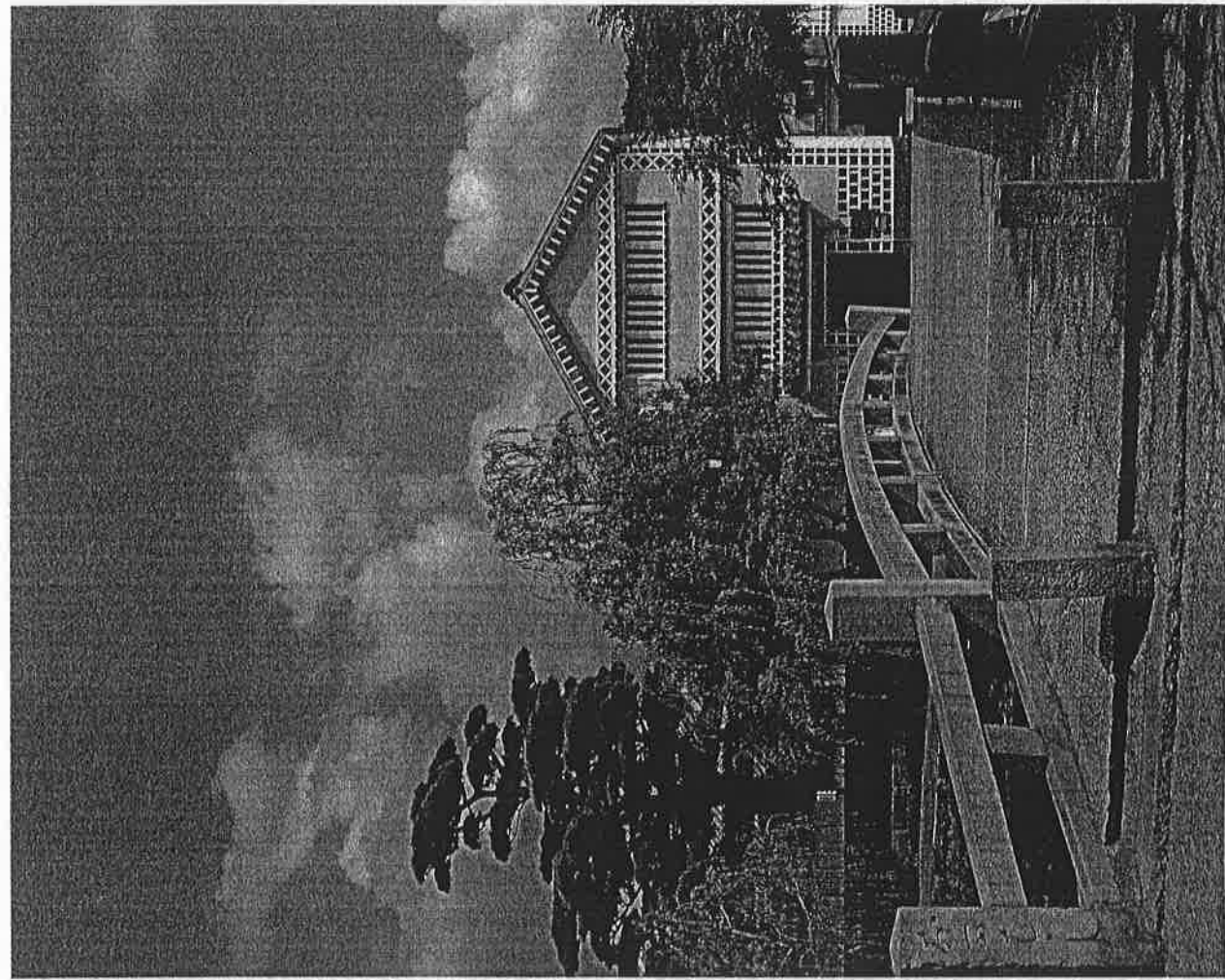
The bank of Kurashiki River
倉敷川岸



町並子

Townscape
from the
Edo Period

The bank of Kurashiki River
倉敷川畔

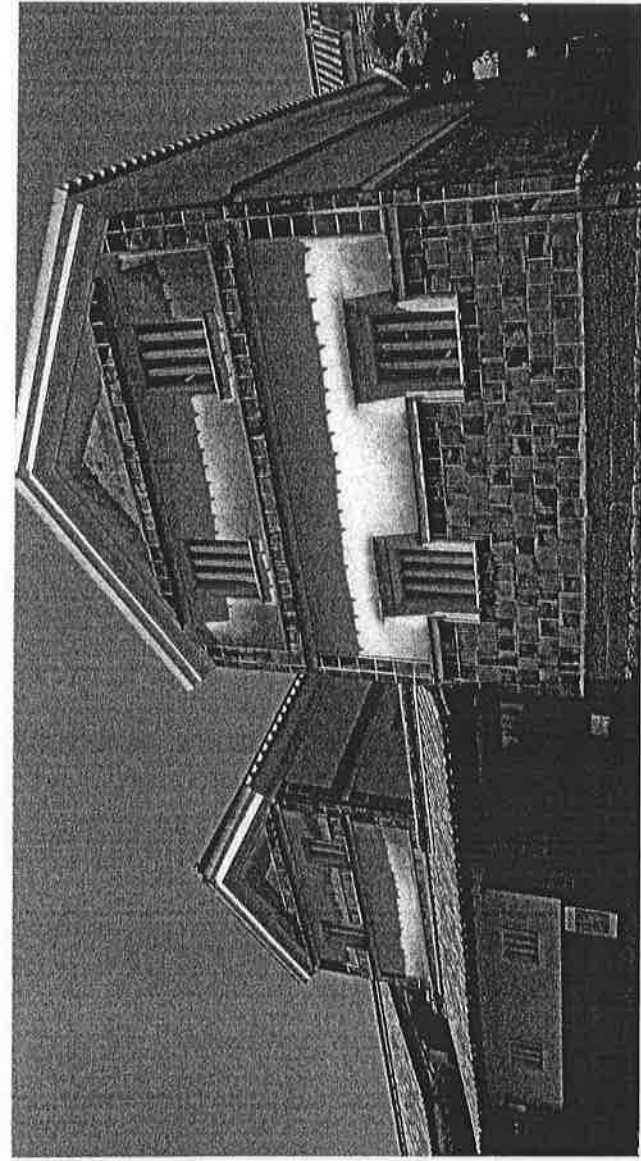


Kurashiki Archaeological Museum

This museum was opened in 1950, in a renovated earth-walled rice granary of the Edo period. The tiles on the outer walls are so beautiful that they have been used for various designs including posters and postage stamps as symbolic of the Kurashiki Bikan Historical Area. The museum exhibits artifacts from the Paleolithic to Medieval periods, which were excavated from the ruins of the Kibi region, an area encompassing present-day Okayama Prefecture.

倉敷考古館

江戸時代の土蔵通りの米蔵を改装し、1950（昭和25）年に開館しました。側面壁の貼り瓦は大変美しく、今では倉敷美観地区を象徴する建物として、ポスターや切手をはじめ、様々なデザインに使用されています。館内には、岡山県を中心とした古備地方の遺跡より発掘された旧石器時代から中世にいたるまでの出土品を展示しています。

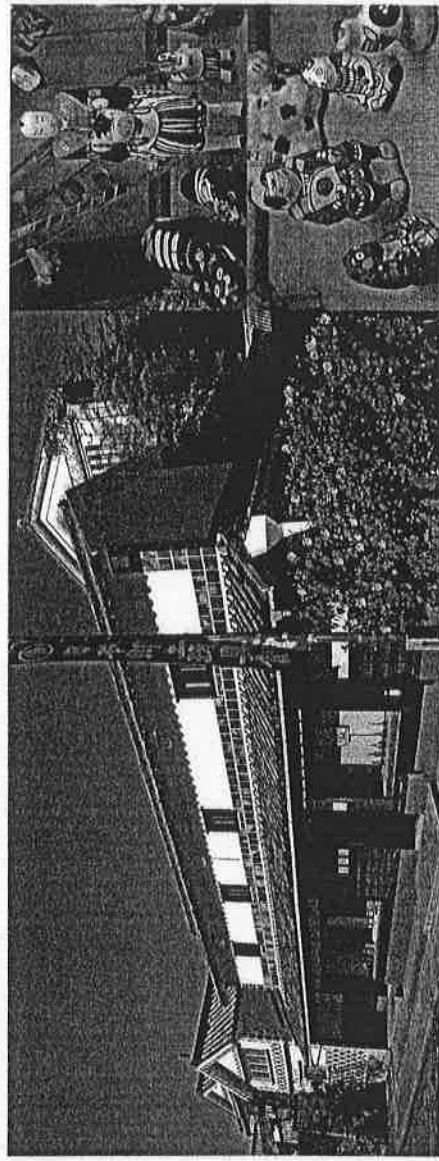


Kurashiki Museum of Folk-Craft

This museum was the second Japanese folk crafts museum in Japan. It opened in 1948, in a renovated rice granary of the late Edo period. The museum owns about 15,000 folk-craft items. Most of which were collected from all over the world and Japan by the first president of this museum Kichinosuke Tonomura. The building, with its beautifully contrasting white walls and black roof tiles was the first old house in the Kurashiki Bikan Historical Area to be repurposed and this led to the preservation of other traditional buildings.

倉敷民藝館

江戸時代後期の米蔵を改装したもので、1948（昭和23）年に日本で二番目の民芸館として開館しました。館内には、初代館長の外村吉之介が、国内はもとより世界各地から収集した約15,000点の民芸品を所蔵しています。白壁と黒の貼り瓦が美しいコントラストを掲げているこの建物は、倉敷美観地区における古民家活用の第一号であり、伝統的建造物保存のきっかけとなりました。



Japanese Toy and Doll Museum

The Japanese Toy and Doll Museum was opened in renovated storehouses of the Edo period in 1967 and exhibits folk-craft toys from all over Japan from the Edo period through to the present. The gallery, shops and cafe are also set up to surround a courtyard.

日本郷土玩具館

江戸時代の蔵を改装して1967（昭和42）年に開館した日本郷土玩具館では、江戸時代から現代にかけて日本各地で作られた郷土色豊かな玩具を展示しています。中庭を囲むようにギャラリーやショップ、カフェも併設されています。

Kurashiki-kan (Tourist Information Office)

Municipality Designated Incorporated City of Kurashiki
This building was built originally as Kurashiki Town Hall in 1917. Due to Kurashiki City's adoption of a municipal system of government in 1928, it was converted to an office and warehouse. The building has been used as the tourist information office "Kurashiki-kan" since 1971. It underwent earthquake strengthening and renovations, reopening in February 2020.

倉敷館 市街地歴史文化館

1917(大正6)年に倉敷町役場として建てられたこの建物は、1928(昭和3)年の市制施行により市役所機能が移転した後は、事務所や倉庫などに転用されました。その後、1971(昭和46)年から現在に至るまで「倉敷館」の名で観光案内所として利用されています。2020(令和2)年2月、耐震化工事等を経てリニューアルオープンしました。

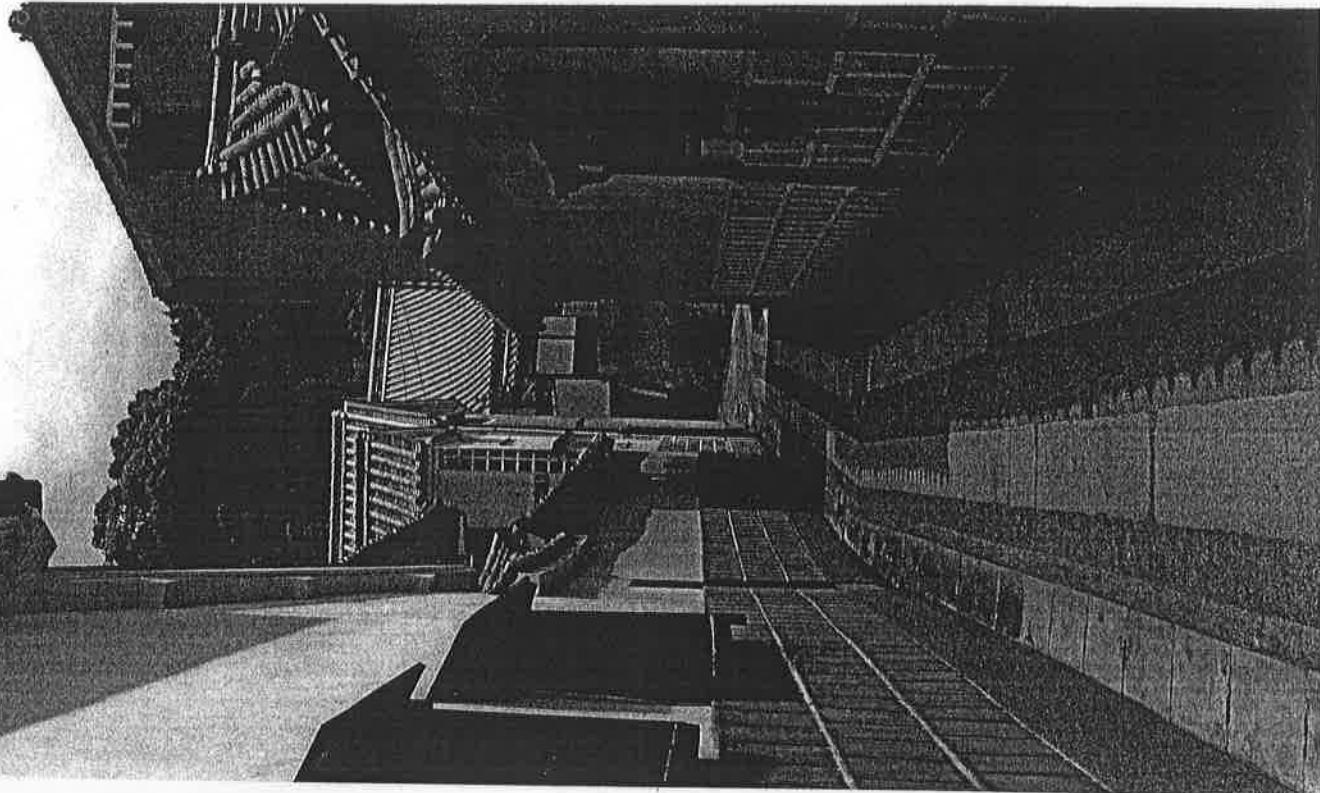


Hiyasai

Narrow alleys or streets are called "hiyasai" in the Kurashiki dialect.

ひやさい

倉敷の方言で、細い路地のことを「ひやさい」と呼びます。

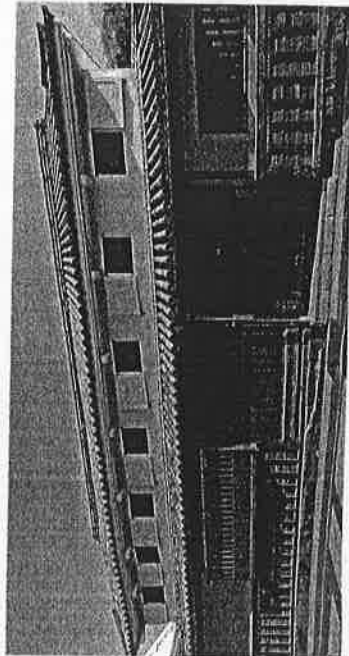


Ohashi House Nationally Designated Important Cultural Property

The Ohashi family, who made a fortune by developing new rice fields, built this house in 1796. It is considered one of the main merchant houses of Kurashiki, having such features as Kurashiki windows and Kurashiki lattice. The stately appearance of the old Kurashiki merchant house remains impressive. The formality of the merchant house is evidenced by the tenement house gate.

大橋家住宅 国指定重要文化財

江戸時代に新田開発などで大きな財を成した大橋家が1796(寛政8)年に建てた建物です。倉敷の代表的な町家の一つに数えられ、倉敷窓や倉敷格子などを備え、往時の商家の姿を現在に残す重厚な造りが印象的です。町家を構えているところに、その格式の高さがしのばれます。



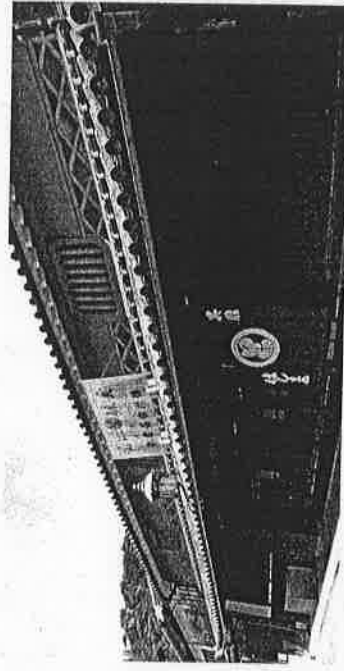
Inoue House

Nationally Designated Important Cultural Property

The framework of the Inoue House was completed in 1721, making it the oldest house in the Kurashiki Bikan Historical Area. It is the only existing merchant house in Kurashiki with fireproof, plaster-finish doors on all seven Kurashiki windows. The building is currently under restoration and will be reopened to the public upon completion.

井上家住宅 国指定重要文化財

1721(享保6)年に上棟した井上家住宅は、倉敷美観地区において最古の町家で、7つの倉敷窓のすべてに防火用の漆喰仕上げの土扉が付いているのは、現存する倉敷の町家としてはこの建物だけです。現在、保存修理工事中ですが、完成後は、一般公開する予定です。



Kusudo House

Municipally Designated Important Cultural Property
Nationally Registered Tangible Cultural Property

The Kusudo family, with the store name "Hashimaya," launched their own business in 1869, a drapery store that is still in business today. The classic merchant-house appearance of the Meiji era, such as the main building structure and *mushiko* windows, still remains today.

楠戸家住宅 市指定重要文化財・国登録有形文化財

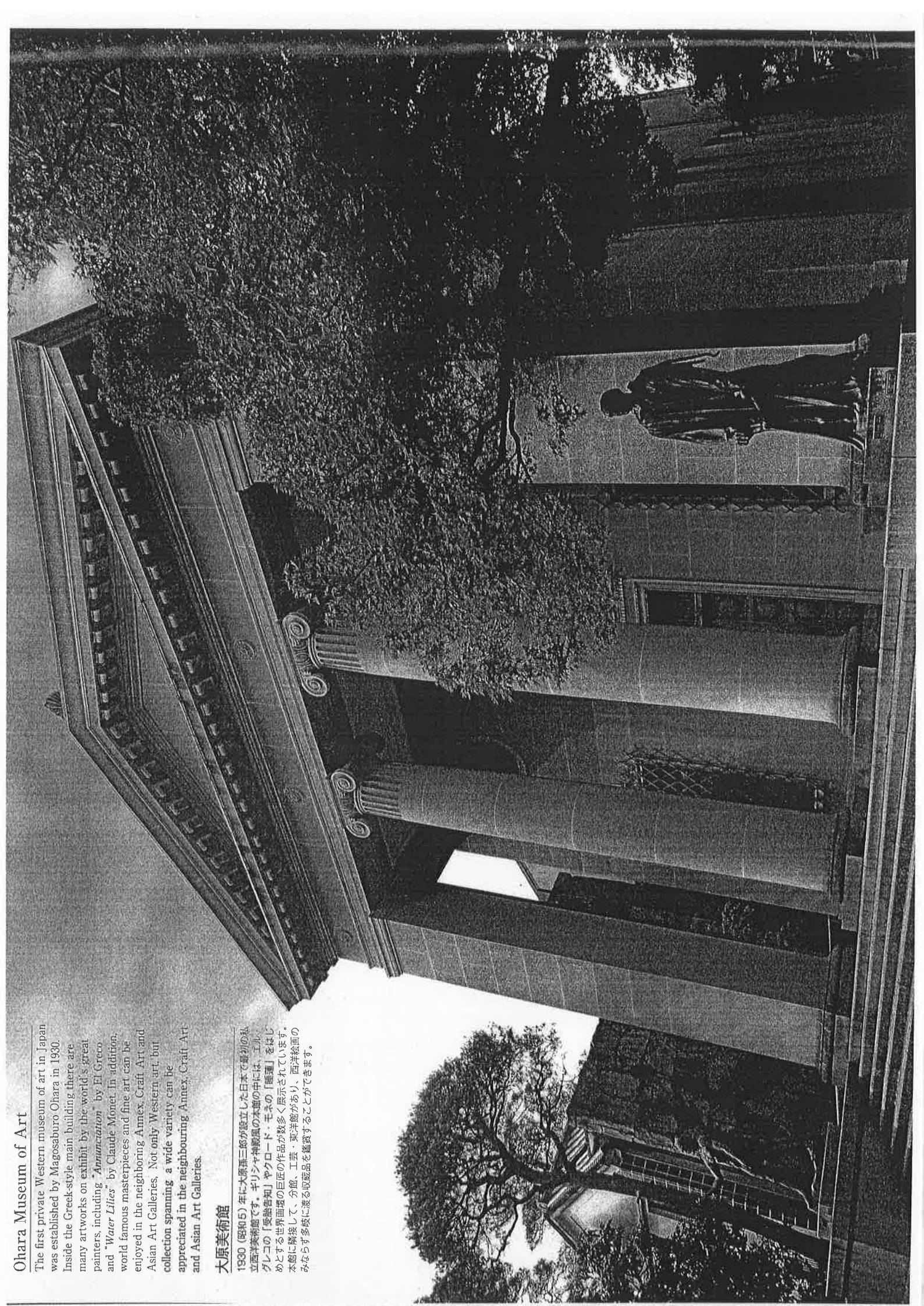
楠戸家は「はしまや」の屋号を持ち、1869(明治2)年の創業以来、今日も呉服店として営業が続けられています。表屋造の主屋に虫籠窓など、明治期の代表的な町家の姿を今に残しています。

Ohara Museum of Art

The first private Western museum of art in Japan was established by Magosaburo Ohara in 1930. Inside the Greek-style main building there are many artworks on exhibit by the world's great painters, including "Annunciation" by El Greco and "Water Lilies" by Claude Monet. In addition, world famous masterpieces and fine art can be enjoyed in the neighboring Annex. Craft Art and Asian Art Galleries. Not only Western art, but collection spanning a wide variety can be appreciated in the neighbouring Annex, Craft Art and Asian Art Galleries.

大原美術館

1930 (昭和5)年に大原清三郎が設立した日本で最初の私立西洋美術館です。ギリシャ神廟風の本館の中には、エル・グレコの「受胎告知」やクロード・モネの「睡蓮」をはじめとする世界画壇の巨匠の作品が数多く展示されています。本館に隣接して、分館、工芸、東洋館があり、西洋絵画のみならず多岐に渡る収蔵品を鑑賞することができます。

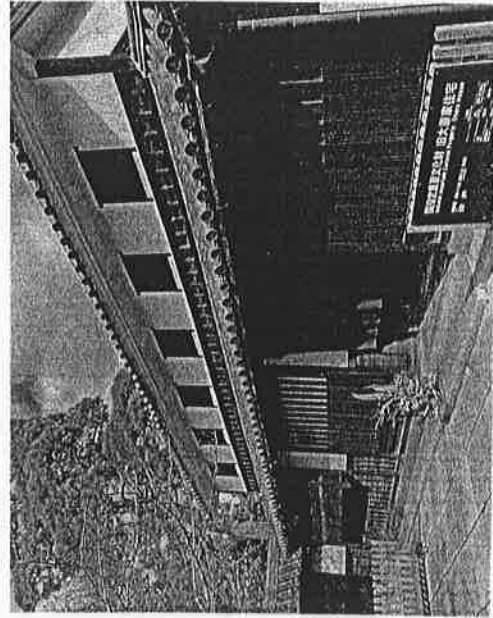
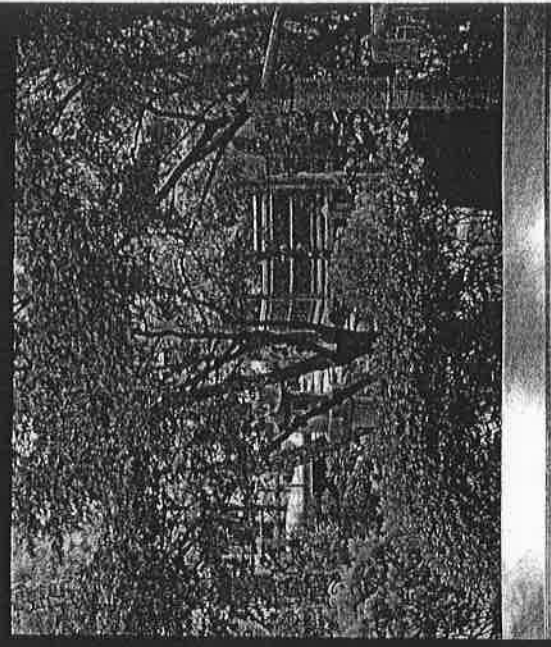


Shinkei-en (Garden and Hall)

Shinkei-en, located between the main building and annex of the Ohara Museum of Art, was built as a villa of the Ohara family in 1893. The Japanese garden viewed from "Keiken-do," the great hall with fifty-six tatami mats, creates an aesthetic sense called *fuzei*, where time seems to drift by slowly.

新渓園

大原美術館の本館と分館の間に位置する新渓園は、1893（明治26）年に大原家の別荘として建てられました。56畳の大広間「敦候堂」から眺める日本庭園は風情があります。そこにはゆったりとした時間が流れています。

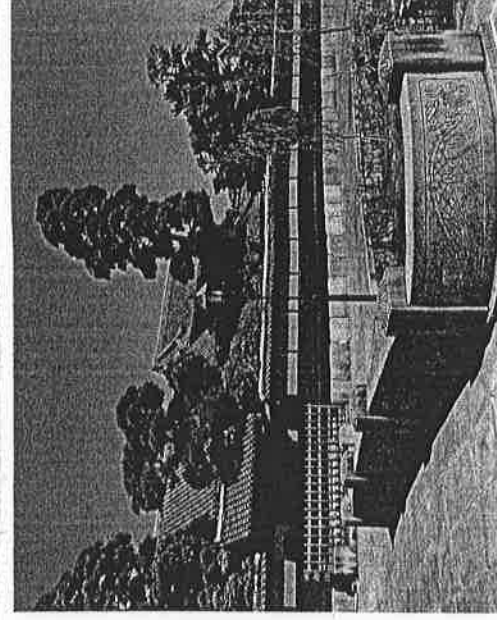


"Ohara House Katalyzer" (Old Ohara House) Nationally Designated Important Cultural Property

The Ohara family was the wealthy aristocracy of early modern Kurashiki. The construction of their main house started in 1795. It is the biggest merchant house still existing in Kurashiki. The unique design of Kurashiki windows, Kurashiki lattice, and white walls are reminiscent of typical Kurashiki merchant houses of old times. It was opened to the public in 2018 as "Ohara House Katalyzer".

語りい座 大原本邸 (旧大原家住宅) 国指定重要文化財

大原家は、近世倉敷屈指の豪家であり、倉敷の現存する町家の中で最も規模が大きいこの建物は、1795(寛政7)年に主屋が着工されました。倉敷窓や倉敷格子、白壁など独特の意匠を備え、倉敷の典型的な町家として往時の姿をよくとどめています。2018(平成30)年に語りい座大原本邸として一般公開されました。

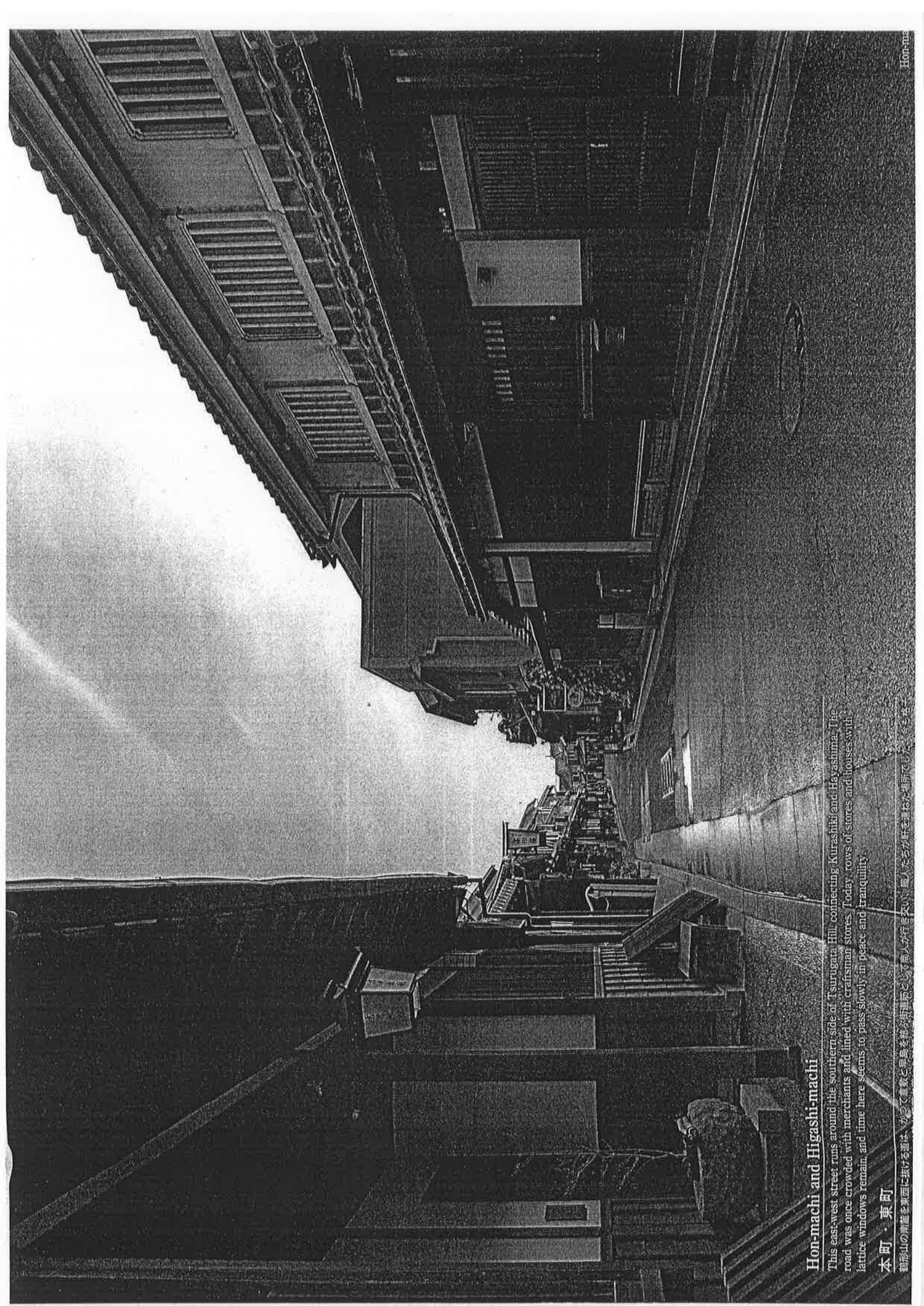


Yurin-so Villa

Yurin-so, the former villa of the Ohara family, was built in 1928 by Magosaburo Ohara, an entrepreneur of Kurashiki, for his family to live in. The roof tiles, baked with a special glaze, appear green when viewed at certain angles which is why locals call it "The Green Palace." The building was used as lodging by the Showa Emperor in 1947 and subsequently used as a guest house to welcome many honored guests.

有隣荘

1928（昭和3）年に倉敷の実業家であった大原孫三郎が家族で過ごすために建てた大原家の旧別邸です。特殊な釉薬を使って焼かれた瓦は、見る角度によって緑色に光ることから、地元では「緑御殿」とも呼ばれています。1947（昭和22）年には昭和天皇の宿泊所として使用されるなど、後には迎賓館として使用され、多くの賓客をお迎えしました。



Hon-machi and Higashi-machi

This east-west street runs around the southern side of Tsurugata Hill, connecting Kurashiki and Hayashima. The road was once crowded with merchants and lined with craftsman stores. Today, rows of stores and houses with lattice windows remain, and time here seems to pass slowly in peace and tranquility.

本町・東町

観形山の南麓を東西に抜ける道は、かつて数代と見島を結ぶ街道として、商人が行き交い、職人たちが軒を連ねた場所でした。ここは